

A dense field of green tea bushes, likely in a plantation, filling the left side of the image. The leaves are vibrant green and appear to be in various stages of growth.

狭山ふるさと ガイドブック 2021

狭山ふるさとガイドブック研究会

狭山ふるさと ガイドブック 2021

狭山ふるさとガイドブック研究会

狭山ふるさとガイドブック 2021
発刊のご挨拶

今般、市民の皆様からご指摘を受けた事項を更新し「狭山ふるさとガイドブック 2021」としてまとめました。

狭山市の人口推移を見ると減少傾向は明らかです。狭山市民の皆様には、より一層狭山市を知り、より一層狭山市に愛着を持ち、より一層狭山市をふるさとと想い、より一層健やかな日々であることを願っています。是非、ご一読ください。

令和3年5月吉日

狭山ふるさとガイドブック 2020
発刊のご挨拶

平成30年『狭山ふるさとガイドブック』は、狭山市民の皆様、特に他市町村から狭山市に転居された方々に、狭山の魅力・お宝を知って頂きたく取りまとめました。そして、飯能信用金庫さまの助成「はんしん地域活性化助成金事業」を受けて、狭山市市内の教育機関などに届けました。

令和元年8月狭山市立博物館と実施した共催事業「狭山検定」のテキストとして、受験者に配布し活用して頂きました。

初版時から2年が経過し、読者の方々からご意見を頂きました。また狭山市の環境変化や「第2回狭山検定」に向けて情報を更新させたいとの意見があり、改訂をすることになりました。

ただし、要望が高かった「検索機能」については、ネット上の検索機能を活用することにしました。行政の理解を得て狭山市「さやマルシェ」にて公開することといたしました。

今回更新した『狭山ふるさとガイドブック 2020』の目的も、今までと同様、孫世代、子世代、その親世代、ジジババ世代が狭山市に愛着を持ち、狭山をふるさとと想う意識の醸成に役立つことです。

是非、ご一読ください。

令和2年3月吉日

狭山ふるさとガイドブック研究会
代表 川口彰久

発刊のご挨拶

『狭山ふるさとガイドブック』は、狭山市民の皆様、特に他市町村から狭山市に転居された方々に、狭山の魅力・お宝を知って頂きたく取りまとめました。

狭山市内には、長い歴史に培われた宝物が多数あります。

- ・入間川沿いには、古代の遺跡が多数存在します。
- ・平安時代には入間路、鎌倉時代には鎌倉街道と呼ぶ街道がありました。
- ・江戸時代には、新田開発により農業が飛躍的に発展しました。
- ・昭和の混乱期、戦後の一時期米軍のジョンソン基地がありました。
- ・昭和29年(1954)、1町5か村が合併して狭山市は誕生しました。
- ・高度成長期に工業団地が完成し、ベッドタウン都市となりました。
- ・少子高齢化に生き残りをかけ、第4次狭山市総合計画が始動しました。
- ・入間基地航空祭には、多くのファンが訪れています。

現在の人口は、狭山市誕生当時の約5倍、15万人強に膨れています。緑豊かな自然に囲まれ、工業・商業・農業など多彩な生産活動が営まれ、文化的イベント・伝統ある祭り・民俗芸能が伝承されています。

我々、市民は毎日の生活に忙殺されていますが、狭山の自然や産業、歴史、文化など、地域資源や宝物のあり様を知ること、日々の暮らしに潤いが持てるのではないのでしょうか。

孫世代、子世代、その親世代、ジジババ世代が狭山市に愛着を持ち、狭山をふるさとと想う意識が醸成されることを願っています。

平成30年2月吉日

狭山ふるさとガイドブック研究会
代表 川口彰久

狭山市に住み、普段の生活に慣れ親しんでいる市民にとっても、自分の地域のことをどのくらい知っているかが問われたら、意外にも知らないことの方が多くことにびっくりするでしょう。だからと言って、普段から地域のことに無関心だからというわけではありません。むしろ、知りたい地域情報にアクセスすることができる「入門型地域学習情報」が不足していることに起因しているように思われます。

さやま市民大学で「まちづくり」を学んだ修了生有志が、狭山市が持つ魅力的な地域情報を発信するための活動団体「狭山ふるさと会(平成27年設立)」を立ち上げてくれました。今に生きる子供たちに狭山の魅力を知ってもらい、将来は郷土愛を持った大人に育てて欲しいという使命感の下に「狭山ふるさと醸成活動」の展開が始まりました。この活動が狭山市の「市民提案型協働事業」に採択され、3年間にわたる活動成果の集大成として『狭山ふるさとガイドブック』を編纂してくれました。

“子供たちのために”という目的で始まったふるさと醸成活動が、大人たちにとっても役に立つ地域情報になり、さらには狭山市への転入者にとっても狭山を知る欠かせない情報源にもなる、このガイドブックが暮らしに役立つ、貴重な情報価値に発展させてくれました。「狭山を知り、狭山が分かる、貴重な一冊」として、郷土愛を育む必要不可欠の「入門型地域学習情報」が誕生したと思います。

取り上げた地域情報が多岐にわたり、知りたい情報の拵げすぎを心配しましたが、さすがに市民大学で学んだ修了生らしさが活かされ、辞書的、解説的な記述に終始せず、愛着が湧くまちづくりを念頭においた記述と取り上げ方に配慮し、読みやすい、狭山の各地区の特色を浮き彫りにした素晴らしい内容の「狭山ふるさと情報」に仕上げてくださいました。

市民と行政との協働事業の成果がこうした形に具体化されたこと、そして、原稿化、推敲、編集に関わった関係者の並々ならぬ意欲と努力に対し、感謝と敬意を表します。

平成30年2月吉日

さやま市民大学
学長 小山周三

『狭山ふるさとガイドブック』の出版は、狭山ふるさと会が平成27・28・29年度の3年間(2015～2017)にわたり、狭山市における市民提案型協働事業として採択された「狭山ふるさと醸成事業」の一環です。

第1版は2018年2月、第2版は2018年10月に発行しました。今回の第3版『狭山ふるさとガイドブック2020』は、読者から頂いた指摘事項の見直しと情報の更新を編集方針と致しました。

1. 狭山市全域に共通する事項は「1. 狭山市全域」に、8つの行政地区に属する事項は地区ごとにまとめました。
1. 地区の並び順は、狭山市史に準じ、「2. 入間川地区」、「3. 入曽地区」、「4. 堀兼地区」、「5. 奥富地区」、「6. 柏原地区」、「7. 水富地区」、「8. 新狭山地区」、「9. 狭山台地区」としました。最後に「10. 特集 オリンピック2020」としました。
1. 時間の経過を過去・現在・未来としたとき、本書では現在進行形の事項、次いで未来志向の事項、過去の遺産(文化財や歴史)の順としました。
1. 取り上げた項目は、中学生から大人まで幅広い世代の市民が狭山の地域学習の入門書となるように選びました。
1. 記述は極力平易な表現とし、難解な漢字には「よみがな」を付けました。神社の祭神はカタカナ表記としました。
1. 学校等の児童や生徒数は平成令和元年5月、人口は令和元年(2019)7月1日(狭山市の誕生日は、昭和29年(1854)7月1日)としました。
1. 統計データは、できる限り狭山市や埼玉県発表の資料を採用しました。
1. 参考資料は原則、狭山市や埼玉県の出版物やネット上に公表する情報、公的機関や準公的機関の公表した情報、そのほか信頼に値する出版物や郷土史家による調査報告書などです。
1. 参考文献や参考資料は巻末に記載しました。

以上の方針に従って編集しましたが、お気づきの点がありましたら、ご指摘をお願いいたします。

目次

狭山ふるさとガイドブック 2021 発刊のご挨拶	2
狭山ふるさとガイドブック研究会代表 川口彰久	
発刊に寄せて さやま市民大学学長 小山周三	4
編集方針	5
1. 狭山市全域	8
狭山市の概要(10)、誕生(12)、イメージ戦略(14)、交通・道路網(16)、 交通・バス・鉄道網(18)、自然・河川(20)、自然・公園(22)、自然・貴 重生物(24)、文化施設(26)、産業・工業(30)、産業・商業(32)、産業・ 農業(34)、グルメ(36)、イベント(38)、文化人(46)、スポーツ選手・ 団体(52)、ドラマ舞台・ロケ地(54)、市政(56)、自然災害対策(58)、安 全・安心(60)、埼玉県立高等学校(62)、私立高等学校(64)、大学・短期 大学(65)、交流都市(66)、未来づくり(68)、歴史(72)	
2. 入間川地区	76
入間川地区の概要(78)、自然・公園(80)、施設(81)、イベント(82)、祭 り(83)、中央公民館の活動(84)、富士見公民館の活動(85)、富士見集會 所の活動(85)、小・中学校(86)、市指定文化財(88)、歴史(92)	
3. 入曽地区	94
入曽地区の概要(96)、自然・公園(98)、イベント(101)、祭り(103)、入 曽公民館の活動(104)、水野公民館の活動(105)、小・中学校(106)、市 指定文化財(109)、歴史(112)	
4. 堀兼地区	114
堀兼地区の概要(116)、自然・公園(118)、施設(120)、イベント(121)、 堀兼公民館の活動(123)、小・中学校(125)、市指定文化財(126)、歴史 (129)	

5. 奥富地区	130
奥富地区の概要(132)、自然・公園(134)、イベント・祭り(136)、施設 (139)、奥富公民館の活動(140)、小・中学校(142)、市指定文化財(143)、 歴史(147)	
6. 柏原地区	148
柏原地区の概要(150)、自然・公園(152)、イベント・祭り(155)、柏原 公民館の活動(157)、小・中学校(159)、市指定文化財(160)、歴史(165)	
7. 水富地区	166
水富地区の概要(168)、自然・公園(170)、イベント(173)、祭り(175)、 水富公民館の活動(175)、広瀬公民館の活動(176)、小・中学校・支援学 校(177)、市指定文化財(179)、歴史(184)	
8. 新狭山地区	186
新狭山地区の概要(188)、自然・公園(189)、イベント(190)、新狭山公 民館の活動(192)、産業(194)、小学校(196)、歴史(197)	
9. 狭山台地区	198
狭山台地区の概要(200)、自然・公園(202)、元気プラザ(203)、狭山台 図書館(205)、地域スポーツ施設(206)、イベント(207)、狭山台公民館 の活動(209)、小・中学校・教育センター(211)	
10. 特集 オリンピック 2020	213
参考文献・参考資料リスト	214

項目の(数字)はページ番号です。

1. 狭山市全域

狭山市役所 入間川1-23-5

公園

- ① 智光山公園 柏原561
- ② 堀兼・上赤坂公園 堀兼2484-3
- ③ 狭山稲荷山公園 稲荷山1-23-1

文化施設

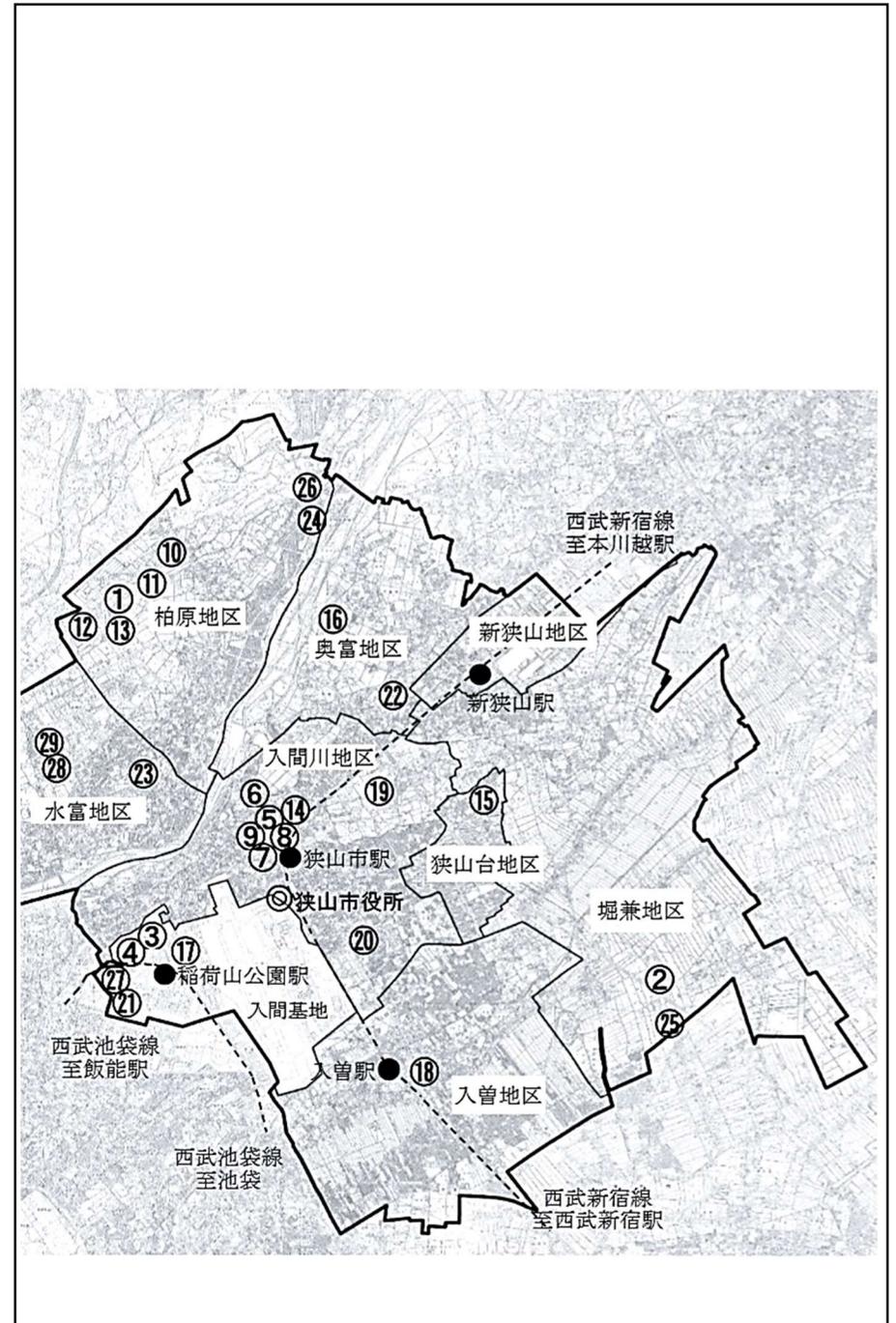
- ④ 狭山市立博物館 稲荷山1-23-1
- ⑤ 中央図書館 入間川2-2-25
- ⑥ 市民会館 入間川2-33-1
- ⑦ 市民交流センター 入間川1-3-1
- ⑧ 産業労働センター 入間川1-3-3
- ⑨ 商工会館 入間川3-22-8
- ⑩ 都市緑化植物園 柏原622
- ⑪ こども動物園 柏原864-1
- ⑫ 智光山荘（閉館） 下広瀬864-1
- ⑬ 市民総合体育館 柏原555
- ⑭ 西ロスカイトラス 狭山市駅西口駅前
- ⑮ 狭山元気プラザ 狭山台1-21
- ⑯ サンパーク奥富 下奥富2552-1
- ⑰ サピオ稲荷山 稲荷山1-12-3

口ケ地

- ⑱ 旧入間中学校（閉館） 南入曾433
- ⑲ 旧東中学校（閉館） 入間川1011

学校、大学

- ⑳ 狭山工業高等学校 富士見2-5-1
- ㉑ 狭山経済高等学校 稲荷山2-6-1
- ㉒ 狭山青陵高等学校 上奥富34
- ㉓ 狭山緑陽高等学校 広瀬東4-3-1
- ㉔ 西武文理高等学校 柏原新田311-1
- ㉕ 秋草学園高等学校 堀兼2404
- ㉖ 西武文理大学 柏原新田311-1
- ㉗ 東京家政大学 稲荷山2-15-1
- ㉘ 武蔵野学院大学 広瀬台3-26-1
- ㉙ 武蔵野短期大学 広瀬台3-26-1



狭山市の概要

狭山市は埼玉県の南西部、東京から40km圏内に位置し、川越市や日高市、飯能市、入間市、所沢市と接しています。東西約10.6km、南北約9.3km、総面積48.99km²です。

市域の中心を入間川が流れ、その低地を挟んで武蔵野台地と入間台地が広がっています。狭山市全域は自然災害の比較的少ない緑豊かな生活環境の整った都市です。

主要な道路網は国道16号線や圏央道、県道東京狭山線です。鉄道は西武新宿線と西武池袋線の2線が通過し、4駅があります。

狭山市の地勢

狭山市の中央からやや北西寄りに南西から北東方向に、入間川が流れています。

入間川両岸には河岸段丘が形成され、右岸の段丘は武蔵野台地の北端部、左岸の段丘は入間台地の南端部です。入間川流域は氷河期以降堆積した沖積層が広がる低地で、段丘上は氷河期頃堆積した洪積層による比較的平坦な台地です。

狭山市内の地盤で一番高い地点は航空自衛隊入間基地内の標高100mです。狭山市は東北方向に向けて低くなり、川越市に接する堀兼地区青柳の北寄りの地点が一番低く標高約29mです。

遠方には秩父山系や奥多摩山系、富士山を望むことができます。



秩父山系の山並み

狭山市の気候

気象庁では、全国に気象観測機器（アメダス）を配置して、日夜気象状況を観測しています。

狭山市に一番近い気象観測所は、所沢市勝楽寺（埼玉県立狭山自然公園内、標高119m）です。昭和52年（1977）から有線ロボット気象計を使って、降水量、気温、風向、風速、日照時間を計測しています。平成23年～28年の6年間に観測された月間の最多降水量は494.5mm（10分間の最大降水量19.5mm）、最高気温は39.0℃、猛暑日（気温35℃以上）は8.8日／年でした。

自然災害

入間川や不老川の流域では、台風や大雨の洪水により道路冠水や住宅の床下・床上冠水の被害が毎年のように発生しています。

平成26年（2014）2月の降雪（積雪55cm）では、農業用ハウスや住宅が損壊しました。同28年8月に襲来した台風9号による豪雨では、不老川が氾濫、床下床上浸水の被害が発生しました。

大気環境を監視する環境大気測定局

狭山市内の大気環境は、狭山台中学校と狭山消防署の2か所で一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、SPM、風向・風速を観測しています。

堀兼公民館には、昭和53年（1978）埼玉県が設置した狭山測定局があります。PM2.5、SPM、窒素酸化物、光化学オキシダント、風向・風速を監視し、常時公開しています。



環境大気測定局

知ってる? PM2.5：空気中に浮遊する2.5マイクロメートル以下の微小粒子
SPM：空気中の浮遊する10マイクロメートル以下の粒子。1マイクロメートルは10⁻⁶m

河川環境を監視する水質汚濁観測点

狭山市は埼玉県などと連携して、入間川（富士見橋と豊水橋付近）と不老川（不老橋付近）の生活排水などによる汚染状況を監視するため、生物化学的酸素要求量（BOD）などを測定しています。

狭山市の誕生

狭山市は、昭和 29 年（1954）7 月 1 日、入間川町（現在の入間川地区）や入間村（同入曾地区）、堀兼村（同堀兼・新狭山・狭山台地区）、奥富村（同奥富地区）、柏原村（同柏原地区）、水富村（同水富地区）の 1 町 5 か村が合併して誕生しました。埼玉県内では、15 番目の市です。

昭和 49 年（1974）狭山市は誕生 20 周年を記念して、狭山市の市民憲章、市歌、象徴する市章や花・木・鳥を制定しました。（p14 参照）



昭和 30 年頃の狭山市

狭山市の市名「狭山」の由来

「狭山市」という市名は、「合併促進協議会」での議論の末、新市名案（狭山市・入間川市・入間市・武蔵野市・武蔵市）に対して、町村長 6 名が投票して決まりました。

狭山とは「小さい山」の意味ですが、狭山丘陵の北寄り入間市宮寺を発祥の地とする「狭山茶」を当市内でも生産していたことから、全国的アピールを念頭に狭山市と決めたと考えられます。

狭山市の市民憲章

市民憲章は、各界の代表者 20 名からなる「狭山市民憲章制定起草委員会」の審議を経て制定されました。狭山工業高校の体育館で開催された記念式典で、狭山市誕生の日と同じ昭和 29 年 7 月 7 日生まれの細田茂雄氏と本橋美智子氏の両名が朗読しました。

「狭山市民憲章」

わたくしたちは、入間道（いりまじ）の昔から、武蔵野の大自然と入間川の清流にはぐくまれた狭山の市民です。わたくしたちは、郷土を愛し、誇りをもって緑と豊かな近代都市を築くため、ここに憲章を定めます。（昭和 49 年 10 月 26 日制定）

1. 秩序と規則を守り、平和なまちをつくりましょう。

1. 教養を深め、文化の高いまちをつくりましょう。
1. 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
1. 勤労を尊び、健康で豊かなまちをつくりましょう。
1. 人権を重んじ助け合い、明るいまちをつくりましょう。

狭山市に響け「狭山市歌」

狭山市歌は一般公募による 36 作品の中から「市歌等審査委員会」の審査によって制定されました。作詞は尾崎勇治氏、作曲は関口重夫氏です。市歌は市内の合唱グループ「グリーンエコー狭山」と東中学校の生徒たちにより、式典会場で披露されました。

「市歌」

1. 緑をうつす 川面には
入間の流れは 歴史をのせて
共に生きよう この都市(まち)で
2. 渡るそよ風 野をぬけて
舗道の並木に くぬぎの森に
共に謳おう この都市で
3. けやきの梢 ビルの上
見上げるひとみに 希望はもえて
共に進もう この都市で

つつじの花びら あやをなす
ひらく未来の 夢はこぼ
ああ 狭山 われらの狭山市
窓辺におくる 茶のかおり
鳥の歌声 愛を呼ぶ
ああ 狭山 われらの狭山市
輝くブルーの 空がある
富士に秩父に 雲が湧く
ああ 狭山 われらの狭山市

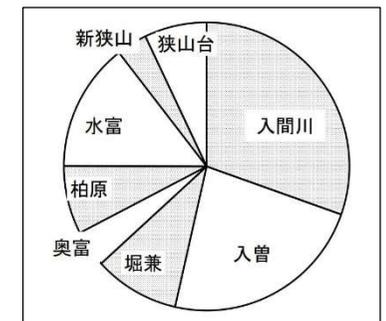
狭山市の宣言

- ・狭山市交通安全都市宣言 (昭和 42 年 8 月 18 日)
- ・狭山市平和都市宣言 (平成元年 12 月 22 日)
- ・すこやかさやま宣言 (平成 4 年 11 月 1 日)
- ・リサイクル都市・狭山宣言 (平成 8 年 11 月 2 日)

狭山市の人口

狭山市が誕生した昭和 29 年（1954）7 月 1 日の人口は、入間川町 12,010 人、入間村 4,056 人、堀兼村 4,295 人、奥富村 3,035 人、柏原村 3,372 人、水富村 4,233 人、総計 31,001 人でした。

67 年後の令和 3 年（2021）1 月 1 日の総人口は 149,826 人、誕生時の約 5 倍ですが、最近では減少の傾向です。



地区別の人口割合
(令和 3 年 1 月 1 日)

狭山市のイメージ戦略

狭山市の象徴「市章・花・木・鳥」

市章

中央にカタカナの「サ」を置き、周囲に山を配した狭山の象徴です。中央の「サ」は常に中心の安定を保持し、山で丸く囲む意味は市民が共同一致して円満な発展をすることを願っています。



市の花／つつじ

市内の山野に多く自生しており、稲荷山公園では美しいつつじが咲き誇っています。



市の木／茶の木

狭山茶は鎌倉・室町時代から銘園五場の一つとして名声をうたわれています。



市の鳥／おなが

市内の各所で見られ、華麗な長い尾に特徴のある美しい鳥で、人家の庭先にもやってきます。



狭山市の象徴

狭山市の観光大使

狭山市観光協会は、妖精「おりぴい」と池原昭治氏（童絵作家、広報さやま連載）、浜田太一氏（狭山市出身、THE NEWS PAPERS メンバー）とデビット伊東氏（入間市出身、狭山高等学校卒業、実業家）、DREAM WONDERLAND（チアードダンスグループ）、JAY' S GARDEN（J-POP ボーカルグループ）に観光大使を委任しています。

狭山市キャラクター妖精「おりぴい」

おりぴいは七夕まつりをイメージした妖精です。身長 15cm、体重はありません。少しおっちょこちょいですが、しっかり者です。愛くるしい姿は、平成 20 年（2008）西武学園文理高等学校の生徒たちがデザインしました。



おりぴい

お茶香るまち狭山市

「お茶香るまち狭山市」は狭山茶に由来し、市名を端的に示しています。では、お茶の香りはどこからでしょうか。お茶屋さん 64 店の店頭からです。

漫画でPR別冊『さやま』、『おしえて狭山茶』

平成 28 年 3 月、広報誌「別冊『さやま』創刊号」と 4 月「別冊『さやま』おしえて狭山茶」が漫画家でイラストレーター世鳥アスカ氏の制作により相次いで発行されました。

3 月の別冊では狭山市の宝を紹介し、4 月の別冊では狭山茶のおいしい淹れ方を紹介しています。従来のお堅い冊子から脱出し、市内の若者の評判も良く、狭山市への関心と理解が深まっています。次なる企画が楽しみです。



おしえて狭山茶

狭山市の「シティプロモーション戦略」

平成 29 年 4 月、狭山市は総合政策部広報課にシティプロモーション推進室を開設しました。目的は、狭山市の魅力と地域資源を磨き上げて、イメージアップと市内外への情報発信力を高めることです。

旧入間中学校や旧東中学校、智光山公園、狭山稲荷山公園、入間川をロケ地として映画やテレビドラマなどが撮影されています。ドラマのエキストラとして登場するなんて、わくわくしませんか！（p54 参照）

狭山市が発信する最新情報（ホームページ、フェイスブック、ツイッターなど）に注目してください。

大学生が「狭山市の魅力づくり」プロジェクト

平成 28 年（2016）4 月、狭山市は市内 4 大学（西武文理大学、東京家政大学、武蔵野短期大学、武蔵野学院大学）と基本協定を締結しました。若者の感性とアイデアを活かして、魅力あるまちづくりと知名度の向上を目指した事業の提案をしています。

狭山市の交通・道路網

狭山市内を通過する道路の実延長距離は約 868km です。内訳は国道・県道・高速道路は約 51.4km、市道は約 816.7km です。

首都圏中央連絡自動車道（圏央道、国道 468 号線）

狭山市を通過する高速道路は、略称「圏央道」です。都心から半径 40～60km の区域を神奈川県横浜市から厚木市、東京都八王子市、茨城県つくば市、千葉県成田市、木更津市まで連絡するとともに、東名高速道、中央高速道、関越高速道、東北高速道、常磐高速道、東関東高速道と接続しています。



圏央道の入り口

狭山日高インターチェンジ(狭山市根岸)で県道 262 号線(日高狭山線)と県道 397 号線(堀兼根岸線)に接続しています。

狭山市を通過する 4 本の国道

狭山市内を通過する国道は、16 号線や 299 号線、407 号線、圏央道 468 号線の 4 本です。国道は国が建設して管理する道路です。

- ・**国道 16 号線**：国道 16 号線は圏央道の内側(都心から半径 30～40km の距離)を環状に結んでいます。八王子市から入間市の間は千人同心街道や日光脇往還と呼ばれていたことがあります。
- ・**国道 299 号線**：国道 299 号線は長野県茅野市を起点に、秩父市や飯能市、狭山市を通過し、国道 16 号線との入間市河原町交差点が終点となります。
- ・**国道 407 号線**：国道 407 号線は栃木県足利市を起点として、熊谷市、東松山市、日高市、狭山市を通過して入間市河原町で国道 16 号線に接続しています。狭山市根岸交差点から入間市河原町交差点までの区間では、国道 299 号線と重複しています。
- ・**国道 468 号線**：国道 468 号線(首都圏中央連絡自動車道、圏央道)

は一般国道の自動車専用道路です。

狭山市を通過する 14 本の県道

狭山市を通過する県道は、6 号線(川越所沢線)や 8 号線(川越入間線、茶摘み通り)、50 号線(所沢狭山線、つつじ通り)、126 号線(所沢堀兼線)、157 号線(川越狭山自転車道線)、163 号線(狭山ふじみ野線)、260 号線(鯨井狭山線)、261 号線(笠幡狭山線)、262 号線(日高狭山線)、340 号線(中新田入間川線)、347 号線(馬引沢飯能線)、397 号線(堀兼根岸線)です。そのほか、225 号線入曽停車場線と 227 号線狭山市停車場線は、それぞれ鉄道駅と接続する県道です。



代表的道路網(出典：狭山市「第四次狭山市総合計画」都市構造部に加筆)

知ってる？

狭山市内唯一のトンネル：狭山トンネルは東京狭山線と呼ぶ県道 126 号線、沢から上奥富にかけて長さ 403m のトンネルです。狭山環状有料道路の起点西武新宿線と国道 16 号線の地下を通ります。狭山大橋を渡ると、柏原地区から広瀬地区、圏央道狭山日高インターチェンジへとつながります。

狭山市の交通・バス・鉄道網

頼りになる「西武バス網」

狭山市内のバス交通は、西武バスと茶の花号（狭山市が西武バスに委託するコミュニティバス）が運行しています。

西武バスは鉄道駅を基点に運行しています。（平成30年9月現在）

・入曽駅発

新狭山 02：新狭山ハイツ経由新狭山駅行

・狭山市駅東口発（のりば1）

狭山 30：井戸窪経由狭山台団地行、狭山 30-1：井戸窪・狭山台経由新狭山駅南口行、深夜：井戸窪経由狭山台団地行

・狭山市駅東口発（のりば2）

狭山 31：狭山台南経由狭山台団地行、深夜：狭山台南経由狭山台行

・狭山市駅西口発（のりば1）

狭山 21：石心会病院・市民会館経由サイボクナム行、狭山 21-1：市民会館経由サイボクナム行、狭山 24：石心会病院・市民会館経由西武柏原NT行、深夜：つつじ野団地中央経由柏原NT行、市民会館経由柏原NT行

・狭山市駅西口発（のりば2）

狭山 22：直通日生団地行、つつじ野団地中央経由日生団地行、狭山 22-1：直通武蔵野学院行、つつじ野団地中央経由武蔵野学院行、狭山 29：直通智光山公園行、つつじ野団地中央経由智光山公園行、狭山 29-1：つつじ野団地中央経由狭山営業所行、深夜：つつじ野団地中央経由日生団地行

・狭山市駅西口発（のりば3）

狭山 20：狭山グリーンハイツ行、狭山 25：下川崎経由飯能駅北口行、狭山 26：笹井経由飯能駅北口行、狭山 27：鶴ノ木経由入間市駅行

・狭山市駅西口発（のりば4）

狭山 28：住宅入口経由稲荷山公園駅行

・新狭山駅南口発

新狭山 01：青柳経由新狭山ハイツ行、新狭山 02：新狭山ハイツ経由入曽駅行、狭山 30-1：井戸窪経由狭山市駅東口行、川越 62：南大塚南口経由川越西口行、川越営業所行

・新狭山駅北口発

新狭山 11：かすみ野経由笠幡駅行、新狭山 11-1：柏原NT 経由かすみ野行、狭山 11-2：柏原NT 行

・稲荷山公園駅発

狭山 28：住宅入口経由狭山市駅西口行

小回りの市内循環バス「茶の花号」

茶の花号は交通空白地帯や公共施設、鉄道駅を結ぶ循環バスです。

・入曽駅発

入曽駅東コース（左回り、右回り）、入曽駅西コース（左回り、右回り）、通勤通学コース（西武フラワーヒル方面）

・狭山市駅西口発

水富コース（入間野田モール行）

・稲荷山駅発

通勤通学コース（日生団地行）

・新狭山駅発

堀兼コース（新狭山南口発、左回り、右回り）、奥富・狭山コース（新狭山駅北口発、西武柏原ニュータウン行）



茶の花号

西武鉄道駅は4か所

狭山市を通過する鉄道は、西武新宿線（西武新宿駅と本川越駅間）と西武池袋線（池袋駅と吾野駅間）の2本です。

西武新宿線の停車駅は所沢側から入曽駅（年間平均1日乗降者数約1.8万人）、狭山市駅（約4万人）、新狭山駅（約2.1万人）です。特急小江戸号は狭山市駅に停車します。西武池袋線の停車駅は稲荷山公園駅です。稲荷山公園駅の年平均1日乗降者数は約1万人ですが、航空自衛隊入間基地航空祭の開催日にはホームに溢れんばかりの人の波が出現します。



小江戸号

狭山市の自然・河川

母なる川一級河川「入間川」

入間川は荒川水系の支流なので一級河川です。源流は秩父山系の大持山です。全長 63km、上流の飯能市では名栗川と呼ばれ、入間市、狭山市を流れて川越市古谷本郷で荒川と合流します。

河川敷では運動公園や花壇、散策道、自転車道などが整備され、市民団体によるイベント会場や市民の憩いの場として利用されています。



入間川



入間川流域の公園（狭山市「入間川周辺案内図」より）

入間川の「田島屋堰（たじまやぜき）」（狭山市広瀬東）

入間川の田島屋堰は、明治時代に田島菊次郎が灌漑取水を目的に造営した堰です。今では、堰の上流から伏流水を取り入れて水道水として利用しています。堰の高低差が 1m 以上なので、魚の遡上を助けるための魚道を設置しています。（p170 参照）

入間川に架かる橋

入間川に架かる狭山市内の橋は全部で 11 本です。上流から国道 299 号線バイパス道の新豊水橋、圏央道の入間川高架橋、国道 299 号線と 407 号線の豊水橋、広瀬橋、本富士見橋、262 号線の新富士見橋、県道 261 号線の昭代橋、狭山環状有料道路・県道 397 号線の狭山大橋、

いるまがわ大橋です。新富士見橋と昭代橋の上流側には歩行者と自転車専用の側道橋があります。

昔、下奥富や柏原新田の農民たちが柏原のヤマに田畑の堆肥に使う「くず」（枯れ葉）を取りに行くために、冬になると荷車が通れる木製の橋「くずはき橋」を架けていました。（p133 参照）

復活した一級河川「不老川」

不老川は東京都瑞穂町を源流として、入間市宮寺、所沢市林、狭山市北入曾、南入曾、堀兼、川越市今福を流れて、新河岸川に合流する全長約 18.5km の一級河川です。武蔵野台地に位置し、河岸段丘を形成しています。流域は地下水が低く、乏水地域ですが、大雨の際には洪水に見舞われることがあります。（p98 参照）

農業用水路「赤間川」

赤間川は入間市と狭山市の境界にある入間川笹井堰右岸から取水する農業用水路です。狭山市市民会館や狭山清陵高等学校の際を流れて、かつては伊佐沼（川越市伊佐沼）につながっていましたが、現在は新河岸川に合流しています。

不老川の支流「久保川」

久保川は不老川の支流です。「加佐志堀」（狭山市祇園から中央、狭山台図書館北側、新狭山ハイツ北側への流れ）と、「三ツ木堀」（中央中学校北側から沢、東三ツ木への流れ）が青柳で合流して久保川になり、川越市岸町で不老川に合流しています。



加佐志堀（狭山台図書館脇）

知ってる？

河川：水源から下流までの一群の河川を水系と呼びます。日本の河川は、国土交通大臣が指定する「一級河川」（平成 17 年 4 月現在全国に 13,994）、都道府県知事が指定する「二級河川」（同 7,090）、市町村長が指定する「準用河川」（14,314）、そのほかは「普通河川」に分類されています。水系に対して一級と二級の指定は混在しません。埼玉県と滋賀県には二級河川はありません。日本で一番長い川は信濃川 367 km、世界ではエジプトのナイル川 6,695 km です。

狭山市の自然・公園

狭山市内にある公園は全部で189か所、総面積は約151.1haです。狭山市が管理する都市公園は28か所で、市内で一番広い公園は智光山公園です。2位は上奥富運動公園、3位は堀兼・上赤坂公園です。

狭山稲荷山公園は、平成14年(2002)に埼玉県営公園になりました。

埼玉県営「狭山稲荷山公園」(稲荷山 1-23-1)

狭山稲荷山公園(総面積約22.2ha)は、戦後の一時期米軍ジョンソン基地の居住地でしたが、返還後整備して公園になりました。園内にはソメイヨシノや八重桜など約300本が生育する桜の名所です。春には桜まつり(p38参照)、秋には大茶会(p41参照)などが開催されます。



狭山稲荷山公園の桜

隣接して狭山市立博物館(p26参照)が併設されており、一帯は市民の憩いの場となっています。

狭山市立「智光山公園」(柏原 561)

智光山公園(面積約53.8ha)は、東京都約11個分の広大な公園です。武蔵野の自然豊かな環境をそのまま残した大規模な都市公園です。公園内には、こども動物園や総合体育館、テニスコート、都市緑化植物園、ヘラブナ釣り場、わんぱく広場などがあります。(p152参照)



智光山公園 日時計

老人福祉センター「宝荘」が併設されています。(p152参照)

狭山市立「堀兼・上赤坂公園」(堀兼 2484-3)

堀兼・上赤坂公園(面積4.9ha)は、雑木林(平地林)に囲まれた武蔵野の面影を残す公園です。公園中央には公式試合のできるサッカー場、周囲には散策路が整備されています。管理事務所ではキャッチ

ボール用具を無料で貸し出しています。(p119参照)

狭山市民自慢の景観「狭山市の景観地 50」

平成16年(2004)、狭山市は市制50周年を記念して公募し、3041か所の候補から選定、『狭山市の景観地50』にまとめました。

狭山市の中心を入間川が流れ、遠景には富士山や奥多摩山系、秩父山系が連なり、市内からの眺めは四季折々の景観を醸しています。

市内在住の童絵作家池原昭治氏は、「残しておきたい狭山の風景」として狭山らしい景観を地図と解説文を添えて「広報さやま」や「水野公民館だより」で紹介しています。(p50参照)

埼玉県指定「ふるさとの緑の景観地」

昭和54年(1979)埼玉県では、県内の緑を守り育てるために条例でふるさとの緑の景観地を指定し、埼玉らしい樹林の風景を保護し緑化を推進しています。

県内27か所(面積391.7ha)のうち、狭山市内では堀兼・上赤坂(79.1ha)、櫛山(くぬぎやま)(19.3ha)、水野(11.8ha)、南入間野(7.1ha)、逃水(10.6ha)の5か所が指定されています。



ふるさとの緑の景観地
(南入間野)

狭山市指定「狭山市ふれあい緑地」

市街地に残っている緑地を残すために、狭山市は所有者から土地を借りて「ふれあい緑地」として指定しています。地元の自治会や市民団体が清掃活動などを実施して保全に努めています。

富士見地区や中央地区、東三ツ木地区、下平野地区、南入間野地区、上窪地区、中平野地区の合計7か所(総面積約2.7ha)です。



下平野ふれあい緑地

狭山市の自然・貴重生物

食物連鎖の頂点に立つ猛禽類「オオタカ」

オオタカは食物連鎖の頂点に立つ猛禽類の一種です。オオタカが生息している地域では、小鳥や小動物、昆虫、微生物など自然界の生物多様性が保全されていることを意味します。

狭山丘陵から狭山市水野・上赤坂、川越市に連なる緑のグリーンベルト（平地林）は、オオタカが生息する豊かな自然の象徴です。

平成 24 年（2012）、オオタカは環境省のレッドデータリスト絶滅危惧種の指定から準絶滅危惧種となり、平成 26 年国内希少野生動植物種からの指定が解除されました。



オオタカ

狭山市の鳥に指定された「オナガ」

狭山市内で一番よく観られたことから「狭山市の鳥」に指定されています。林の中や市街地、人家の庭に現れます。親鳥は全長 34～40cm、尾羽が 20～23cm と長いので、飛行する姿は非常にエレガントです。

オナガはスズメ目カラス科の仲間で、群れを形成します。学習能力が高く、警戒心が強く、巣が襲われると集団で防衛します。西日本では観測されず、神奈川県以北で観測される留鳥（りゅうちょう）です。

狭山市の木に指定された「茶の木」

「狭山市の木」として指定された「茶の木」は、狭山市を印象付けるにふさわしい常緑樹です。原産地はインドやベトナム、中国西南部とされ、平安時代に中国から持ち込まれたといわれています。

狭山市の茶園では飲料用に狭山茶ブランド「やぶきた」や「さやまかおり」、「ふくみどり」などを栽培しています。茶の木は寒さに弱く、早春期、防霜対策用ファンで冷たい空気を攪拌（かくはん）しています。

狭山市の花に指定された「ツツジ」

「狭山市の花」として指定された「ツツジ」は、狭山市内の山野に多く自生し、稲荷山公園のツツジは「つつじ祭り」を行うほどに市民に親しまれてきました。（p82 参照）

入間川に生息する生物

入間川に咲く野草

平成 27 年（2015）、入間川の植物図鑑づくり実行委員会は入間川の草木を調査して、図鑑にまとめました。

入間川には、400 種以上の草木が生育しています。環境省レッドデータブックで指定された特定希少植物 9 種（キツネノカミソリやカワラナデシコ、レンリソウ、アマナ、ミクル、カワラヨモギなど）や特定外来植物 4 種（オオキンケイギク、アレチウリなど）が生育しています。河川開発やイベント開催時に持ち込まれるなどして、生態系は日々影響を受けています。



キツネノカミソリ

入間川に生息する魚

昭和初期まで、入間川では鮎の豊漁を祝い「鮎祭」が行われていました。堰ができて魚が遡上できなくなり、改善のために魚道の整備が進められています。入間漁業協同組合ではアユやニジマス、ウグイを定期的に放流しています。特定外来種のブラックバスやコクチバス、ブルーギルなどが生息していますが、捕獲後の再放流や飼育することは禁止されています。

入間川に飛来する鳥

埼玉県生態系保護協会狭山支部では入間川において探鳥会を毎月第 3 日曜日に開催しています。年間を通じてカワセミ、イカルチドリ、サギ類を、夏季にはササゴイ、冬季にはカモ類やオオバンを、時にはヒメアマメツバメを見つけています。



カワセミ

狭山市の文化施設

狭山を展示する「狭山市立博物館」(稲荷山 1-23-1)

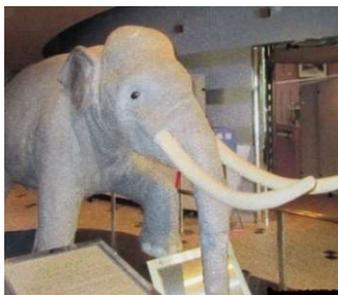
狭山市立博物館は、平成3年(1991)、市民の教育と学術及び文化の発展に寄与することを目的に開館しました。常設展示場では、「入間川と入間路」をテーマに、狭山の自然や地質、考古・歴史・民俗などを年代に応じて、わかりやすく展示しています。博物館が所蔵する資料は約12,000点(平成30年度末)です。

子どもたちが博物館に興味や関心を高めるものを中心に、年4回、企画展を開催しています。年間利用者数は延べ約5.6万人です。

ホールで出迎え「アケボノゾウ」

狭山で発見された最古の地層は、約150万年前から70万年前に堆積した仏子層(ぶしそう)です。この時代には、メタセコイアやエゴノキオオバタグルミなどの樹木が繁茂し、マンモスより小型なアケボノゾウが生息していました。

入間川の河原で発見されたアケボノゾウの骨格化石は、埼玉県指定文化財(天然記念物)です。(p180参照)



アケボノゾウ

知識を発信する「狭山市立中央図書館」(入間川 2-2-25)

狭山市には、図書館が2館あります。中央図書館は昭和63年(1988)に、狭山台図書館は平成5年(1993)に開館しました。平成30年度末、両図書館の蔵書総数は約67万冊(児童書約22万冊や紙芝居約4,400件含)です。利用登録者は約13万人(狭山市人口の約87%)、年間利用人数は延べ約52万人、貸出総数約88万点で



さみどり号

す。借用できる図書(紙芝居を含む)は、最大一人10冊(中央図書館、狭山台図書館、移動図書館の合計)です。

移動図書館「さみどり号」は約4,000冊を載せて、市内32か所を巡回しています。

郷土資料室

中央図書館4階の郷土資料室には、狭山市、埼玉県、近隣市町村に関する資料や百科事典、地図などが並んでいます。閲覧は可能ですが、貸出はできません。市内在住の郷土史家や研究者、民話作家などが出版した貴重な書籍が並んでいます。

狭山台図書館では、郷土資料をカウンター脇に並べています。

知ってる?

近隣市図書館の利用：狭山市民は入間市、所沢市、飯能市、川越市の図書館を利用することができます。ただし、図書を借りる際にはそれぞれの市図書館の利用券をつくる必要があります。また、いずれの図書館もネットで書籍の有無、貸出状況を検索して予約できます。

文化を育成する「狭山市市民会館」(入間川 2-33-1)

狭山市市民会館は、昭和54年(1979)市民の文化の振興と文化団体の育成を図る場として建設されました。

延べ床面積約1万m²に、大ホール(1,398席、中ホール仕様878席)や小ホール(364席)、会議室6室などを備えています。ホールや会議室はコンサートや講演会、鑑賞会などに利用されます。年間利用件数は約4千件で、利用者数は18.7万人以上です。

毎年開催する市民文化祭(10月から11月)では、ホールを主会場に合唱や民謡、演劇などの発表が行われます。また、2月には狭山市文化団体連合会が「狭山市民芸術祭」を主催しています。

・狭山市文化団体連合会(略称：文団連)

狭山市文化団体連合会は、平成11年(1999)、狭山市内で活動する文化団体が交流を通じて互いに切磋琢磨し、幅広い文化活動の創造と市内外に向けて積極的に発信するために結成されました。平成30年度の登録会員数(20団体と個人会員を含む)は、約1,300名です。会報『文化のいぶき』を年4回発行しています。



市民会館の大ホール

狭山市駅西口前「狭山市市民交流センター」(入間川 1-3-1)

市民交流センターは平成 24 年(2012)狭山市駅西口地区第一種市街地開発事業(狭山市、都市再生機構)の竣工により誕生しました。

市民交流センターには、市民センターや入間川地区センター(パスポートの申請手続きができます)、中央公民館、男女共同参画センター、総合子育て支援センターちゃっぼ、生涯学習情報センターが同居し、市民の生活支援や活動に利用されています。

西武新宿線狭山市駅西口から徒歩 3 分の好立地にあります。有料駐輪場はありますが、駐車場は併設されていません。

市民センター (市民交流センター 1・2 階)

市民センターは、コミュニティーホール・会議室・音楽スタジオなどの貸室、交流サロン、情報ひろば、印刷室、憩いの場として喫茶・軽食コーナーなどで構成されています。

総合子育て支援センター「ちゃっぼ」(市民交流センター 2 階)

総合子育て支援センターは乳幼児と親の交流する場です。原則、年末年始を除く毎日、育児相談や一時的保育事業を行っています。

・子供の安全な遊び場「子育てプレイス」

子育てプレイスは、市内の 5 か所(水野児童館 2 階、新狭山横山ハイツ 1 階、稲荷山中央児童館内、奥富ふれあい館、広瀬児童館内)に開設されています。0 歳から 3 歳の子どもと保護者が安心して遊べる場所です。

・乳幼児の外遊び「ワイワイ広場」

ワイワイ広場は、乳幼児の親子を対象に、市内の公園 2 か所(入曾多目的広場、三ツ木公園)で月 1 回程度開催し、遊びながら育児や日常生活などについて話し合い、交流を深めています。

・赤ちゃんの集いの場「あかちゃんワイワイ広場」

あかちゃんワイワイ広場は、0~1 歳 6 か月くらいの保護者(パパ、ママ、祖父母、妊婦さんを含む)を対象に、市内の公民館(狭山台、堀兼、水富)で 2 か月に 1 回程度開催し、遊びながら子育ての相談をしています。



市民交流センター

生涯学習情報センター (市民交流センター 2 階)

市民が生涯学習に取り組めるよう情報の提供や相談に応じる窓口です。市内で活動するサークルの情報やボランティア活動の情報、公民館などの施設情報、イベントや講座情報などを案内しています。

四季折々花いっぱい「都市緑化植物園」(柏原 622)

都市緑化植物園(総面積 5.5ha)は、武蔵野の豊かな自然を残す智光山公園の一角に作られた都市型公園です。薬草園や教材園、花木園、洋風庭木園、和風庭木園、自然生態園、温室などがあり、季節の花木などを観察することができます。緑の相談所では園芸の相談を受け、講習会などを開催しています。(p152 参照)



都市緑化植物園

室内競技会の会場「狭山市民総合体育館」(柏原 555)

市民総合体育館は、昭和 57 年(1982)に竣工しました。アリーナ(床面積約 2,500m²、観客席約 1,900 席)やトレーニング室、柔道場、剣道場、弓道場、卓球場、会議室などがあり、各種団体などが室内競技会やイベントなどに利用しています。綱引大会(p42 参照)や郷土かるた大会(p43 参照)なども開催されています。



市民総合体育館

小学校跡地に「狭山元気プラザ」(狭山台 1-21)

狭山元気プラザは、平成 24 年(2012)狭山台北小学校の跡地を活用して、若者から高齢者までが世代を超えて集い、様々な学びと交流活動を通じて、元気な狭山の学習基地として開設されました。屋外の運動場や屋内運動場では、若者から高齢者まで幅広い世代が運動を通じて健康増進と仲間づくりに励んでいます。(p203 参照)

施設の一部は「狭山台地区センター別室」として利用しています。

狭山市の産業・工業

昭和 29 年（1954）に工場誘致条例を制定し、積極的に企業を誘致してきました。同 41 年に川越狭山工業団地（新狭山地区）が、同 48 年には狭山工業団地（柏原地区、水富地区）が完成、大型工場が稼働し、同 57 年度の製造品出荷額等が埼玉県下第 1 位になりました。平成 25 年度（2013）第 1 位を川越市に譲りましたが、最近では川越市とわずかな差ですが、狭山市が県内第 1 位です。

狭山市における平成 29 年の製造業出荷額約 1 兆円に上位業種の割合は、輸送機械約 67%、食料品約 9%、化学約 9%、汎用機械約 3%、印刷 3%です。

就業人口

5 年ごとに行われる国勢調査から産業への就業人口をみると、平成 27 年の結果は第 1 次産業（農林漁業）が約 1,300 人、第 2 次産業（鉱業、製造業）が約 17,000 人、第 3 次産業（そのほかの産業）が約 53,000 人でした。第 2 次産業の就業者数は減少傾向にあります。

産業別経済生産力

狭山市の経済生産力は埼玉県経済統計によると、総生産額が 5 年前と比べて第 2 次産業が増大しています。平成 25 年度の総生産総額を県内 63 市町村と比較すると、狭山市の順位は 9 位、第 1 次産業生産額は同 14 位、第 2 次産業は同 6 位、第 3 次産業は同 11 位です。

狭山市内総生産額（金額単位：億円）

	平成 15 年度	平成 20 年度	平成 25 年度
総生産総額	5,100	4,600	5,000
第 1 次産業	25	24	24
第 2 次産業	1,800	1,300	1,700
第 3 次産業	3,300	3,300	3,300

参考：埼玉県統計課：平成 26 年度県民経済統計

川越狭山工業会（狭山市商工会館、入間川 3-22-8）

川越狭山工業団地周辺に拠点を置く企業 102 社は、「川越狭山工業会」を組織しています。狭山市の事業所は 55 社です。代表的な企業と取り扱い製品は次のとおりです。

- ・本田技研工業（株）埼玉製作所狭山完成車工場：自動車製造
- ・（株）ロッテ狭山工場：菓子類食品製造
- ・（株）工進精工所：鉄道車両・自動車部品製造
- ・全国酪農協同組合連合会狭山工場：乳製品製造
- ・新村印刷（株）：商業印刷、証券印刷物

川越狭山工業会は、周辺地域の災害時避難所や AED 設置箇所、利用可能な井戸などを「防災マップ」にまとめて提供しています。

狭山工業団地工業会（さやまインキュベーションセンター、広瀬台 2-16-15）

狭山工業団地に拠点を置く企業 38 社（平成 29 年 6 月現在）は「狭山工業団地工業会」を組織しています。代表的な企業と取り扱っている製品は次のとおりです。

- ・（株）タムラ製作所：電子部品、情報機器
- ・八千代工業（株）：自動車の燃料タンク、部品
- ・大日本印刷（株）狭山工場：書籍・包装紙などの印刷
- ・（株）セントラルフーズ狭山工場：ハム・ソーセージ、食肉加工
- ・日本エマルジョン（株）狭山工場：界面活性剤、乳化剤製品
- ・（株）かにや：和菓子

狭山商工会議所（狭山市商工会館、入間川 3-22-8）

商工会議所とは、商工会議所法に基づいて市単位の商工業社を会員とする公益法人です。主要な業務は中小企業金融、労働保険、経営相談、企業連携、簿記など資格試験、イベントの企画運営、などです。会員企業は約 2,200 社（資本金 5,000 万円以下、従業員おおよそ 50 人以下）です。狭山市内には世界中から注目されている中小企業が活動しています。代表的な企業と取り扱い製品等は次のとおりです。

- ・（有）河野ギター製作所（柏原 29-1）：「河野ギター」、「桜井ギター」
- ・（株）アダムジャパン（下広瀬 744）：ビリヤードキュー「MUSASHI」ブランド
- ・（株）三響フルーツ製作所（水野 993-9）：世界初「24 金フルーツ」
- ・味の醸造（株）（上奥富 1203）：調味料「味の母」
- ・（株）ゴトー養殖研究所（下奥富 883）：養殖飼料、養殖設備、水産用医薬品

狭山市の産業・商業

狭山市に拠点を置く商業（卸・小売業）に分類される業界の事業所数は、平成 28 年は約 1,100 か所、従業員数は約 9,700 人です。

旧来の商店街はシャッター通りと言われて久しく、狭山市においても商店街は衰退し、代わって全国展開のコンビニエンスストアが随所に見られるようになりました。また、大型スーパーや飲食店を一か所に集めた大型商業施設が増えています。移動手段が自動車の時代にあっては、多少遠方であっても駐車場が整備された商業施設は利便性が高く繁盛しています。

活気を取り戻せ「商店街」

すかいロード商店街（新狭山駅北口）

西武新宿線新狭山駅北口から 0 分、400m ほどの電線を地中化した「すかいロード」を中心に 100 店舗ほどの商店街です。川越狭山工業団地や狭山清陵高校、西武学園文理小・中・高等学校、西武文理大学への通勤通学の時間帯は人波が溢れます。



すかいロードの冬まつり

入間川七夕通り商店街

西武新宿線狭山市駅西口から 5 分程の場所に、会員数 22 軒が店舗を営んでいます。舗道のアーケード化や共通駐車場（50 台）を設置し、顧客の利便性は高くなりましたが、往時の活況は見られません。

狭山市入間川七夕まつりの際にはメイン通りとなり、露店が並び、老若男女が浴衣姿で七夕飾りを楽しんでいます。

複数の店舗が入るモール・大型商業施設

- ・イオン狭山店（上奥富 1126-1）
- ・狭山ショッピングプラザヤオコー（広瀬東 2-41-1）
- ・Market City 入曽（北入曽 720-1）
- ・ベスタ狭山（入間川 1025）

狭山市駅ビル店舗「Emio」（狭山市駅）

狭山市駅西口の整備と同時に、駅ビルに 19 店舗がそろいました。歯科医院や美容室、書店、薬局、カフェ、コンビニエンスストア、おむすび店、とんかつ店、すし屋、惣菜店、生花店、洋菓子店、生活雑貨店、コーヒー豆店、ベーカリー店、スーパーマーケットなどです。

狭山市駅西口「スカイテラス」（狭山市駅西口）

平成 24 年（2012）、狭山市駅西口再開発事業が完了し、商業施設スカイテラスがオープンしました。同 26 年「都市景観賞大賞・優秀賞」と「グッドデザイン賞」、同 27 年「土木学会デザイン賞 奨励賞」を受賞しました。



スカイテラス

地下 1 階地上 3 階建ての建物には、ライブハウスやコンビニエンスストア、居酒屋、狭山茶専門店、ファストフード店、チケットショップなどの店舗が入っています。3 階には、医療機関が並び診療に当たっています。

和菓子グルメ専門店「かにや」（柏原 337-13）

和菓子店「かにや」は、昭和 25 年（1950）創業しました。同 34 年の埼玉県植樹祭や同 42 年の埼玉国体に来県された昭和天皇・皇后両陛下に、抹茶を練り込んだ羊羹「香茶屋」を献上しました。平成 9 年（1997）、銘菓「関東あばれんぼう」がモンドセレクションで「ゴールドメダル」を受賞しました。



関東あばれんぼう

知ってる？

モンドセレクション：ブリュッセル（ベルギー）に本部をおく民間団体です。食品や飲料、化粧品、ダイエット、健康に関する製品の技術的水準「味覚」「衛生」「原材料」「消費者への情報提供」などを審査しています。

狭山市の産業・農業

狭山市の第1次産業（農業、林業、漁業）は、ほとんどが農業です。『統計さやま（平成30年度版）』によると、狭山市の総面積4,899haのうち、販売目的の稲作面積は約62ha、畑作面積は約530ha、果樹園の面積は約96haです。総農家戸数524戸で就業者は約1,000人です。農産物の出荷総額約60億円のうち、野菜が約50億円、畜産系が約4億円、米は約1億円弱です。

販売目的の作付面積は、ホウレンソウが114ha、里芋が98ha、茶が81ha、水稻が41ha、だいこんやニンジンが11haです。

お茶香るまち狭山市の「狭山茶」

狭山茶は、「河越茶」と言われていた時代がありました。江戸時代後期、入間市の吉川温恭・村野盛政・指田半右衛門の三人が宇治の蒸し製煎茶製法を習得して、狭山丘陵で生産を復興し、江戸へ出荷しました。



機械による摘採作業

「狭山火入れ」という伝統製法が狭山茶特有の濃厚な甘味を醸しているといわれています。狭山茶は、「色は静岡、香りは宇治よ、味は狭山でとどめさす」と言われています。狭山市茶業協会には64軒の茶店（ちゃみせ）が加盟しています。

最近では、健康志向からお茶の機能を高めた「べにふうき」、「プーアル茶」「ギャバロン茶」などの銘柄が開発されています。暑い夏にぴったりな水出し茶は、甘みが増してまるやかです。

平成生まれの狭山茶の抹茶「明松」

平成元年（1989）埼玉県主催「第4回国民文化祭さいたま89」の大茶会を契機に、翌年から狭山市主催の「さやま大茶会」が開催されるようになり、同3年狭山茶の抹茶「明松」が開発されました。

命名は日本に茶を広めた栄西禅師創建の建仁寺管長の湊素堂老師

です。「明松」は、明るい陽光にかざした松葉のように鮮やかな早緑色をした抹茶であるという意味を込めています。

狭山茶明松は、白缶、紫缶（フランスのコンクールで金賞受賞）、緑缶があります。大茶会では緑缶を使用しています。

知ってる？

「狭山茶」の定義：埼玉県内および隣接する東京都西部地域で栽培した荒茶を100%使用したお茶です。荒茶50～100%未満のお茶は「狭山茶ブレンド」、49%以下は単に「ブレンド」と表示します。

農産物は「あぐれっしゅげんき村」

平成26年（2014）JAいるま野農業協同組合は、地元農産物の直販所「あぐれっしゅげんき村」をオープンさせました。堀兼・上赤坂公園に近く、東京狭山線（県道126号線）に面して交通の便が良いことから、遠方より来店しています。



あぐれっしゅげんき村

平地林の落ち葉で「循環型農業」

循環型農業とは、平地林の落ち葉や下草を集めて堆肥を作り、畑に撒いて地力を高めて農作物を作る農業です。化学肥料は極力使用することなく、自然の循環を大事にする農業です。平地林の管理に多くの労力を要するので、循環型農業を継承することは難しい状況です。

知ってる？

循環型農業を後世に伝えよう：平成29年、映画監督原村政樹氏がドキュメント映画「武蔵野」を制作しました。埼玉県南西部に広がる武蔵野の平地林と循環型農業を記録しています。狭山市を除く、三芳町や所沢市の三富地区の循環型農業は日本農業遺産に登録されました。

狭山で地酒造り・純米酒『里平』

奥富地区の農家と狭山市居住の杜氏、新狭山地区の酒店と居酒屋が「奥富村地酒会」を結成、奥富産米で純米酒『里平』を生み出しています。ラベルは同じ『里平』でも、米の品種が変わると酒の味が変わります。六次産業化は農業の未来の姿です。



純米酒・里平

狭山市のグルメ

埼玉S級グルメ「Café&Dining Delfino 入曽店」(水野 562-15)

平成26年(2014)、イタリアンレストラン「カフェアンドダイニングデルフィーノ入曽店」は埼玉S級グルメに認定されました。市内唯一の認定店です。地産地消や有機野菜、「和」と「イタリアン」を融合させています。

お店は西武新宿線入曽駅西口前です。



埼玉S級グルメ

知ってる?

埼玉S級グルメ：平成25年度、埼玉県は「埼玉S級グルメ」制度を始めました。県産食材を生産または使用し、料理人の工夫や店舗の雰囲気が豊かであるなど優れた店舗として埼玉のブランド化を図るものです。3年間に県内100店舗が認定されました。一部店舗は閉店。

埼玉B級グルメ「さといもコロッケ」

狭山の畑から良質なさといもの子や孫は出荷されていますが、親芋は捨てられていました。農家の若者(さやま里芋増産倶楽部)が中心となり、もったいない精神から親芋を工夫し「さといもコロッケ」を生み出しました。

平成25年度、第11回埼玉B級ご当地グルメ王座決定戦で狭山の「さといもコロッケ」は3位になりました。

さといもは食物繊維やビタミンB1、ビタミンB2、カリウムが多量に含んでおり、老化やボケの防止に効果があるといわれています。市内のスーパーや精肉店11店で販売しています。是非お試しください。

知ってる?

埼玉B級ご当地グルメ王座決定戦：平成15年(2003)度、埼玉県は県内各地の「ご当地グルメ」の魅力をPRして町おこしを進める目的で始めました。ちなみに「B級グルメ」という言葉は1985年頃から使われています。安くて庶民的で、おいしい料理という意味合いです。



さといもコロッケ

食パン部門日本一「サンセリテ」(狭山台 3-11-2)

パンの店「サンセリテ」は、旨みを引き出すために、天然酵母を使い時間をかけて熟成する製法にこだわっています。令和元年(2019)第4回パン技術選手権大会「ベーカリー・ジャパンカップ」食パン部門で優勝、農林水産大臣賞を受賞しました。

知ってる?

ベーカリー・ジャパンカップ：「全日本製パン技術選手権大会」は、平成25年(2013)パン普及協議会と全国パン共同組合連合会が、食パン部門と菓子パン・食事パンの二部門で技術の向上と品質を競う目的で始めました。

狭山地域の伝統食文化

平成14年(2002)、JAいるま野と農家の女性たちが、郷土料理を伝承しようと「武蔵野食文化推進員」を結成しました。地域の伝統料理を募ったところ、40種類ほどの料理レシピが集まりました。

宴の閉めは「手打ちうどん」

武蔵野の畑では、小麦やさつまいもを栽培していました。

自宅で冠婚葬祭の宴を行っていた当時、地域の人が協力して手打ちうどんを準備しました。宴の最後に、夏の暑い時期には冷えたざるうどんが、寒風吹く冬場には煮込みうどんが振る舞われました。



手打ちうどん

パンや菓子の原料となる強力粉ではなく、締め付けるほどに腰が強くなる中力粉がうどんに適しており、粘り強いつしりとした食感が好まれています。

さつまいもで「さつま団子」

傷ついたりして出荷できないさつまいもを切干にし、乾燥後、粉にして保存しました。粉に湯を足して練り、耳たぶ程の柔らかさになったら片手で握り締め、ちぎって蒸し器で蒸らします。真っ黒ですが、甘みを加えなくても、餅々感と甘みがあり、粉が細かい程きめ細かく上等な団子になるそうです。

狭山市のイベント

狭山市域の「桜まつり」

河川敷中央公園で「桜まつり」(柏原宇田川原 2910、p154 参照)

「桜まつり」は3月最終土曜日に開催されます。市内団体による模擬店が出店、ミニSLが走ります。

狭山稲荷山公園で「桜まつり」(稲荷山 1-23-1、p80 参照)

「桜まつり」は4月の第1週末に開催されます。公園内に設けた特設ステージでは、文化団体の皆さんが日本舞踊や民謡、和太鼓演奏、ダンスなどを披露します。桜の木の下にシートを敷き、模擬店で買った料理を広げて、演奏や演技を観る花見は乙なものです。

市役所で「狭山新茶と花いっぱいまつり」(入間川 1-23-5)

4月29日(昭和の日)、茶どころ狭山の春の風物詩「狭山新茶と花いっぱいまつり」は、市役所ロータリーや駐車場を会場に開催されます。新茶の茶摘みや手もみが体験でき、「狭山市お茶大使」が新茶を振る舞っています。



狭山新茶と花いっぱいまつり

姉妹都市新潟県津南町から野菜や笹餅、地元茶園の新茶や野菜、さといもコロッケなどの模擬店が並びます。花の苗の無料配布には長い列ができます。お腹に響く和太鼓の演奏も魅力的です。

小学生が意見発表「少年の主張」

毎年7月頃、狭山市市民会館を会場に「狭山市青少年健全育成大会・少年の主張」(主催：青少年を育てる狭山市民会議)を開催しています。令和元年は、小学生4名、中学生3名が思いやりや夢について発表しました。

・青少年を育てる狭山市民会議

青少年を育てる狭山市民会議は、青少年の健全育成、健全で明るい家庭づくり、社

会環境の浄化、非行や事故防止、青少年リーダーや青少年団体の育成などを目的として活動しています。関係する団体は29団体、情報を共有化して活動しています。

七夕通りを主会場に「狭山市入間川七夕まつり」(入間川)

原則、毎年8月第1土曜日と日曜日に開催する狭山市入間川の七夕祭りは、江戸時代中期から初まったと伝えられています。西武新宿線狭山市駅西口広場から七夕通りを主会場に開催します。土曜日には小学生の鼓笛隊がパレードし、浴衣姿の老若男女が溢れます。頭上に七夕飾り、路上に露店が軒を連ね賑わいます。子どもたちは夏休みのひと時、買い物やゲームに興じています。2日目、市民団体が揃いの浴衣で阿波踊りを楽しめます。



狭山市入間川七夕まつり

最近、市民参加型の七夕祭りを目指し、保育園や幼稚園から高齢者の団体、法人団体、自治会単位まで、多くのグループが七夕飾りを出品しています。昔は里芋の朝露で墨をすり、短冊に願いを書いていました。運営には多くのボランティアが、安全と安心を心がけて、誘導やゴミ回収に取り組んでいます。

納涼花火大会(入間川河川敷)

七夕まつり初日の夜、入間川河原で花火の打ち上げが行われます。川幅が狭いので、大玉や仕掛け花火は披露できませんが、30分間に約2,600発の花火は、楽しみです。



打ち上げ花火

8地区で同日開催「市民体育祭」

10月初旬の日曜日、地区ごとに市民体育祭は開催されます。第1回は、市制3年目の昭和32年(1957)でした。体育活動を通じて、地域の人たちが交流し、健康増進を図ります。

最近では自治会対抗の競技以外に、親睦を主眼にしたレクリエーション色の強い個人参加型競技が多くなりました。

過去、雨天やグラウンドの状況で中止になったことがあります。

8 地区で同時開催「さやま市民文化祭」

開催期間は会場により多少異なりますが、概ね10月下旬から11月下旬に開催されます。市民会館や中央図書館、各地区公民館が会場です。公民館ではサークルによる演芸披露や作品の展示、模擬店の物品販売が行われます。市民会館では、市民劇団や新舞踊連盟の演技、民謡連盟や三曲連盟の演奏が行われます。

中央図書館では、狭山市地域文庫連絡会により、お話会や遊びの会などが行われます。

第1回の開催は昭和32年（1957）で、体育祭と同じ年でした。

狭山市内企業集団による「狭山市商工祭」(狭山市駅西口)

毎年10月開催される狭山市商工祭は、組合団体や企業、事業者により、PRや飲食、食品の物販などを行うイベントです。平成28年度、第38回からは狭山市駅西口スカイテラス周辺を会場とし、同時にハロウィーン仮装コンテストや新車展示・試乗も行われました。



狭山市商工祭

・狭山市観光協会（商工会館内）

狭山市観光協会は、平成3年狭山市の観光事業・産業経済の振興、郷土文化の向上に貢献することを目的に設立されました。

狭山市入間川七夕まつりなどに携わる一方、狭山市内で開催されるイベントや観光スポット情報を適宜インターネットで発信しています。平成28年度発行観光案内冊子「狭山 散歩する旅、新発見」ではAR（拡張現実）体験機能を組み込み、狭山市民や来訪者から好評を得ています。

ブルーインパルス飛ぶ「入間航空祭」(稲荷山)

昭和37年（1962）、航空自衛隊入間基地（狭山市・入間市）で第1回航空祭が開催されました。その後、晴天の特異日・11月3日（文化の日）になりました。初回の来場者は約3万人、最近では20数万人以上が来場、グッズ販売や食品販売の出店、航空機の展示、ブルーインパルスや各種航空機による飛行ショーを楽しんでいます。

航空機の離着陸航路下の公園では場所取りが大変です。

・入間基地

入間基地（面積約300ha、隊員約4,300名、滑走路全長約2km）は、昭和13年（1938）所沢町にあった所沢陸軍飛行場を移転させて、陸軍士官学校豊岡分校として発足しました。飛行場は同15年に完成しました。

終戦後アメリカ陸軍が基地を接收し、同21年ジョンソン基地と改称しました。

同29年（1954）防衛庁の設置とともに自衛隊が発足、同33年入間基地が開設されて、中部航空方面隊が設置されました。発足以来、航空自衛隊最大の補給基地や訓練基地として歩んできていますが、防空業務としてPAC3の配備や災害派遣にも対応しています。戦闘機は駐留していません。



ブルーインパルス

知ってる？

ブルーインパルス：昭和35年（1960）浜松北基地（現浜松基地）で初の公開飛行を実施。1964年第18回東京オリンピックの際に、5色のスモークで五輪マークを描き有名になりました。現在、宮城県松島基地に所属し、練習機T-4（自重約3.7ton、最大速度マッハ約0.9）6機で編隊を組んでいます。

「狭山 茶の里ウォーキング」(新狭山駅～狭山市駅)

平成26年（2014）11月、市制60周年の記念行事として、狭山市自治会連合会と狭山市が主催しました。

同29年第4回から、二つのコースが設定されました。10kmのコースは新狭山地区の中原公園（あじさい公園）をスタートし、奥富神社、下奥富河川敷公園、いるまがわ大橋を通り、入間川



狭山 茶の里ウォーキング

河川敷のおもてなし会場、稲荷山公園で開催の「さやま大茶会」、狭山市駅西口のゴールを目指します。ファミリー向け6kmコースでは、おもてなし会場以降昭代橋を渡ってゴールを目指します。

狭山稲荷山公園で「さやま大茶会」(稲荷山1-23-1)

平成元年（1989）、「第4回国民文化祭さいたま89」の一環として、狭山市で大茶会を開催しました。これを契機に、平成2年以降、毎年11月、狭山稲荷山公園で開催されています。中学・高等学校の茶道

1. 狭山市全域

クラブと市内茶道各流派の茶席で、狭山茶と伝統文化に親しみます。

茶席では狭山茶の抹茶第1号「明松」緑缶や玉露「伊利麻路」、水は友好交流都市津南町の名水「竜ヶ窪の水」です。

狭山市三曲連盟による演奏、狭山茶や和菓子、姉妹都市津南町の特産品の販売も行われています。

なお、大茶会は「Beyond2020 プログラム」に認証されています。
(p196 参照)



さやま大茶会

力自慢が競う「狭山市綱引大会」 (市民体育館、柏原 555)

昭和 60 年 (1985)、第 1 回狭山市綱引大会が、智光山公園の市民体育館で開催されました。目的は、明日の狭山を担う青少年の心身の健全な育成と世代を超えた相互のコミュニケーションの発展への寄与です。小学生の男女・中学生の男女・一般男女が選手 8 名と交代要員 3 名以内でチームを構成し、予選リーグと決勝トーナメントを競います。令和元年第 35 回大会には 106 チームが競いました。



綱引大会

地元農産物集合「狭山市農業祭」 (JA いるま野狭山支店、入間川 2-24-25)

狭山市農業祭は、毎年 11 月に開催されています。テーマは「食と農」、会場は JA いるま野狭山支店と狭山市市民会館です。農産物の品評会出品物の展示や表彰式、朝採り新鮮野菜の直販、手打ちうどんやまんじゅうの販売、農業機器の展示、キャラクターショーなどが行われます。「さといも料理グランプリ」では来場者の投票で優勝者が決まります。



狭山市農業祭

・JA いるま野

JA いるま野 (いるま野農業協同組合) は、平成 8 年 (1996)、10 市 3 町の農業協同組合が合併して誕生しました。基本となる事業は、営農支援や金融サービス、共済事業、介護やデーサービスなどです。農作物の直販店を産地近くで展開しています。県道 126 号線沿いに「あぐれっしゅげんき村」を出店しています。(p35 参照)

狭山市駅前「冬の天の川」イルミネーション (狭山駅西口広場)

平成 23 年 (2011)、狭山市駅西口の再開発が完了したことを機会に、「冬の天の川」イルミネーションが始まりました。12 月から翌年 1 月中旬まで、幻想的な光の世界が広がります。狭山市駅東口駅前でもイルミネーションが輝きます。



冬の天の川

「クロスカントリー in Sayama」 (狭山稲荷山公園、稲荷山 1)

狭山稲荷山公園では、12 月に「クロスカントリー in Sayama」が開催されています。

令和元年 (2019)、第 27 回大会には、6 歳から 84 歳までのランナーが参加し健脚を競いました。ファミリーの部 1.1km、小学生 2km、中学生・高校生・一般女子 4km、高校生男子・シニア男子 6km など、14 部門で狭山稲荷山公園内の起伏あるコースに 1,087 名が競いました。小学生を除く走者は参加費を要しますが、T シャツやうどんのサービスがあります。



クロスカントリー

「彩の国 21 世紀郷土かるた狭山市大会」 (入間川小学校)

埼玉県教育委員会が開催する「彩の国 21 世紀郷土かるた県大会」は、埼玉県内の子どもたちが埼玉の風土や文化を理解して、埼玉への郷土愛を育むことを目的に実施しています。

埼玉県の歴史や自然をテーマに「さいたま郷土かるた」を制作したことを契機に、昭和 58 年 (1983)「さいたま郷土かるた県大会」が始

まりました。平成 14 年 (2002)「彩の国郷土かるた」を新たに制作し、同 18 年「彩の国 21 世紀郷土かるた大会」と改称しました。小学校の低学年と高学年が個人戦と団体戦(1 チーム競技者 3 名、交代要員 1 名)で競い合います。



郷土かるた狭山大会

平成 31 年 1 月、狭山市大会の優勝チーム(団体低学年の部「入間川東チーム」と高学年の部「新狭山 3A チーム」、個人戦優勝者)が狭山市の代表として、3 月戸田市スポーツセンターで行われた県大会に出場しました。

「狭山茶グランプリ in SAYAMA」(農業環境改善センター、堀兼 360)

狭山市茶業協会は狭山市内の小学生 3~6 年生を対象に、お茶に関する知識やおいしいお茶の淹れ方を学び、おもてなしの心を育てたいと、「狭山茶グランプリ in SAYAMA」を開催しています。受験生は事前に「事前学習用テキスト」で学習し、「〇×筆記クイズ」や「お茶の種類あて競技」、「お茶のいれ方実技競技」にチャレンジします。



狭山茶グランプリ

平成 31 年 2 月、第 6 回狭山茶グランプリには 34 名の小学生が参加し、上位入賞者 8 名が「狭山市お茶大使」に認定されました。総合優勝は狭山台小学校 6 年生、準優勝は広瀬小学校 5 年生でした。お茶大使は、「狭山新茶と花いっぱいまつり」や「さやま大茶会」などで来場者にお茶を振る舞っています。

知ってる?

入間川の大ケヤキ: 昔ばなしです。入間川祇園の白山神社境内に大ケヤキがありました。樹齢 1000 年以上の幹からでた枝は 4km 先まで影を落としていたそうです。春先になると大ケヤキが吸い上げる水音が周辺に響きうるさかったそうです。ある事情でケヤキを伐採すると、大火事がおきて神社や民家は焼けてしまいました。人々はあたりではないかと恐れ、一層安全祈願をするようになりました。(池原昭治『狭山の絵本 民話(1)』より)

「清水冠者義高」を偲ぶイベント(入間川左岸河川敷)

清水八幡宮に祀られる清水冠者義高(1172~1184)は、木曾(源)義仲の長男です。母は巴御前とも山吹御前ともいわれています。

義高 8 歳の時、人質として鎌倉に召し出されました。父義仲が頼朝に討たれた時、頼朝・政子の娘大姫らの計らいで鎌倉を脱出します。しかし、入間川河原で追手により義高(12 歳)は斬首されました。義高と大姫の悲恋に想いを寄せて、「義高の鯉のぼり」と「義高ウォーク」を行っています。(p89、p92、p164 参照)

入間川の空に「義高の鯉のぼり」(入間川左岸)

義高が斬首された元暦元年(1184)4 月 26 日(陰暦)に因んで、義高の供養のために鯉のぼりを掲げています。ちなみに、清水八幡宮の社紋は、鯉のぼりのポール先端の「矢車」です。

嵐山町大蔵館へ 27km「義高ウォーク」(西武新宿線狭山市駅~嵐山町大蔵館)

鎌倉を脱出した義高が目指した地は、義仲の生家大蔵館(埼玉県嵐山町)ではないかとの思いから、5 月 4 日(祝日)狭山市から笛吹峠を越えて大蔵館まで 27km のウォーキングが実施されています。

森のろうそく「灯の川」(入間川左岸河川敷)

「灯の川」は、平成 21 年(2009)から初めました。毎年 10 月に開催されています。ジャズや和太鼓の演奏を聞きながら、グルメ屋台で飲食を楽しむ情景は、安らぎのひと時です。圧巻は夕刻からの西川材の間伐材 200 本「森のろうそく」の点火式です。道案内の「竹のろうそく」(七夕まつりの竹飾りの竹)で浮かぶ幻想的な情景は、灯の川を象徴しています。(p156 参照)



灯の川

知ってる?

西川材: 西川地域(埼玉県南西部の入間川、高麗川、越辺川流域)の山林は、江戸時代から保護され、植林されていました。切出した木材は筏に組んで入間川を下り、江戸の木場まで運び、建築資材として供給されました。

狭山市にゆかりの文化人

田口保明・国学者（1804～1892）

田口保明は文化元年(1804)北入曾村名主の家に生まれました。幼少期の名は善八、江戸で塙保己一の塾で国学を学び、国学7人衆の一人と言われました。師の名の一字を貰い保明と名乗りました。

北入曾に戻ってからは国学の塾を開設、明治5年学制発布後公立入曾学校へと発展させました。また、狭山市指定無形民俗文化財「入曾囃子」の発展に貢献しました。(p103参照)

沢田泉山・教育者（1823～1910）

沢田泉山は文政6年(1823)北入曾村本橋家に生まれました。幼少期の名は茂吉、後に新五郎正勝、さらに「七曲井」にちなんで泉山と名乗りました。天保8年(1837)から田口保明の国学、漢文、漢詩、和算、漢方医学、易学、農業などを学びました。

24歳の時入間郡北野村広谷(現所沢市小手指南)の沢田家の養子となり、こどもたちのために手習い塾「北広堂」を開き、書道泉山流を指導しています。明治5年学制発布後「狭山学校」(所沢市立三ヶ島小学校の前身)を創立、校長になりました。入門者の出身村は入間郡、多摩郡、高麗郡、江戸、川越、青梅など、24年間に3,000人が学んだといわれています。

遠藤三郎・平和活動家（1893～1984）

遠藤三郎は明治26年(1893)山形県小松町で生まれました。陸軍士官学校、陸軍大学を卒業後、参謀作戦課勤務、フランス駐在武官などを経て、陸軍中將になりました。終戦後は自由人となり、入間郡入間川町の旧航空士官学校跡地に入植、開拓農民となりました。

一方、陸軍の指導者であったことを反省し、非武装平和運動に心血を注ぎ、「日中友好元軍人の会」を結成、日本と中国の国交回復に努めています。1904～1984年にわたる直筆『遠藤日記』の原本は狭山市立博物館に保管されています。

土家由岐雄・童句創始者（1904～1999）

土家由岐雄は明治37年(1904)東京都文京区で生まれ、昭和46年(1971)狭山市中央に転居、平成11年逝去されました。少年時代から児童文学に興味を持ち、文学活動をしていました。

昭和26年(1951)、童話集『愛の学校・二年生』に収録された『かわいそうなぞう』は、太平洋戦争時に上野動物園で殺処分される運命の象が衰弱して亡くなったという史実に基づく童話です。

童句は大人が少年少女時代の気持ちを思い起こして詠む俳句のことです。

同61年(1986)、狭山市立智光山公園のこども動物園入口に、土家由岐雄の代表作5童句を刻んだ童句碑が建てられました。狭山市中央通り商店街の街路灯には全国から募集した「童句百選」が掲示されています。



童句碑

大野七三・郷土史研究家（1922～2019）

大野七三(しちぞう)は大正11年(1922)狭山市で生まれました。所沢商業学校(現所沢高等学校)を卒業、狭山市文化財保護審議会委員や狭山市史編纂委員。狭山市美術工芸専門調査委員などを歴任しました。

著書に『川鍋晩斎』、『狭山市の社寺誌』、『先代旧事本紀 訓註』、『神々の原像』、『日本建国神代史』、『新説武蔵国の国道伊利麻路』他多数。

新井悟楼・不老川をきれいにする会（1925～2013）

新井悟楼は大正14年(1925)に生まれました。毎日新聞所沢通信部長を退職し、狭山市自治会連合会会長になった時、マスコミに騒がれた「不老川は日本一汚い川」の汚名を返上しようと、流域31自治会に浄化活動と呼び掛け、町田佐一狭山市長と協議して、昭和60年(1985)「不老川をきれいにする会」を立ち上げて、市民と行政が一体となって活動を開始させました。(p102参照)

吉野弘・詩集『北入曾』の作者（1926～2014）

吉野弘は大正15年(1926)山形県酒田市に生まれました。23歳の時

に肺結核を患い病院に入院し詩作を始めました。昭和 47 年（1972）狭山市北入曾に転居し、『文芸狭山』の編集委員を務めています。晩年は静岡県に移住し、平成 26 年（2014）逝去されました。

代表作には詩集『北入曾』の『茶の花おぼえがき』や『夕焼け』、『樗の資質』、『人形譚』など多数あります。『祝婚歌』は今も結婚式の祝辞で披露されています。入間野中学校校歌を作詞しています。

さねとうあきら・児童文学劇作家（1935～2016）

さねとうあきら（本名実藤述）は昭和 10 年（1935）東京都大田区大森に生まれました。戦時中広島に疎開し、同 49 年所沢市に、同 61 年狭山市水野に転居し、平成 28 年（2016）逝去されました。

さねとうは児童文学作家・劇作家として活躍されました。狭山は民話の宝庫と認識して、民話集『さやま民話風土記』、南入曾の話『狐獅子舞』、水野の話『ごしん山の化け汽車』などを発表。狭山の魅力を散りばめた『さやまふるさと音頭』を作詞しました。

山本則直・大蔵流狂言方（1939～2015）

山本則直は昭和 14 年（1939）大蔵流狂言師 3 代目山本東次郎の次男として東京都で生まれ、狭山市水野に居住、同 22 年 69 歳で逝去されました。兄の 4 代目東次郎氏と弟の則俊氏とともに山本 3 兄弟として知られていました。平成 17 年（2005）芸術選奨文部大臣賞、同 19 年紫綬褒章を受章しています。同 28 年狭山市市民会館で行われた山本則直氏の 7 回忌追善「第 22 回 狂言鑑賞会」では、狭山市在住の則直の長男泰太郎氏と次男則孝氏が演じました。

広沢一岐・童句振興協会会長（1932～2018）

広沢一岐（本名広沢謙一）は昭和 7 年（1932）狭山市水野に生まれ、所沢市に居住していました。東京学芸大学国語科を卒業し、雑誌社に勤務後、入間公民館（現入曾公民館）の館長として七曲井の発掘を担当しました。狭山市議会議員を 4 期後、郷土史家として『狭山市史 通史編』を共著し、文学者として『狂言入間川考』を著しました。童句創始者土家由岐雄より一字を得て、童句号・広沢一岐の名で童句振興

協会会長として童句の振興に努めていました。（p210 参照）

広沢は市内公民館などの歴史や文学講座の講師としてマルチに活躍しました。最終講演はさやま市民大学の公開講座でした。

鈴木エドワード・建築家（1947～2019）

鈴木エドワードは狭山市入間川で生まれ、1971 年米国ノートルダム大学を卒業、バックミンスター・フラー&サダオ/イサム・ノグチスタジオに在籍、1975 年ハーバード大学大学院修了後、丹下設計事務所在籍、1977 年鈴木エドワード建築設計事務所を設立しました。代表作 JR 東日本さいたま新都心駅はグッドデザイン賞や埼玉県 20 世紀景観賞などを受賞、その他にも多数の受賞歴があります。1985 年ハワイ・アイアンマン・鉄人レースを完走しています。

津村節子・文化功労章受章作家（1928～）

津村節子氏は昭和 3 年（1928）福井市で生まれ、戦時中、母親の出身地・入間川町に疎開しました。小説『茜色の戦記』と『星祭りの町』は入間川町での実体験をまとめたものと言われています。

同 40 年（1965）第 63 回芥川賞を受賞、平成 15 年（2003）恩賜賞と日本芸術院賞を受賞して日本芸術院会員となりました。同 28 年（2016）文化功労者に認定されました。

夫の小説家吉村昭は『戦艦大和』や『関東大震災』など一連のドキュメント作品で、菊池寛賞を受賞しています。

今坂柳二・狭山の民話作家（1930～）

今坂柳二氏は昭和 5 年（1930）狭山市笹井で生まれ、笹井に居住しています。狭山市文化財保護審議会の委員長を務めていました。若いころから俳句を作り、同人誌『つばさ』を主宰する一方、狭山の昔話を 200 話以上採録し、『わらやねの下の昔ばなし』や『ランプの下の昔ばなし』、『星ふる里の昔ばなし』、『龍じいの昔ばなし』などに郷愁豊かな民話にして発表しています。

今坂氏は、健脚の持ち主としても有名です。60 歳の時 100km を 12 時間強で完走し、平成 25 年（2013）東京マラソンでは最年長ランナ

一として参加し、5時間31分の好記録で完走しました。

大野松茂・狭山市名誉市民 (1936～)

大野松茂氏は昭和11年(1936)狭山市で生まれ、川越農業高等学校(現川越総合高等学校)を卒業しました。昭和49年から狭山市中央公民館館長、昭和54年から埼玉県議会議員、昭和61年から狭山市市長、平成8年から衆議院議員など公務を務めています。衆議院議員時代には財務省や文部科学省の政務官や総務省副大臣、内閣官房副長官など国の要職を歴任しました。

これらの功績により平成21年旭日重光章を受章、同年市制施行55周年記念式典において狭山市名誉市民の称号を授与されました。

平成22年からは(一社)高麗建郡1300年の理事長や高麗浪漫学会顧問として地域の文化活動を支援しています。

池原昭治・メルヘン童絵作家 (1939～)

池原昭治氏は昭和14年(1939)高松市で生まれ、現在狭山市水野にお住まいです。童絵作家でテレビ番組「まんが日本昔はなし」の演出・作画・美術を担当していました。放送された27本中3本『鬼子母神様』、『大六天』、『諏訪神社の龍神様』は狭山の昔話です。

狭山市史(民俗編)の編纂では祭や郷土芸能、伝説や昔ばなし、世話を担当しています。メルヘンに満ちた童絵は狭山市『広報さやま』や『水野公民館便り』など、随所で見るができます。

『狭山の絵本 狭山のお祭り』、『狭山の絵本 民話集(1)』、『残しておきたい狭山の風景』は、昔話を今に伝えるさやまの宝です。狭山市の「狭山観光大使」に任命されています。

牛窪梧十・書家 (1945～)

牛窪梧十氏は昭和20年(1945)人間郡三芳村で生まれました。幼少期は静岡県で過ごしましたが、川越高校に入学して書道に目覚め、東京教育大教授学西川寧に師事しました。大学卒業後25年間埼玉県立高等学校の教師、大東文化大学書道学科の講師を務めました。

1970年から入曽地区水野に居住し、埼玉書道展などに出品、書道

教室も開いています。日展会員(審査員2回)、読売書法会常任理事・役員、全日本書道連盟理事、全国書美術振興会幹事など歴任。

牛窪氏の著書「標準篆刻篆書字典」(1987)は高校生必携書として利用され、台湾で海賊版が出たほどの評価を得ています。

中村ルミ子・紙芝居作家 (1955～)

中村ルミ子氏は東京都内で生まれ、昭和53年(1978)狭山市青柳に転居しました。「日本童話会」に参加して「福島正美SF童話大賞」を受賞、その後紙芝居作家として、今坂柳二氏作の民話などを紙芝居に描いています。『二十三夜さま』や『射留魔の里』、『とおかんや』、『たなばた食堂』などの作品は狭山市図書館で貸し出しています。

青木淳悟・三島由紀夫賞受賞作家 (1979～)

青木淳悟氏は昭和54年(1979)狭山市で生まれました。大学在学中から小説を執筆、『四十日と四十夜のメルヘン』で新潮新人賞を受賞、同作を収めた作品集『四十日と四十夜のメルヘン』で野間文芸新人賞を受賞。数度の三島由紀夫賞候補を経て、平成24年(2012)『私のいない高校』で三島由紀夫賞を受賞しました。

北久保みゆき・チアダンス振付師 (1985～)

北久保みゆき氏は昭和60年(1985)生まれ、狭山市を活動拠点とする狭山市観光大使・チアダンスチーム「ドリームワンダーランド」の代表であり振付師です。人間向陽高校3年の時ジャズ部門で全国大会を優勝、アメリカで開催の世界大会に出場しています。

その後、国内の大会で指導したチームが100回以上も優勝、振付師としてコリオグラフィ賞を8回受賞、高校生、大学生、一般のすべての年齢区分で全米優勝を果たしています。2018年ポーランドで開催された「第1回世界大学チアリーディング選手権大会」では日本代表として「ドリームワンダーランド」を出場させ、チームチアジャズ部門で見事金メダル受賞に導きました。

知ってる? 「文化人を知ろう」プロジェクト: 狭山市文化団体連合会では、狭山市にゆかりの著名な文化人の経歴や業績、作品などを狭山市民芸術祭(2月開催)時に紹介する事業を進めています。なお、上記数名の方々の詳しい紹介文は同連合会や狭山市のHPに掲載されています。参照ください。

狭山市のスポーツ選手・団体

2016 リオオリンピック・パラリンピック出場選手

狭山市にゆかりのあるオリンピック選手は4名です。

高宮 (たかみや) なつ美選手 (1991～)

高宮 (旧姓朝長、ともなが) 選手は、狭山市広瀬の出身です。広瀬小学校、西中学校、埼玉県立川越南高等学校を卒業。高校では陸上部に所属し、入間川のサイクリングロードでトレーニングしていました。警視庁に就職後に近代五種競技を始め、初出場したオリンピックでは13位の成績でした。



朝長なつ美選手

知ってる? 近代五種競技：一人の選手が1日に、フェンシング (エペ)、水泳 (200m)、馬術 (クロスカントリー4km)、射撃 (ピストル 20 発)、ランニング (クロスカントリー) です。

石川末廣選手 (1979～)

石川選手は鈴鹿市出身です。東洋大学で箱根駅伝に2度出場、卒業後本田技研工業 (株) に入社し、Honda 陸上部に所属しています。男子マラソンに出場し、記録2時間17分08秒、36位の成績でした。

設楽悠太選手 (1991～)

設楽選手は寄居町出身です。東洋大学で箱根駅伝に出場7区の区間記録を更新しました。卒業後本田技研工業 (株) に入社し、Honda 陸上部に所属、元旦に開催される全日本実業団駅伝競走大会 (群馬県、ニューイヤー駅伝) に出場し区間賞を記録、オリンピックでは男子10,000mに出場し29位の成績でした。2018東京マラソンでは16年ぶりに日本記録を5秒更新、2時間6分11秒でゴールしました。

土田和歌子選手 (1974～)

土田選手は東京都出身です。八千代工業 (株) の所属です。平成28年東京マラソン・車いす女子の部9連覇、シドニーパラリンピックで銅メダル、アテネパラリンピック5,000mで金、車いすマラソンで銀を獲得、リオパラリンピック車椅子マラソンでは4位の成績でした。

ちふれ AS エルフェン埼玉

昭和60年(1985)エルフェン埼玉は、狭山市のスポーツ少年団アゼリアFCの少女部として活動を開始しました。平成14年(2002)に日本女子サッカーリーグに加盟、同16年「NPO法人エルフェンスポーツクラブ」を設立、同26年「AS エルフェン埼玉」に、同28年現チーム名に変更して心機一転なでしこリーグ1部に昇格、同29年2部に降格となりました。



ちふれ AS エルフェン埼玉(2017年)

ホームタウンは日高市、活動拠点は飯能市、情報発信と下部組織マリの練習は「発祥の地」狭山市が拠点です。

木崎あおい選手 (1998～)

木崎選手は柏原中学校卒、狭山市在住です。平成31年浦和レッズレディースから移籍、ディフェンダー (背番号は5) としてプレーしています。平成29年には19歳以下、同30年には20歳以下日本代表に選ばれました。

知ってる? 日本女子サッカーリーグ：平成元年(1989)第1回日本女子サッカーリーグが開催されました。2011年第6回FIFA女子ワールドカップドイツ大会で日本代表チームが優勝しました。女子サッカーリーグは、なでしこリーグ1部(10チーム)・2部(10チーム)、チャレンジリーグ(12チーム)の構成です。

Honda 硬式野球部 (新狭山1-10-1)

Honda 硬式野球部は、埼玉製作所に所属しています。1960年創部の野球部は都市対抗野球大会に31回出場、2度優勝しています。

令和元年、木浪聖也選手と齋藤友貴哉選手は阪神タイガーズに、松田進選手は千葉ロッテマリーンズに入団しました。

知ってる? 都市対抗野球大会：プロ野球が始まる前、野球ファンの熱望に答えて、昭和2年(1927)第1回大会(神宮球場)が実業団12チームの参加により始まりました。出場32チームは、所在都市の代表として首長(都知事や市町長)の推薦状を提出し、ユニホーム右袖に都市章をつけています。

狭山市のドラマ舞台・ロケ地

旧入間中学校をロケ地としたドラマ (南入曾 443)

平成 27 年 (2015) に閉校した旧入間中学校の跡地では以下の映画やドラマなどが撮影されています。

映画「暗殺教室～卒業編～第 2 作」

「暗殺教室」は平成 27 年 (2015) に撮影されました。

男性アイドルグループ嵐のメンバー二宮和也が声優として「殺せんせー」の声と死神役として実演出演しています。映画監督は羽住英一郎、脚本金沢達也です。「週刊少年ジャンプ」(集英社)で連載された人気漫画「殺人教室」(原作:松井優征)の実写映画として制作されました。



暗殺教室ロケ跡

2016 年入間中学校の教室が一般公開され、6,000 名以上の来訪者が見学しました。

テレビドラマ「相棒 season15 #8」(テレビ朝日)

「相棒」は平成 28 年 (2016) に撮影されました。特命係長杉下右京(水谷豊)と 4 代目相棒冠城亘(反町隆史)が教室を訪れ、殺人事件の目撃者である先生田村紗季(志保)に証言を求めました。

テレビドラマ「大貧乏」(フジテレビ)

「大貧乏」は平成 28 年 (2016) に撮影されました。七草ゆず子(小雪)と櫻沢まりえ(内田理央)の二人が運動会(世田谷区桜台小学校の設定)の場面で校庭のコースを走りました。

入曾市は漫画「椿ナイトクラブ」

哲弘によるギャグ漫画です。「週刊少年チャンピオン」(秋田書店)に 2006 年～2007 年まで連載されました。作品上の入曾市は西武新宿線入曾駅の周辺、入曾地区をモデルにしています。

旧東中学校をロケ地としたドラマ (入間川 1011)

平成 28 年 (2016) に閉校した旧東中学校の跡地では以下の映画やドラマなどの撮影が行われています。

テレビドラマ「こえ恋」(テレビ東京)

「こえ恋」は平成 28 年 (2016) に撮影されました。原作は高校生たちに人気のあったコミック漫画(作:どーる、NHNcomicoにて連載、単行本双葉社)です。吉岡ゆいは永野芽郁が、クラス委員長松原くんの声は櫻井孝宏が演じました。狭山市の高校生やシニアがエキストラとして協力しました。



旧東中学校

映画「傷だらけの悪魔」

「傷だらけの悪魔」は平成 28 年 (2016) に撮影されました。原作はコミック・ノベルアプリ「comico」に連載されました。元いじめっ子葛西舞(足立梨花)と小田切詩乃(江野沢愛美)、イケメン黒木唯(藤田富)、不良生徒当麻篤史(小南光司)らが学園生活の現代的課題に向き合います。監督・編集は山岸聖太です。

テレビドラマ「PTA グランパ!」(NHK プレミアム)

「PTA グランパ」は平成 29 年 (2017) に撮影されました。原作は中澤日菜子著『PTA グランパ!』(角川書店)です。定年退職した武曾勤(松平健)が娘都(真飛聖)の小学 1 年生の娘のために、小学校の保護者会(PTA)副会長となって奮闘する物語です。

室町時代の狂言「入間川」

狂言「入間川」は、寛正 5 年 (1464) 京都鴨川の三角州の糺河原(ただすがわら)で演じられています。物語は、東国の大名が太郎冠者を伴って京都から帰国の途中入間川に差し掛り、川向こうの何某に浅瀬の場所を問い、浅瀬と思って渡るのですが、深みにはまってしまい、成敗するといって怒ります。大名と何某のやり取りに逆さ言葉(入間様)が介在して人の心理の機微を滑稽に演じます。

狭山市の市政

狭山の戦略を担う「狭山市役所」(入間川 1-23-5)

狭山市役所の位置は東経 139 度 24 分 47 秒、北緯 35 度 51 分 8 秒、海拔は 77.2m です。市役所の建物は鉄骨鉄筋 7 階建て、高層棟 4 階に市長室や狭山市議会に出入りするロビーがあります。



狭山市役所

1 階には転入転出届や証明書発行、保険や納税、福祉関係、情報公開コーナーなどの窓口があります。

市役所の出先機関「地区センター」は 8 つの地区（入間川、入曽、堀兼、奥富、柏原、水富、新狭山、狭山台）に設置されています。

狭山市のかじ取り「狭山市議会」(入間川 1-23-5)

狭山市議会は、全市一区から選ばれた議員 22 名により構成されています。議員の任期は 4 年で、議会は年 4 回の定例議会と必要に応じて臨時議会を開催します。提案された議案は本会議で一般質問や意見表明を行い、委員会に付託します。委員会で審議した結果は、本会議に報告し採否を議決します。市民は市政に関する意見や要望を、請願や陳情という方法で提出できます。本会議や委員会は常時公開され、傍聴できます。また、審議の状況はネットで配信されています。

知ってる？

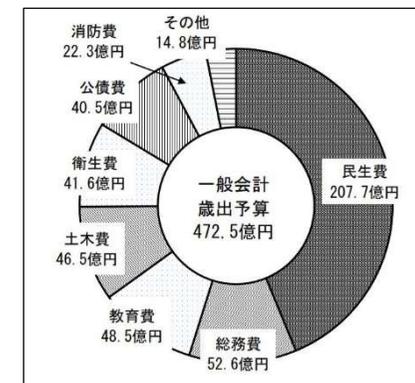
「私の提案」: 狭山市民が狭山市政に対して提案や意見を届ける制度です。市内の各所に「提案用紙と専用の封筒」を設置しています。インターネット送信や郵送、ファックス送信でも届けることができます。

「広報さやま」は毎月 10 日発行

毎月 10 日発行の広報紙「広報さやま」は市内の最新ニュースや市長や行政の動向、各種募集案内、市民活動、イベントの情報などが掲載されています。各家庭に自治会を通じて届きますが、市の施設（地区センター、図書館、交流センターなど）や駅などで受け取れます。

狭山市の財政力

令和 3 年度の一般会計当初予算額は約 472.5 億円、民生費（社会保障・福祉関係費など）は 10 年前の約 1.3 倍となり、金額と予算に占める割合は年々増加傾向にあります。一方、歳入の約 43% を占める市税（市民税や固定資産税など）は 10 年前より 15 億円程減少しています。なお、歳出規模は、国民健康保険は約 159 億円、介護保険は約 112 億円、後期高齢者医療は約 23 億円などです。



一般会計歳出予算 (令和元年度)

・ふるさと納税制度と返礼

狭山市では、寄付額に応じて返礼品を贈る「さやまふるさと納税制度」を、平成 28 年度から始めました。返礼品は数量に限りがありますが、寄付額 1 万円以上に対応しています。平成 30 年度は合計 1,588 万円 (505 件)、令和元年度は 3,649 万円 (1,464 件) でした。歳入に占める割合はわずかですが、狭山市の PR には貢献できています。

狭山市の地域自治「8つの地域コミュニティ」

地域コミュニティは、近隣住民同士が情報を共有し、自立型の地域社会を形成する基盤です。子育て支援や老人介護・生活支援、事故や災害時の相互援助など、公助・共助・自助の考えのもとで、地域課題を解決する集団です。



地区エリア

狭山市には 121 の単位自治会があり、狭山市自治会連合会と 8 つの地区（入間川、入曽、堀兼、奥富、柏原、水富、新狭山、狭山台）ごとに地区自治会連合会を組織しています。

狭山市の自然災害対策

市民生活の安全・安心は自然災害、事故、火災、犯罪の最小化です。

減災を目指して「防災ガイドブック」

平成 28 年(2016)狭山市は防災ガイドブックを配布しました。狭山市内で想定される地震、風水害（洪水、土砂災害、内水）などに対して被害を最小化するためです。

地震ハザードマップと日頃の対策

狭山市内の地震によるハザードマップは立川断層帯を震源として、震度 6 弱、5 強の震度の揺れを予測した結果です。

日頃から住宅の耐震化、家具や電気製品の転倒防止、ガスや電気の自動停止装置の設置、避難場所や緊急連絡法について、家族で打合せすることが必要です。災害後のためには非常持出品や非常備蓄品の準備も欠かせません。



防災ガイドブック

知ってる? 非常用伝言サービス：災害発生時の安否確認には、非常用伝言ダイヤル「171」や非常用伝言板「web171」が便利です。

入間川洪水ハザードマップと気象情報

平成 21 年に埼玉県が作成した「荒川水系入間川洪水想定区域図」に基づいています。想定雨量 3 日間 573mm、時間最大雨量 63.8mm、おおむね 100 年に 1 回程度の確率で発生する大雨です。

知ってる? 「いるま川洪水ものがたり」：平成 27 年、柏原小学校 5 年生の協力を得てまとめました。「入間川上流の気象情報にも注意して」と訴えています。

内水氾濫（ないすいはんらん）

内水氾濫は、下水道や側溝、排水施設等の処理能力を上回る大雨により、道路や住宅などが浸水することです。狭山市では不老川の周辺で発生します。平成 28 年（2016）台風 9 号襲来時、総雨量 170mm、時間最大雨量 56mm で、床上下浸水家屋などが発生しました。

入間川と不老川のリアルタイム水位はネット上で閲覧できます。

大雪倒壊被害

平成 26 年（2014）冬、狭山市は大雪に見舞われ、農業用ハウスや自動車庫などが倒壊しました。交通網も分断され、外出は不自由になりました。地球の温暖化により局地的に気候・気象の変動幅は激しくなっており、大雪の降る可能性は高まっています。

避難場所

市内には、指定緊急避難場所、指定避難所、指定福祉避難所、一時集合場所を定めています。災害の現象により避難場所は異なるので、事前に確認してください。

- ・指定緊急避難場所：切迫した災害の危険から逃れ、身の安全を確保するために定められました。災害の種類ごとに定められています。
- ・指定避難所：地震災害と風水害時の利用を想定し、一定期間滞在できます。
- ・指定福祉避難所：高齢者や障害児・障害者を対象に指定しています。

防災訓練

狭山市では毎年 8 月の最終土曜日に、総合防災訓練を行っています。自治会連携訓練と自治会個別訓練を行います。連携訓練では、安否確認から避難所の設営など、消防組織と連携して実践的な訓練を行います。



防災訓練

単位自治会の個別訓練では安否を確認して現地災害対策本部（各地区センター内）に報告、炊き出し訓練などを実施しています。

防災行政無線と情報収集

狭山市では、平時・災害時・緊急時に市民への情報伝達を目的に、市内約 120 か所に防災行政無線を設置しています。

平時には、イベントや訓練の予定、子どもたちに帰宅を促します。災害時・緊急時には、想定される災害の情報や防犯情報、行方不明者の情報、気象情報（熱中症、光化学スモッグなど）、航空自衛隊入間基地の訓練情報などを放送しています。

以上の情報はスマートフォンなどに登録すると自動受信できます。

狭山市の安全・安心

狭山の安全と安心は、狭山消防署や狭山警察署、狭山保健所が担っています。

狭山消防署 (上奥富 1172)

平成 25 年 (2013) 所沢市・飯能市・入間市・日高市とともに、常備消防事務を共同処理する「埼玉西部消防組合」(5 署 14 分署、本部は埼玉西部消防局、所沢市けやき台 1-13-11) を設立しました。

狭山消防署は 2 課 3 分署 (富士見分署: 中央 4-15-10、広瀬分署: 広瀬 2-3-30、水野分署: 水野 15-1) 体制です。

令和元年 (2019) 狭山市内の火災発生件数は 28 件、罹災人員 29 名、死傷者 9 名、救急活動数は 7,591 名でした。

埼玉県ドクターヘリ (運航主体: 埼玉医科大学総合医療センター) の離着陸場は、狭山市内に 16 か所 (堀兼上赤坂公園、上奥富運動公園、狭山緑陽高等学校、狭山清陵高等学校、狭山工業高等学校、日本電波工業、大日本印刷狭山グランド、8 つの中学校、埼玉石心会病院) 登録されています。

地域のために奉仕する「消防団」

昭和 29 年 (1954) 狭山市の誕生に伴って、町村ごとの消防団が合併して狭山市消防団が誕生しました。7 分団の定員は 333 名です。女性の団員も活躍しています。災害時に即応するために、本来の仕事を持つかわら、地域のために奉仕の心で活動しています。

埼玉県警狭山警察署 (稲荷山 5-1)

狭山警察署は狭山市と入間市を管轄しています。狭山市の犯罪率 (犯罪件数/人口) は、令和元年 (2019) 7.2% (30 年 7.4%)、埼玉県内 72 区市町村のうち上位から 27 位 (同 35 位) でした。特殊詐欺は暫定 44 件 (金額 5 千万円以上) 発生しました。



狭山消防署

狭山警察署の交番

交番は市民を犯罪から守る最前線です。市内の交番は 6 か所 (狭山市駅前、狭山台、新狭山駅前、入曽駅前、水富、柏原) です。

地域のために「APOC (地域防犯ネットワーク)」

APOC (Area Prevention of Crime) は、地域の自治会や青少年健全育成地域会議、民生委員、学校、PTA、交番連絡協議会、個人などが一体となって、①地域の子どもたちを守る、②犯罪の害を防ぐ、③情報を共有化する、などを目的に設立された組織です。狭山市では、8 つの地区の自治会連合会を単位に組織し、活動しています。

埼玉県狭山保健所 (稲荷山 2-16-1)

狭山保健所は、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市を管轄し、地域住民 (約 78 万人) の健康と衛生を支えています。大別すると対人保健 (健康、病気、保健、災害医療) と対物保健 (食品衛生、獣医衛生、医事・薬事、社会福祉) です。イベント等で調理した食品を提供する際には、保健所への各種届が必要となります。

保健センター (急患センターの隣、狭山台 3-24)

保健センターは、狭山市民の健康相談や健康教育、保健指導や栄養指導、健康診査、予防接種、機能訓練などを実施しています。

急患センター (狭山台 3-24、電話: 04-2958-8771)

急患センターは、日曜日や祝日、夜間に開所される医療診療所です。診療科目や診療時間は事前に確認してください。

狭山市社会福祉協議会 (入間川 2-4-13)

社会福祉法人「狭山市社会福祉協議会」は、社会福祉を推進する民間の団体 (略称: 社協) です。活動の原則は、地域住民が持つ福祉関連のニーズに対して、住民自らがスピーディに柔軟に対応することです。

自助・共助・公助の考え方で、行政と連携して質の高い福祉サービスを提供します。令和 2 年 1 月「第 13 回全国校区・小地域福祉活動サミット in さやま」を開催、約 1,200 名が意見交換をしました。



狭山市急患センター

狭山市内の埼玉県立高等学校

狭山工業高等学校 (富士見 2-5-1)

狭山工業高等学校は、昭和 37 年 (1962) に開校しました。機械科、電気科、電子機械科からなる男女共学です。

わが国のものづくりを担う人財を社会に送り出すために、校訓は「誠実・創造・不屈・和楽」として、「心豊かで確かな学力を身に付けた、地域産業を担う技術者を育成する」を目指しています。

工業系の各種コンテストに出場して関東大会や全国大会で上位入賞を果たしています。特に、ロボット相撲では関東大会で優勝し、全国大会では 12 年連続ベスト 8 を記録しています。また、生徒たちが製作したミニ電車は地域のイベントで大活躍しています。平成 28 年 (2016) には、小学生を対象にミニアメリカンフットボールロボットを製作する公開講習会を開催しました。平成 30 年度卒業生の進路は、企業などへの就職 151 名、大学や専門学校への進学 57 名でした。

ロボット工作教室

電子機械科の生徒が講師となって、小学生を対象にロボット工作教室を開催しています。自作ロボットでミニアメリカンフットボールを楽しんでいます。

狭山経済高等学校 (稲荷山 2-6-1)

狭山経済高等学校は、昭和 60 年 (1985) に開校しました。校訓は「自律・友愛・創意」です。流通経済科、会計科、情報処理科男女共学校です。生徒たちは資格取得を目指して頑張っています。30 年以上継続して開催する校内レシテーションコンテストで優秀な成



狭山工業高等学校



狭山経済高等学校

績を収めた生徒は県大会や全国大会に出場しています。平成 28 年度卒業生の進路は、大学・短大へ進学 68 名、企業へ就職 97 名でした。

狭山清陵高等学校 (奥富 34)

狭山清陵高等学校は、昭和 57 年 (1982) に開校しました。狭山市唯一の県立普通科高校で、校訓は「たかく・ゆたかに・たくましく」です。重点目標は、①主体的な学習による進路の実現、②地域信頼される学校づくり、③国際理解教育です。オーストラリアのマッスルブルック高校とは姉妹校であり、隔年で希望者が訪問するなど生徒と先生方は交流を深めています。平成 30 年度卒業生は大学などへ進学 139 名、企業へ就職 53 名、他 12 名でした。



狭山清陵高等学校

狭山緑陽高等学校 (広瀬東 4-3-1)

狭山緑陽高等学校は、平成 20 年 (2008) に開校しました。男女共学、定時制 (I 部午前～午後、II 部午後～夜間) の二部制を採用する単科総合学科高校です。単位制で情報ビジネス系列、健康福祉系列、国際教養系列、総合サイエンス系列に分かれており、生徒自身がそれぞれの系列の中で 3 年間以上履修して 72 単位以上を取得することで卒業を認定されます。本学の目標は生徒ひとりひとりが輝く、未来志向の学校です。平成 30 年度卒業生の進路は、大学などへ進学 61 名、企業へ就職 61 名、ほか 28 名でした。



狭山緑陽高等学校

狭山高等学校 (閉校、広瀬東 4-3-1)

狭山高等学校は、昭和 40 年 (1965) に開校されましたが、平成 20 年 (2008) 川越高等学校 (定時制) と豊岡高等学校 (定時制) と統合されて、狭山緑陽高等学校に引き継がれました。卒業生デビット伊東氏は狭山市の観光大使です。

狭山市内の私立高等学校

西武学園文理高等学校 (柏原新田 311-1)

西武学園文理高等学校は、昭和 56 年 (1981) に開校しました。開校以来「真のレディー&ジェントルマン」の育成を目指して、生徒ひとりひとりがグローバルな視野と人や自然に対する深い共感、多くの試練に打ち勝つ強い意志を育むように教育しています。普通科、理数科、英語科、エリート選抜東大クラスがあります。なお、海外で活躍できる能力を身に付けるためのプログラムとして、英国イートン大学でのサマースクールへの参加、オーストラリアのジョンポール大学への語学研修旅行を実施しています。



西武学園文理高等学校

同地には、西武学園文理中学校と西武文理大学が併設されています。

知ってる?

「山田太郎ものがたり」: 2007 年「山田太郎ものがたり」(TBSテレビ)のロケ地となりました。原作は「月間 Asuka」(角川書店)に復刻連載された森永あいの漫画です。ドラマの私立一之宮高等学校は西武学園文理中学・高等学校で撮影されました。二宮和也演じる山田太郎は 10 人兄弟の長男、貧しいながら博学で高校生から博士課程まで進学する学生です。友達御村託也役を櫻井翔、一之宮高等学校校長役を宇津井健が演じました。

秋草学園高等学校 (堀兼 2404)

秋草学園高等学校は、昭和 24 年 (1949) 創立した秋草学園が、同 57 年 (1982) 堀兼地区に開校しました。同校の基本理念は「愛され信頼される女性の育成」です。女子普通科高校で入学選抜試験時から 4 つのコースに分かれ、厳しい教育を信条としています。



秋草学園高等学校

狭山市内の大学・短期大学

西武文理大学 (柏原新田 311-1)

西武文理大学は、西武学園 (昭和 56 年文理佐藤学園と改称) が平成 11 年 (1999) に開校しました。教育の方針は「すべてに誠をつくし最後までやり抜く強い意志を養う」です。

サービス経営学部と看護学部の 2 学部 3 学科の編成です。地域連携活動では、さやま市民大学への講師の派遣や乳幼児情報センター主催「わいわい広場」に会場を提供しています。学生たちは、狭山市入間川七夕まつりの会場でボランティア活動に参加しています。

東京家政大学 (稲荷山 2-15-1)

東京家政大学は、学校法人渡辺学園が昭和 24 年 (1949) に板橋校舎 (東京都板橋区加賀) に設立し、同 61 年に狭山校舎を開校しました。教育理念は、建学の精神「自主自立」と生活信条「愛情・勤勉・聡明」を実践できる人材育成です。

現在、狭山校舎の学部は健康科学部 (旧看護学部) と子ども学部の編成です。地域連携推進センターでは、小学校 4~6 年生を対象とした「さやま・いるま子ども大学」を開校しています。

武蔵野短期大学・武蔵野学院大学 (広瀬台 3-26-1)

武蔵野学院 (東京都北区西ヶ原) は、明治 45 年 (1912) に創立した大橋幼稚園 (日本橋) が始まりです。大正 11 年 (1922) 武蔵野高等女学校を設立、昭和 56 年 (1981) 狭山市に武蔵野短期大学を開校しました。教育方針は、「自覚ある女性の育成」として女子教育に重点をおいています。

平成 16 年 (2004) 武蔵野短期大学と同じ地に武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部、平成 19 年に大学院研究科を開校しました。

社会情勢の変化に伴い、教育理念は「他者理解」として、グローバル・ボーダレスに対応できる高度なコミュニケーション能力を備える人材の育成を図っています。

狭山市の交流都市

狭山市は、海外2つの都市と姉妹都市として交流し、海外1つの都市と国内1つの都市と友好都市として交流しています。

大韓民国慶尚南道統営市 (とんよんし)

昭和47年(1972)、慶尚南道の旧忠武市(チュンムシ)から茶の栽培方法について相談を受け、茶業関係者等21名が狭山茶の苗100本を持参して交流を始めました。翌年、姉妹都市結縁書を調印、一時交流は途絶えましたが、平成7年(1995)、忠武市が統営郡と合併して統営市となったことで、交流を再開しました。狭山市国際交流協会を中心に相互訪問をしています。

統営市は、人口約14万人、面積約239km²、釜山市から西方に約150km離れた港町です。リゾート地としても人気があります。

米国オハイオ州ワージントン市

英語圏の姉妹都市です。平成11年(1999)、狭山市国際交流協会が交流していたワージントン市と姉妹都市を締結しました。オハイオ州の州都コロンバスの北側に位置し1800年代に開拓された町です。緑が多く、歴史的建造物や伝統的なニューイングランド様式の住宅が並び、古き良きアメリカを垣間見ることのできる街です。人口約1.3万人、面積約14.7km²です。

・狭山市国際交流協会 (SIFA)

狭山市民国際交流協会 (Sayama International Friendship Association) は狭山市に住む外国人の支援や交流都市との親善活動をする団体です。日本語学習部会、ふれあい部会、広報部会、統営交流部会、ワージントン市交流部会、杭州市交流部会があります。事務局は狭山市役所市民文化課です。



統営市



ワージントン市

中華人民共和国杭州市 (こうしゅうし)

平成8年(1996)、中華人民共和国浙江省(せつこうしゅう)の杭州市副市長の表明訪問を受けて、経済交流懇談会を開催したことを契機として、友好交流都市を締結しました。杭州市は上海から南西約180kmに位置する浙江省の省都です。中国南東地域の政治・経済・文化の中心地です。市内には中国2000年余の歴史ある名所旧跡西湖のある観光地でもあり、中国十大茶龍井茶(ろんじんちゃ)の特産地です。人口約950万人、面積約16,600km²です。



杭州市

知ってる?

龍井茶：生茶葉を天日に晒して青臭さを取除き、専用の釜で煎って茶葉の発酵を阻止します。その後、揉捻と乾燥を経て製品となります。お茶の色は黄色かかった茶色です。カテキンやカフェインを多く含んでいます。

新潟県津南町 (新潟県中魚沼郡)

平成9年(1997)、津南町と友好交流都市を提携しました。5月には津南町から狭山茶の茶摘み体験、11月の狭山稲荷山公園大茶会では津南の名水「龍ヶ窪の水」でお茶を点てます。狭山市からは小学生が雪国の冬の伝統行事「どうろく神点火」と「鳥追い行事」に参加しています。狭山のイベント会場では、雪下になじんやゆりの高級種カサブランカ、笹もちなどが出店されています。

津南町は狭山市から車で約3時間、積雪3m以上となる豪雪地帯です。人口約1万人、面積約170km²です。町の花はヒマワリ、町の木はブナ、町の鳥はウグイスです。



津南町

知ってる?

「鳥追い」行事：小正月の頃、スゲボウシを被った子どもたちが「鳥追いの歌」を歌って集落を巡ります。豊作を祈願する行事です。

狭山市の未来づくり

10年先を見据えた「第4次狭山市総合計画」

平成28年(2016)に策定した第4次総合計画では、序論で狭山市の課題を挙げています。①少子高齢化、人口減少への対応、②災害に強く犯罪のない安全・安心なまちづくり、③環境・エネルギー問題への対応、豊かな自然の次世代への継承、④企業立地と地域産業の充実、⑤高度情報化への対応、⑥健全な行財政運営の推進、⑦快適に過ごしやすい魅力あふれるまちづくり、⑧地域コミュニティの活性化です。

これらの課題の解決に向けた構想は基本計画や実施計画として提示しています。財政が厳しい状況にあり、市民、市民団体、事業者、行政は一体となって、協働の意識をもって議論し取り組むことが求められています。

狭山市の土地利用計画

土地利用では、農業用地や平地林に代表される武蔵野の景観保存と人口増や産業の活性化に向けた方針を示しています。

基本構想では、入間川地区は狭山市の中核拠点(商業・業務・文化・居住地)と位置づけ、土地利用の積極的転換を目指しています。狭山工業団地の拡張事業(東地区8.2ha、西地区11.3ha)が進んでいます。

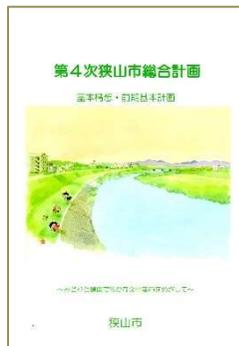
狭山市「協働によるまちづくり条例」

令和元年4月狭山市は「狭山市協働によるまちづくり条例」を施行しました。「自分たちのまちは、自分たちでつくる」を合言葉に地域課題に取り組み、狭山の愛着と誇りを高めていくという決意表明です。

市民提案型協働事業／行政提案型事業

平成24年(2012)、市民やNPO法人・地域団体と行政が連携して、地域課題を解決し生活を支援するなどの目的を共有して取り込む、協働の方針と提案制度が創設されました。

協働事業は提案型以外に、補助・助成事業、後援事業、共催、情報



第4次狭山市総合計画

交換・情報提供、実行委員会・協議会、など10項目あります。

中学生が「狭山市長と対談」

平成11年(1999)度より、市内中学校の生徒代表が市長と対談する場が持たれています。代表者は、趣味や将来の夢の話で緊張がほぐれると、狭山市の活性化についてのアイデアを述べて、市長と活発に意見を交換しています。



狭山市長との対談

入間川を「入間川とことん活用プロジェクト」

埼玉県は10の河川を対象に、平成24年(2012)度から「川のまるごと再生プロジェクト」を始めました。このプロジェクトは、河川流域の整備を起爆剤として、地域の面的整備を図りました。狭山市区域では河川沿いの公園をつなぐ遊歩道の整備、礫河原の再生、水辺に近づく階段の整備、案内板および堰への魚道の設置をました。市民団体などが協働して、清掃活動や有効活用を進めています。



河川敷中央公園

平成29年「入間川とことん活用プロジェクト」により、河川敷中央公園一帯を活用形態によりゾーン分けし、自然・ふれあいゾーンでは満開の桜の下でグループが集い、交流・イベントゾーンでは飲食ショップ「スターバックス」が出店の準備をしています。

「アダプト・プログラム」で美化活動

「アダプト・プログラム」とは市民と行政が協働で進める街の美化活動のことです。市内の小中学校は学校周辺の清掃活動を通じて環境美化の心を養っています。

市内の企業・団体・自治会はこの制度を受けて、道路、公園、河川などで清掃活動をしています。「狭山市環境美化推進制度(一般向け)」には11団体、道路沿いの清掃を行う「彩の国ロードサポートプログラム制度」には14団体、河川の清掃活動「川の国応援団」には17団体が登録しています。行政から軍手やゴミ袋の提供があります。

コラボで「狭山市産狭山茶ブランド戦略」

狭山市は狭山市茶業協会とともに、狭山茶の付加価値を高めるブランド化を推進しています。

武蔵野美術大学とコラボ「狭山茶ロゴ」

武蔵野美術大学（東京都武蔵野市吉祥寺）に依頼して、「狭山茶ロゴ」を選定しました。

ロゴは、入間川と狭山の頭文字「S」です。三本の川が一本の川に収束する様子は、狭山茶の生産農家が、自分の茶畑で採れた茶葉を自分の工場で製茶して販売するという「自園・自製・自販」の経営形態をとっていることの表現です。



狭山茶ロゴ

東京家政大学とコラボ「狭山茶レシピ」

狭山茶のレシピは、東京家政大学（p65 参照）とのコラボで、学生たちが創作しました。レシピ集は市内の茶業協会加盟の茶園で閲覧できます。小中学校の給食として提供しています。

狭山茶の香る「ディヒューザー」

狭山市根岸に工場のある栄香料株式会社（東京都中央区日本橋本町）の香り博士たちの協力を得て「お茶香るさやま」を実現しました。

お茶は多くの香り成分を含んでおり、作成は困難を極めましたが、「高級煎茶の香り」と「ほうじ茶の香り」のディヒューザーを完成させました。



狭山茶「ディヒューザー」

狭山茶で「煎茶・紅茶チョコレート」

平成 29 年（2017）、狭山市茶業協会と芥川製菓（工場、広瀬東）がコラボして、狭山市産の煎茶パウダーとホワイトチョコレートで「煎茶チョコレート」、狭山市産紅茶パウダーとミルクチョコレートで「紅茶チョコレート」が誕生しました。100%狭山産です。



煎茶・紅茶チョコレート

「狭山茶グルメ計画」

「狭山茶グルメ計画」は、狭山商工会議所が中心となって始めた一大プロジェクトです。100%狭山産狭山茶で開発した「狭山茶ペースト」を使用して食品メーカーや飲食店が創造、スイーツ系、和食系、洋食系、中華系など 30 品目を創作し提供しています。



狭山茶グルメ計画

狭山を旅する「ARの世界」

平成 28 年（2016）、狭山市観光協会ではパンフレット『狭山 散歩する旅 新発見』を発行しました。狭山市内で開催される主要なイベントや散歩道、観光農園、B級グルメ「さといもコロッケ」を販売する食肉屋などを紹介しています。観光客だけでなく狭山市民にとっても狭山情報満載のパンフレットです。無料アプリでお試しください。



狭山スマートナビ

技術をPR「本物づくりのまち狭山市」

平成 29 年（2017）、狭山市内に拠点を構える名の知れた大企業や知る人ぞ知るオンリーワン技術を誇る中小企業を紹介する「るるぶ特別編集『本物のまち 狭山市』」が発行されました。紙面では工業製品を製作する企業、楽器を製作する企業、化粧品を製作する企業、食品を製造する企業、グルメ店などが紹介されています。詳しくは市役所に問い合わせください。QRコードからも見えます！



本物づくりのまち

起業・企業の悩み相談は「Saya Biz」(産業労働センター、入間川 1-3-3)

平成 31 年（2019）4 月狭山市域の商工業を活性化させようと、「Saya biz」が開所しました。中小企業者や小規模事業者が悩む課題（資金調達、販路拡大、新商品開発、商品のPR、起業など）の解決策と一緒に考えて支援をしています。（p81 参照）

狭山市の歴史

アケボノゾウの時代（太古）

今からおおよそ 170 万年前、狭山市域に「メタセコイア」などの大木が茂り、「アケボノゾウ」が歩いていました。

100 万年ほど前の氷河期の後、10 万年ほど前に海面が上昇して、一帯は海面下に隠れました。その後、海が後退して地上になりました。5 万年ほど前、富士山などの火山活動が活発になり、火山灰による関東ローム層が積み重なりました。

今宿遺跡の時代（縄文期から平安期）

当地に人が住み始めたのは、縄文時代おおよそ 1.3 万年前頃からです。入間川兩岸の台地に集落を築いて狩猟や採集の生活をしていました。狭山市内には旧石器時代や縄文時代の遺跡が多数分布しており、上広瀬日生狭山台団地内の今宿遺跡(広瀬台 1-12)には奈良・平安時代の住居が復元されています。出土品類から推察される生活様式は、縄文時代と変わりません。



今宿遺跡

高麗郡建郡の時代（平安期）

今からおおよそ 1300 年前、霊亀 2 年 (716) に、関東 7 か国（駿河、甲斐、相模、上総、下総、常陸、下野）の渡来人（高句麗から渡来した高麗人）1,799 名が武蔵国（入間川以西・以北の日高市から飯能市、狭山市水富地区・柏原地区一帯）に集められ、高麗郡が設立されました。高麗王若光（じゃっこう）が高麗郡を治め、大陸の優れた文化や技術を地域に広めました。

高麗郡建郡 1300 年記念事業

平成 28 年 (2016)、高麗王若光を祀っている高麗神社（日高市新堀 8 丁目）を中心に関連地域 8 市 3 町が協力し、歴史を振り返り往時を偲ぶ「高麗郡建郡 1300 年記念事業」が行われました。

入間川殿の時代（室町期）

鎌倉時代になると鎌倉との往来が激しくなり、市域を通過していた入間路は鎌倉街道と呼ばれ、入間川地域は宿場町として栄えました。新田義貞軍は、入間川を通過して鎌倉に攻め上りました。

室町時代になると、足利尊氏の子基氏が入間川に陣を進め、新田勢への警戒にあたりました。長期にわたって陣を張った基氏は「入間川殿」と呼ばれました。戦乱の時代、庶民は仏教への信仰心が高まり、先祖の供養と冥福を祈る板碑（青石塔婆）が多数造立されました。

知ってる？

青石塔婆：青石塔婆は、秩父地方から産出した緑泥片岩で造った塔婆です。狭山市内には平成 24 年現在で 264 基が存在しています。狭山市立博物館には野々宮神社の青石塔婆が展示されています。

新田開発の時代（江戸期）

江戸時代になると、世の中は落ち着きます。徳川家康の家来であった旗本小笠原安勝は、沢や田中など 540 石を領地としました。屋敷は江戸にありましたが、菩提寺として天岑寺を建立しました。

一方、原野であった堀兼（金）は川越藩主 松平信綱の命で、水野は松平輝綱の命で新田開発が始められました。入植した農民は苦勞しましたが、平地林を活用した循環型農業を作り上げ、農作物の生産地として飛躍的に発展しました。

武州世直し一揆

幕末の混乱期、慶応 2 年 (1866) 上名栗村（現 飯能市）の農民紋次郎や豊五郎らを中心に、秩父、多摩、高麗郡の窮民が蜂起し武州世直し一揆が起きました。一揆の標的は高利貸や村役人であり、農民の困窮する生活の改善を目的とした世直し一揆でした。

入間川村の綿貫家などの豪商は打ち毀しの標的となりました。一揆は 1 週間ほどで川越藩の藩兵や農兵により鎮圧されました。



水野の畑

近代教育の時代（明治期）

明治4年（1871）、狭山地域は入間県（県庁は入間郡川越町）に属しました。同7年、入間川・入曾・水野・堀兼・西三芳野・下奥富・上奥富・柏原・広瀬・笹井に小学校尋常科が開設され、人材育成が始まりました。同22年、町村制の施行に伴い6村（入間川村、入間村、堀兼村、奥富村、柏原村、水富村）が成立しました。同24年（1891）には入間川村が入間川町となり、地域における商業の中心地となりました。国分寺と川越間に鉄道が開通して近代化が進みました。

殖産興業に尽力した清水宗徳

清水宗徳（1843～1909）は、明治期における郷土の秀でた起業家です。上広瀬村の名主（廣瀬神社の神官）の跡取り息子として生まれ、養蚕事業や鉄道事業、広瀬郷学校の設立、保健衛生など多方面にわたって郷土狭山の発展に尽力しました。（p183 参照）

激動の時代（大正・昭和期）

大正元年（1912）入間郡で広範囲にわたって陸軍特別大演習が行われました。稲荷山に設営した野立所に天皇が行幸すると群衆であふれ大混雑したそうです。大正12年（1923）関東大震災では、狭山地域の被害は比較的小さく、住家1棟や納屋などは倒壊しましたが、死傷者はゼロでした。



ジョンソン基地

昭和13年（1938）陸軍航空士官学校分校が所沢から狭山稲荷山公園一帯に移転し、同16年天皇により修武台と命名されました。同20年（1945）太平洋戦争の終戦とともにアメリカ軍が駐留しジョンソン基地となりました。同53年ジョンソン基地の全面返還後、狭山稲荷山公園、彩の森入間公園、航空自衛隊入間基地へと整備されました。

狭山市誕生の時代（昭和期）

昭和29年（1954）1町5か村（入間川町、入間村、堀兼村、奥富村、柏原村、水富村）が合併して、狭山市が誕生しました。同30年

第1回市議会議員選挙が行われ30名が市議会議員に選ばれました。

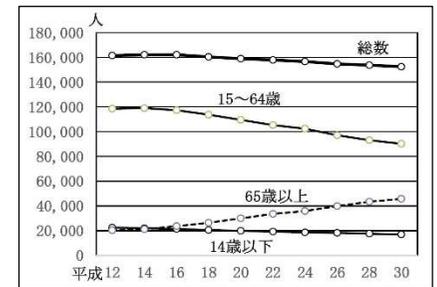
当時は近郊農業を主体とした田園都市でしたが、同33年（1958）都市計画道路を整備する方針によりインフラ整備が進みました。それとともに大規模な住宅開発が始まり、狭山台団地、川越狭山工業団地、狭山工業団地の整備が進みました。人口が飛躍的に増加し、財政も豊かになりました。



市制施行60周年記念式典

少子高齢化の時代（平成期）

平成15年（2003）狭山市の総人口は162,266人、15歳以下の年少人口は21,671人と狭山市誕生以来最多の人口になりました。以来減少傾向となり、平成31年（2019）はそれぞれ151,661人、16,767人です。日本各地ではいずれも人口減少が危惧されており、狭山市でも例外ではなく令和8年に総人口139,118人、年少人口13,672人になると予測されています。



狭山市人口構成の推移

公助・共助・自助の掛け声のもと、市民団体が立ち上がり、行政と協働してソフト面から住みよいまちづくりを進めています。

同23年（2011）西武新宿線狭山市駅西口の再開発が完成して、狭山市の表玄関が完成しました。同28年（2016）行政は「第4次狭山市総合計画」を策定しました。掲げた目標は、「～みどりと健康で豊かな文化都市をめざして～」です。

知ってる？

健康づくりウォーキングマップ：平成26年（2014）、市制60周年を記念して、狭山市すこやか推進委員会が14のウォーキングコースを設定し紹介しました。コースに沿って景観やポイント間距離、トイレの位置が記載されています。
狭山市おりびい健康マイレッジ：平成29年度、狭山市が埼玉県と協力して始めました。歩いた記録を読み取り機で送信するとポイントが付与されます。ネット上で歩いた記録やポイント数、順位などが閲覧できます。

2. 入間川地区

景勝地等

- | | |
|------------|-----------------|
| ① 狭山稲荷山公園 | 稲荷山1-23-1 |
| ② 長栄寺 | 鶉ノ木16-11 |
| ③ 稲荷山公園見晴台 | 入間川4-14 |
| ④ 田島屋堰 | 広瀬東2-23-36 (左岸) |
| ⑤ 清水八幡宮 | 入間川3-35 付近 |
| ⑥ 七夕通り | |
| ⑦ 慈眼寺 | 入間川1-9-37 |
| ⑧ 八幡神社 | 入間川3-6-14 |
| ⑨ 天岑寺 | 沢5-34 |
| ⑩ 徳林寺 | 入間川2-3-11 |

公民館等

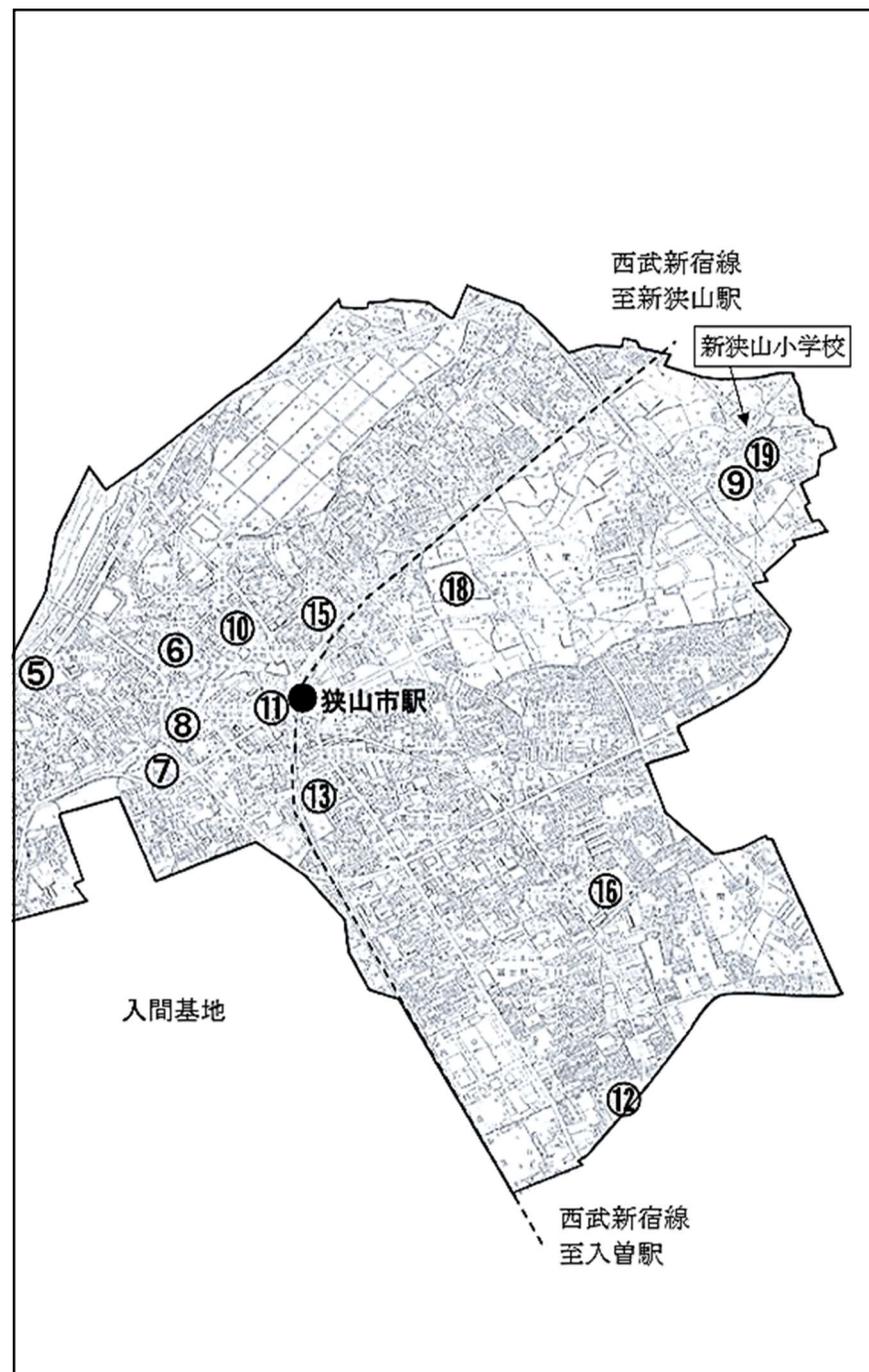
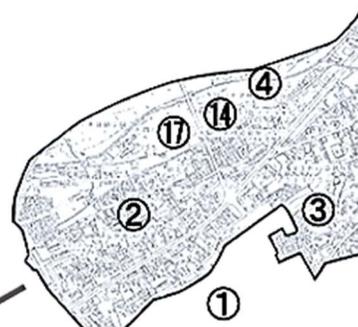
- | | |
|-----------|-----------|
| ⑪ 中央公民館 | 入間川1-3-1 |
| ⑫ 富士見公民館 | 入間川3156 |
| ⑬ 富士見集会所 | 富士見1-1-18 |
| ⑭ 入間川小学校 | 鶉ノ木5-9 |
| ⑮ 入間川東小学校 | 入間川2-7-23 |
| ⑯ 富士見小学校 | 中央4-17-1 |
| ⑰ 入間川中学校 | 鶉ノ木6-46 |
| ⑱ 中央中学校 | 入間川1752-1 |
| ⑲ 新狭山小学校 | 入間川1108 |



西武池袋線
至入間市駅

稲荷山公園駅

西武池袋線
至武蔵藤沢駅



入間川地区の概要

入間川地区は一級河川・入間川の右岸に面し、入間川沿いの低地には国道 16 号線が通っています。河岸段丘上には埼玉県立狭山稲荷山公園や狭山市立稲荷山公園、航空自衛隊入間基地、狭山保健所、狭山警察署、市民交流センター、労働産業センター、狭山市役所（海拔 77.2m）など埼玉県や狭山市の公共機関が集中しています。

狭山市駅は狭山市の玄関で、稲荷山公園駅は狭山稲荷山公園と航空自衛隊入間基地の入口になっています。地区の面積は約 932ha です。

入間川村・入間川町

江戸時代、入間川村は幕府の天領や旗本領、川越藩領で狭山市域の中心地として多くの人が往来していました。

明治 22 年(1889)、町村制の施行で入間郡入間川村となり、2 年後入間川町になりました。同 28 年、入間川停車場(現：西武新宿線狭山市駅)が開業すると、入間川町は近郷近在の中心地として賑わうようになりました。

知ってる？

射留魔：日本が大和国と言われていたころの昔ばなしです。村人が二つ太陽を見つけました。夜が来ないので、一日中仕事ができ喜びましたが、疲れ果て病人が出る騒ぎでした。橘諸方(タチバナノモロカタ)が都から下向して、魔物の太陽(三本足の巨大なカラス)を射落としました。それ以来、この地を『射留魔』と呼ぶようになりました。入間川東小学校辺りではないかと言われています。

入間川地区地名の由来

入間川

入間川の地名は、大化元年(645)に設置された郡名「入間郡」に由来しているのかもしれませんが、鎌倉中期の和歌集『信生法師集(しんしょうほうししゅう)』に「いるま川の宿」と記されおり、この頃には宿場を形成していたと思われます。入間川地区に入間郡の郡衙(郡を治める役所)があったという説もありますが、子細は不明です。軍記物語『曾我物語』には「入間川の宿に、その夜につかえたまふ」と、『太

平記』には「新田義貞軍が入間河原に陣を取る」と記されています。

鶉ノ木

鶉ノ木は、カワウが多く棲んでいた関係で名付けられました。文明 18 年(1486)に書かれた『廻国雑記』には「くろす川といへる川に人の鶉つかひ侍る」と書かれており、霞川でカワウを操る鶉飼が行われていたことが解ります。長栄寺の板碑によれば、南北朝時代には既に鶉ノ木が存在していたこととなります。

沢

三ツ木村を開いた三ツ木国重(生没年不詳)の末裔・三ツ木四郎左衛門(~1589)が、安土桃山時代に沢村を開拓しました。沢とは短い川のことです。湧水が豊富な湿地のことです。したがって、沢は村の中央を流れる不老川の支流である久保川に由来すると考えられます。

狭山

昭和 42 年(1967)、田中と峰は新たな住居表示として狭山に変わりました。田中は耕作地の中央という意味です。峰は周囲より少し高い地形から名付けられたと思われる。

富士見

享保年間(1716~1735)に代官荻原源八郎によって開拓され、明和 9 年(1772)に検地された新田です。当地から見る富士山の眺望は素晴らしく、「富士見台」とも呼ばれていました。

入間川地区の自治会

入間川地区自治会連合会は、32 の自治会(沢、田中、峰、旭町、菅原一~三丁目、祇園、中窪、東急入間川、富士見一~二丁目、パイロットハウス狭山台、ひらの、コート狭山台、平野台、本町、本町一~二丁目、子の神、御幸一~二、下諏訪、上諏訪、鶉の木第一~七、修武台)で構成されています。

入間川地区の人口

入間川地区の人口(令和 3 年 1 月 1 日現在)は 45,556 人(男 23,144 人、女 22,421 人)で、世帯数は 21,980 世帯です。狭山市の人口に占める割合は、30.4%です。



入間川地区の自然・公園

入間川地区と水富地区・柏原地区の境界には、一級河川入間川が流れています。右岸にある笹井堰（ささいぜき）から取水した赤間川は、農業用水として市民会館の際から奥富地区へ流れています。低地では水田稲作農業が営われ、台地には住宅地や商店街が広がっています。

入間川地区には、狭山市を代表する埼玉県営狭山稲荷山公園や狭山市立稲荷山公園（狭山稲荷山公園に隣接、見晴台などの区域）や運動公園、街区公園など公園 57 か所が設けられており、その総面積は約 30.5ha です。

入間川地区の「狭山市の景観地 50」

入間川地区では、狭山稲荷山公園や長栄寺、稲荷山公園見晴台、田島屋堰、清水八幡宮、七夕通り、慈眼寺、八幡神社、天岑寺の 9 か所が景観地に選ばれています。

埼玉県営「狭山稲荷山公園」(稲荷山 1-23-1)

昭和 48 年(1973)返還されたジョンソン基地の跡地を利用した公園は、平成 14 年(2002)4 月 1 日、埼玉県営狭山稲荷山公園（県管理約 16.5ha、狭山市管理約 5.7ha）になりました。毎年 3 月末から 4 月初旬、ソメイヨシノなど約 300 本の桜が見ごろを迎えます。広い芝生やアカマツ、コナラなどの緑を生かした公園には、幼児用の「コバトンひろば」や BBQ ガーデンがあります。毎年、狭山市を代表するイベント（桜まつり・狭山大茶会・クロスカントリーなど）が開催されています。公園の一角に狭山市立博物館が併設されています。(p38 参照)



狭山稲荷山公園

鶉ノ木運動公園 (広瀬 1-390-15)

鶉ノ木運動公園（面積約 3.8ha）は入間川右岸沿いにあり、野球場 2 面とテニス用クレイコート 3 面があります。

入間川地区の施設

狭山市の中心に位置する入間川地区には、狭山市役所（56 参照）や狭山市交流センター（p28 参照）、市民会館（p27 参照）、中央図書館（p26 参照）、博物館（p26 参照）などの公共施設が開設されています。そのほかの重要な施設を紹介します。

狭山市駅に直結「狭山市産業労働センター」(入間川 1-3-3)

商工業及び観光の振興、市民の就労支援並びに勤労者の福祉の向上を図る目的で開設されました。「狭山市ふるさとハローワーク」や「狭山市勤労者福祉サービスセンター」、「Saya Biz」の窓口があります。

福祉活動の拠点「社会福祉会館」(入間川 2-4-13)

社会福祉会館は地域の福祉活動に利用できる場として開館しました。主に福祉関係団体やボランティア団体の拠点として利用しています。なお、会館の運営は指定管理者である社会福祉法人狭山市社会福祉協議会が行っています。

ふれあい健康センター「サピオ稲荷山」(稲荷山 1-12-3)

サピオ稲荷山は、稲荷山環境センターの焼却熱を利用した温水プールを中心に市民の健康づくりと触れ合いの場を提供しています。温水プール以外に、トレーニングルームや浴室、リラックスポール、大広間、談話室があります。ダイアプランにより、所沢市・飯能市・入間市の市民も市内料金で利用できます。



サピオ稲荷山

「稲荷山環境センター」(稲荷山 12-11)

稲荷山環境センターには 3 基の焼却炉があり、もやすごみや古紙・古布、ペットボトル、家庭のプラスチック、可燃性粗大ごみ、剪定枝を処理しています。

入間川地区のイベント

奇数月第4土曜日は「楽市楽座」(狭山市駅西口)

楽市楽座は、狭山市駅西口市民広場を会場にして市民団体や個人による、手作りの陶芸・木工・鉄工などの作品や新鮮な地場産野菜や自家製焼き菓子、調度品・布類の小物、アクセサリなどの店が並びます。ストリートライブやパントマイムなど素敵な出し物も演じられています。出店希望者や協力スタッフは常時募集しています。



楽市楽座

稲荷山公園「つつじ祭り」(入間川4-5015)

毎年、4月下旬から5月上旬頃、稲荷山公園見晴台下の斜面緑地ではヤマツツジが一齐に咲き、「つつじ祭り」が開催されます。お囃子や紙芝居、こども縁日、ヤマツツジの苗木配布、アトラクションが行われます。近くのプラネタリウムでは天体観察会が催されています。



群生するヤマツツジ

なお、見晴台下斜面では、3月下旬にはカタクリとサクラの花が、7月中旬にはヤマユリの花が見頃になります。

入間川地区体育祭(入間川小学校運動場 鶉ノ木5-9)

戦後始まった地区体育祭は、毎年10月第1日曜日に開催されています。スポーツを通じて自治会内の住民が一層の交流と親睦を深め、相互の理解と協力、協調の意識を育んでいます。平成27年度から防災に関する意識の向上を図る一環として防災ラリーを行っています。



入間川地区体育祭

入間川地区の祭り

八幡神社の祭り「鹿子舞」(入間川3-6-14)

毎年9月第2土曜日、八幡神社境内で勇壮な鹿子舞(ししまい)が奉納されます。鹿子舞の一行は地域の神社と寺院を巡り、雨乞いと五穀豊穡を祈願して八幡神社に戻ります。(p88参照)

八雲神社天王さまの祭り「神輿」(八幡神社境内)

八幡神社境内のスサノオノミコトを祀る八雲神社(八坂神社)では、毎年7月夏祭りが行われます。スサノオノミコトは、夏に流行る疫病を除いてくれる神です。

安永2年(1773)に造営された神輿は400kgを超える大きなもので、屋根に巴(ともえ)と卍(まんじ)が描かれています。



天王さま

天満天神社の祭り「菅原囃子」(入間川2-21)

毎年3月第4日曜日、天満天神社の例大祭では菅原囃子が奉納されます。入間川に太鼓の音を響かせようと、有志が集まり、入間市の高倉囃子を習い、昭和41年(1966)に菅原囃子連を結成しました。7曲を演じます。菅原囃子は、福徳院不動尊や八雲神社、入間市の愛宕神社や飯能市の旭稲荷神社などでも奉納します。

鶉ノ木愛宕神社の祭り「鶉ノ木囃子」(鶉ノ木12)

鶉ノ木愛宕神社の元旦祭や4月春の祭礼、9月秋の祭礼では鶉ノ木囃子が奉納されています。鶉ノ木囃子は地域の有志(子どもから若い人まで)が演者となり、七夕まつりや地区の夏祭りで演じます。

清水八幡宮の祭り「下諏訪囃子」(下諏訪地区)

下諏訪囃子は、天保年間(1830~1844)小田原囃子を取り入れ、農民演芸として継承してきましたが、平成23年保存会は解散しました。

中央公民館の活動 (入間川 1-3-1)

入間川地区には、中央公民館と富士見公民館、富士見集会所があります。中央公民館は狭山市最初の公民館です。現在の公民館は交通の便が良い狭山市市民交流センター内に開設され、市内全域の住民の活動拠点となっています。活動の一部を紹介します。

青少年育成事業

夏休みの体験講座「ぼく、わたしの夏休み」

平成 30 年度の夏休み講座は 14 回開催されました。参加者は延べ 191 名でした。「七宝焼き」や「HipHop ダンス」や「カントリーダンス」、「レクレーションダンス」、「フラダンス」、「ジャズダンス」、「手話教室」や「理科実験」、「茶道体験」、「戦争体験談」などを開催しました。講師はサークル活動団体の市民などが担当しました。異世代交流を楽しんでいます。



理科実験教室

開放教室「独習」

平成 25 年度から始めた事業です。学校の宿題など学習を目的として、青少年に施設の一部を開放しています。平成 30 年度は、309 回で延べ 3,038 名の利用がありました。

成人向け事業

申込者の多い「健康料理講座」

埼玉県心会病院と連携しているため毎回好評で、受講生は抽選になります。減塩などのヘルシーレシピを学び、調理と試食を通して健康増進と食生活の改善法について学習しています。

狭山茶で「お茶の楽しみ方 エトセトラ」

平成 30 年度は 2 回、地元産狭山茶の楽しみ方や茶席の作法、お茶を使った料理を学ぶことができ、教室は好評です。

高齢者が学ぶ「中央寿大学」

健康や歴史、環境、館外学習等の講座をとおして、参加者の学習意欲の増進と親睦を図っています。平成 30 年度は 10 回の開催に延べ 548 名が参加しました。

富士見公民館の活動 (入間川 3156)

富士見公民館は、平成 4 年 (1992) に開館した市内で最も新しい公民館です。活動の一部を紹介します。

夏休み「子ども陶芸教室」

夏休みに子どもたちは陶芸を通じて土に親しみ、陶器作りの喜びを体験しました。平成 30 年度 3 回の教室に延べ 76 名が参加しました。

「だがしや楽校月間」

12 月に「だがしや楽校月間」を開催する計画を立て、10 月からリースづくりやバルーンアート、ブンブンゴマ作りなどを体験しました。本番の「だがしや楽校」は、家族連れで賑わいました。

富士見集会所の活動 (富士見 1-1-18)

富士見集会所は、人権問題への理解を促し、「学びの場」や「創造の場」「集いの場」を提供しています。活動の一部を紹介します。

小中学生ふれあい教室

小中学生の基礎学習と体験教室を通じて人権感覚を育て、仲間づくりを促進しています。

人権セミナー・人権教育研修会・人権問題講演会

同和問題への正しい理解を深めるとともに、様々な人権問題を学び人権意識の高揚を図っています。

入間川地区の小・中学校

狭山市立入間川小学校 (鶴ノ木 5-9)

明治7年(1874)入間学校として慈眼寺で開校しました。同22年入間川尋常小学校、大正4年(1915)入間川尋常高等小学校、昭和22年(1947)入間川町立入間川小学校、同29年狭山市立入間川小学校となりました。狭山市駅前開発に伴い、現在地に移転しました。校訓は「明るく正しく 強く」で、教育目標は「ルールを守る正しい子 美点を認める明るい子 背筋の伸びた丈夫な子」です。

令和元年度の児童数は517名、18学級です。



入間川小学校

狭山市立入間川東小学校 (入間川 2-7-23)

入間川東小学校は、昭和42年(1967)入間川小学校の分校として開校しました。同46年入間川東小学校として独立しました。目指す学校像は「磨き合う楽しさに笑顔があふれる学校」で、教育目標は「自ら学び高めあう子 思いやりの心をもつ子 心身ともにたくましい子」です。

令和元年の児童数は636名、21学級です。



入間川東小学校

狭山市立富士見小学校 (中央 4-17-1)

富士見小学校は昭和48年(1973)入間小学校から分離し開校しました。校訓は「なかよく かんがえ がんばろう」、教育目標は「ともに高め合う子 進んで学ぶ子 心身ともに健康な子」です。

令和元年度の児童数は690名、20学級



富士見小学校

です。

※狭山市立新狭山小学校：住所は入間川地区ですが、新狭山地区で紹介します。(p196 参照)

狭山市立入間川中学校 (鶴ノ木 6-46)

昭和56年(1981)、東中学校と西中学校から分離して開校しました。平成22年(2010)10月、開校30周年記念式典を行いました。教育目標は「たくましく心豊かで、未来に向けて、夢の実現に努力する生徒」、「自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒 明るく、思いやりのある生徒 心身ともにたくましい生徒」を目指しています。

令和元年度の生徒数は247人、8学級です。



入間川中学校

狭山市立中央中学校 (入間川 1752)

中央中学校は昭和60年(1985)東中学校から分離して、開校しました。教育目標は「意欲をもって学習に励む生徒 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒 心身を鍛え、勤労と体験を重んじる生徒」で、目指す学校像は「活力に満ち、信頼される学校—元気なあいさつ、明るい歌声、花と緑のあふれる中央中学校—」です。

令和元年度の生徒数は455名、14学級です。

狭山市立東中学校 (開校、入間川 1011)

昭和37年(1962)入間川中学校と奥富中学校を統合して、東中学校は開校しました。同49年東日本優秀演奏会で演奏し最優秀賞を受賞しました。生徒数の増加に伴い、同60年学区の一部を中央中学校に、同63年入間野中学校に分離しました。平成28年(2016)3月の閉校後、映画やテレビのロケ地として活用されました。(p55 参照)



中央中学校

入間川地区の市指定文化財

八幡神社所蔵の文化財 (入間川 3-6-14)

工芸品「さはりの壺」

室町時代、「さはりの壺」は地の神を鎮める鎮壇具(ちんだんぐ)として埋められました。大正12年(1923)、拝殿移転の際に発見されました。壺は銅やスズ、鉛(または銀)を加えた黄白色の合金でできています。高さ18.7cm・直径10cm・口径7cmの大きさです。昭和29年(1954)、埼玉県指定文化財(工芸品)に指定されました。

無形民俗文化財「八幡神社の鹿子舞(ししまい)」

鹿子舞の発祥は長栄寺(鶴ノ木16-11)ですが、八幡神社が引き継ぎました。明治元年(1868)神仏分離の際にとがめられましたが、機転を利かせた人が「入間川村の頭(かしら)は獅子でなく、神の使いの『鹿子』である」と言い逃れ、鹿子舞は存続しました。赤色の若鹿子と黒色の年老いた鹿子、金色の雌鹿子の三頭



八幡神社の鹿子舞

が、天狗とともに舞います。毎年9月、秋季例大祭の時、雨乞いと五穀豊穡を祈願して、町内の社寺を廻り奉納します。八幡神社と長栄寺では「各盞(かくさん)の儀」という特別な儀式が行われます。

建造物「八幡神社本殿」

享和2年(1802)、本殿は現在地に再建されました。唐破風向拝付き入母屋造りで、周囲に細かな透し彫りと浮き彫りが施されています。

・八幡神社(祭神はホンダワケノミコト)

八幡神社は入間川地区の総鎮守です。八幡神社は源氏の武神として信仰され、新田義貞(1300~1388)が鎌倉攻めの際に戦勝祈願をしたことで、一時「新田の八幡宮」と称していました。明治40年(1907)、境内に入間川神社や思兼神社、琴平神社、八雲神社、大鷲神社、高良神社を合祀しました。昭和18年(1943)、本殿の大修理が行われました。



本殿の透かし彫り

史跡「清水八幡宮」(入間川 3-3-59)

寿永3年(1184)木曾義仲(1154~1184)の嫡子・清水冠者義高(1173~1184)は、入間川河原で鎌倉幕府の追っ手に斬首されました。北条政子(1157~1225)と許嫁の大姫が非業の死を遂げた義高を憐れみ、清水八幡宮を創建したと伝えられています。昭和34年(1959)、国道16号線沿いの現在地に本殿を再建し、由来を刻んだ石祠を安置しています。毎年5月に例大祭が行われます。



清水八幡宮

入間川諏訪神社の無形民俗文化財「なすとっかえ」(入間川 4-2-4)

毎年8月、地元の人達により「なすとっかえ」の行事は継承されています。

取れたばかりのナスを神前に供え、お下がり頂く祭りです。そのナスを食べると暑気あたりなどの疫病に霊験あらたかであると伝えられています。



なすとっかえ

・入間川諏訪神社(祭神はタケミナカタノミコト)

400年以上前、戦国時代に滅んだ甲斐武田家の家臣が入間川流域に移り住み、信濃国諏訪大社(長野県諏訪市・茅野市・下諏訪町)を勧請したと伝わっています。

徳林寺所蔵の文化財 (入間川 2-3-1)

絵画「絹本着色釈迦涅槃図」

縦177.5cm×横104cmの大きさです。釈迦の臨終に弟子を初め諸王や大臣、梵天、帝釈天、鳥獣が悲しむ様子を、幕府絵所の狩野宗貞が描いています。元禄元年(1688)沢村の旗本小笠原氏が寄進しました。

絵画「絹本着色釈迦八相図」

縦188.5cm×横105cmの大きさです。釈迦の生涯を7つの場面(第一下天相・第二託胎相・第三誕生相・第四出家相・第五降魔相・第六成道相・第七初天法輪相)に描いています。延享2年(1745)、豪商の

綿貫家第5代・綿貫半平滋寿（～1763）が寄進しました。

・徳林寺（本尊は釈迦如来立像）

徳林寺の開基は小沢主税で、開山は一樹存松和尚です。鎌倉公方の足利基氏（1398～1439）が9年間滞陣したといわれています。墓地には、第13代横綱・鬼面山谷五郎（1826～1871）の墓碑があります。武蔵野三十三観音霊場の第17番札所です。

知ってる？

貫通石：徳林寺の境内にトンネル工事で採取した貫通石約130点が展示されています。石（意志）を貫く意から、受験や安産の祈願やお守りになると言われています。

慈眼寺所蔵の文化財（入間川1-9-37）

彫刻「阿弥陀如来立像」

一木造りの阿弥陀如来立像で、高さ73cmです。慈眼寺の前身の阿弥陀堂の本尊で、鎌倉時代の作と思われます。漆箔仕上げの豊かな顔立ちと均整のとれた姿で、金箔がわずかに残っています。

・慈眼寺（本尊は木造聖観音菩薩坐像）

慈眼寺の始まりは、木造阿弥陀如来立像を祀る阿弥陀堂です。大永年間（1521年～1528年）、一樹存松和尚によって開山されて、徳川家光（1604～1651）の時10石の朱印を賜っています。明治7年（1874）境内に入間学校を開校しています。同18年、現在地に移転しました。

「祝婚歌」などを創作した詩人・吉野弘（1926～2014）が眠っており、詩碑「いのちは」と「草」が立てられています。

武蔵野三十三観音霊場の第16番札所です。



阿弥陀如来立像

天岑寺所蔵の文化財（沢5-34）

建築物「天岑寺惣門」

寛永初期（1624～1643）に建築されたと推定されています。沖縄風瓦葺切妻の四脚門で、総ケヤキの太い柱と大きな桁に重厚な観音開きの扉を備えています。

扁額「通霄関」（つうしょうかん）は「天に通じる門」という意味です。裏は唐破風造りです。明治3年（1870）本堂や庫裏を焼失しましたが、惣門は免れました。



天岑寺惣門

有形民俗文化財「月待供養の碑」

月待供養塔（高さ129cm）は、文明14年（1482）逆修供養（ぎやくしゅくよう）のため造立されました。中央の阿弥陀如来像は、向かって右に観音菩薩、左に勢至菩薩を伴っています。十三夜から二十三夜、二十六夜の月待の日、宿に集まり飲食を共にして村の結束を図っていました。板碑は石材が秩父産緑泥片岩のため、青石塔婆とも呼ばれています。逆修供養とは、生前に自分の死後の冥福を祈る仏事のことです。

史跡「旗本小笠原家墓所」

旗本直参小笠原家の墓所に、初代安元から12代広善までの墓石43基が並んでいます。

史跡「清水浜臣（しみずはまおみ）の墓」（狭山531）

清水浜臣（1776～1824）は、江戸飯田町生まれの医者で、国学者です。『万葉集考註』や『伊勢物語添註』などを著しています。寛政の改革を断行した老中松平定信の命により『源氏物語』を講義しました。

浜臣の父道円が田中村（現：狭山市狭山）で医師をしていたことから、墓は天岑寺の隠居寺であった安穏寺跡にあります。

・天岑寺（本尊は木造釈迦如来像）

文禄3年（1595）旗本直参小笠原安勝が天岑寺を開基、天海盛呑が開山しました。安勝は父親の撰津守安元の菩提を弔い、安元の法名「天岑院殿徳翁紹恩居士」から「天岑寺」と名付けました。慶安4年（1651）、小笠原家から15石を賜っています。それ以前、三ツ木村（現：東三ツ木）の名主三ツ木四郎左衛門が観音堂を創建したと伝えられています。

知ってる？

名のある坂（入間地区）：狭山市には、名のある坂が11か所あります。坂の坂上と坂下には行政により標識が設置されています。

- ・中之坂（なかのさか）：八幡神社西側の坂。高低差15m、距離410m。八幡神社と慈眼寺一帯の小高い丘を切り開いた坂です。
- ・霞野坂（かすみのさか）：狭山市駅西口から市民会館に向かう、霞野坂交差点から赤間川に至る坂。高低差7m、距離130m。
- ・石無坂（いしんざか）：中央児童館東の交差点から稲荷山方面に向かう坂道。高低差21m、距離420m。昔、ごつごつした岩が露出していた険しい坂道であったといわれています。
- ・薬研坂（やげんさか）：富士見2丁目交差点から堀兼方向に向かう坂道。高低差8m、距離400m。漢方薬を作る「薬研」の形に似ていることから名付けられたそうです。

（『狭山市史 民俗編』、「坂学会」ホームページより）

入間川地区の歴史

清水冠者(源)義高 (?～1184)

寿永2年(1183)源義仲は不仲となった源頼朝との争いを避けるために、11歳の嫡子清水冠者義高を人質として鎌倉に差し出しました。

義高は頼朝の娘大姫(1178～97)と許婚(いいなづけ)になり仲睦まじく暮らしていましたが、義仲が討たれたことを契機に、北条政子と大姫の計らいで、義高は鎌倉から逃げ出しました。しかし、入間川の河原にたどり着くと、頼朝の家来・藤内光澄によって殺されてしまいました。元暦元年(1184)4月のことです。

義高の菩提を慰めるため、政子と大姫が清水八幡宮を建てたといわれています。ちなみに、軍記物『平家物語』では、義高を「義重」と記しています。義高の死を悲しんだ大姫は、後を追うかのように短い一生を終えました。(p45、p89参照)

新田義貞(1301～1338)

元弘3年(1333)5月8日、上州新田郡の生品明神(現:群馬県太田市)で150騎の新田軍は旗揚げをしました。利根川を渡り武蔵国に入り、笛吹峠を越えると20万騎に膨れ上がりました。10日入間川の左岸に到着し、12日小手指ヶ原



駒繋ぎの松

(所沢市北野)で両軍は激突しますが決着がつかず、「堀金」に退きます。その後、義貞は久米川(東京都東村山市)や分倍河原(東京都府中市)で勝利し、22日鎌倉に入って幕府を滅亡させました。義貞が八幡宮(現:八幡神社)に必勝を祈願した時、義貞が愛馬を繫いだ「駒繋ぎの松」と徳林寺に滞陣したという物語が残されています。

足利基氏(1349～1367)

足利基氏は、足利尊氏(1303～1358)の四男として生まれました。貞和5年(1349)基氏は京都から鎌倉に下り、鎌倉公方になりました。

文和元年(1352)武蔵野合戦で新田義貞の長男・義興らの南朝勢と小手指ヶ原で戦いました。同2年、尊氏の命を受けた基氏は入間川に出陣し、康安2年(1362)までの9年間、3万6千騎を率いて滞陣したと言われています(『鎌倉管領九代記』による)。

延文3年(1358)、多摩川の矢口渡(現:東京都大田区矢口)で殺された義興は入間川村で首実検されますが、その時、義興怨念の落雷により入間川村の人家や神社、寺院が焼失したといわれています。

旗本・小笠原家

天正18年(1590)、旗本の小笠原安勝は徳川家康(1542～1616)から入間川村440石(450石とも)を賜りました。入間川村は川越藩領や天領、旗本領で6家(六給支配)に支配されていました。小笠原家の菩提は天岑寺で弔(とむら)われています。(p91参照)

豪商・綿貫家

豪商といわれた綿貫家は、上野国新田郡綿貫村(現 高崎市)の出身です。初代の庄右衛門は慶長年間(1596～1615)に入間川村に移り住み、商売を通して財を成しました。2代目の孫兵衛は成田山新勝寺(千葉県成田市)から不動明王を勧請して福德院を創建しました。

綿貫家は江戸の神田山下町に江戸店(えとだな)を出店し、両替商を営みました。明和元年(1764)閏12月に発生した「伝馬騒動」で綿貫家は打ち壊しに遭いましたが、当主夫婦は沢村の天岑寺に逃げ込み難を免れています。しかし、江戸幕府の崩壊とともに没落しました。

鉄道施設と入間基地

明治26年(1893)、川越鉄道(国分寺駅～川越駅)が敷設されると、入間川町は発展しました。同34年(1901)入間馬車鉄道(入間川町～飯能町)と青梅馬車鉄道(入間川町～青梅町)が布設されました。昭和13年(1938)、陸軍航空士官学校開設時に天皇が行幸、「修武台」(石碑は東条英機の書)の名を与えられました。同20年敗戦後、進駐したアメリカ軍によりジョンソン基地となりました。同33年(1958)中部航空方面隊司令部が設置されて航空自衛隊入間基地になりました。

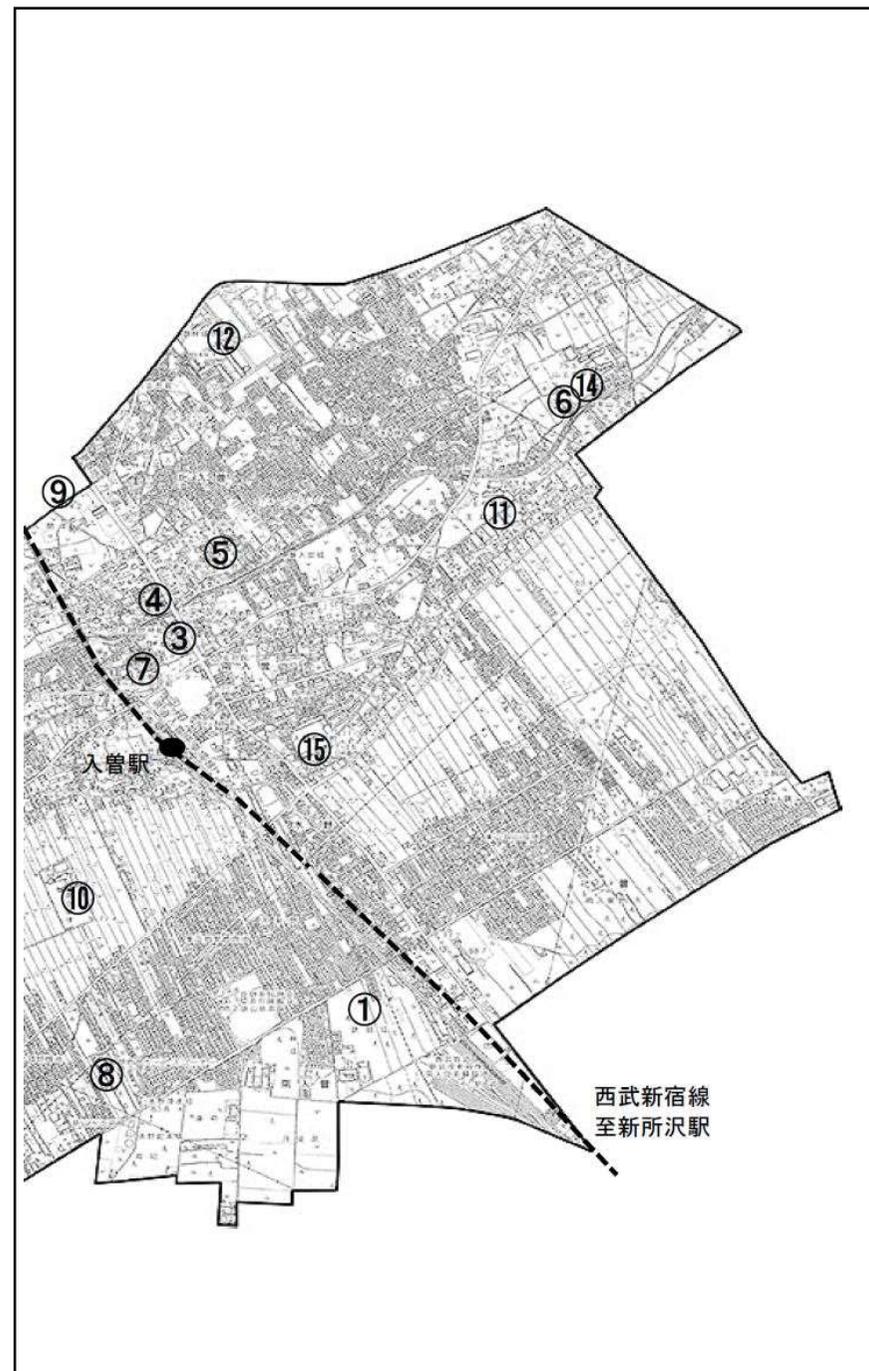
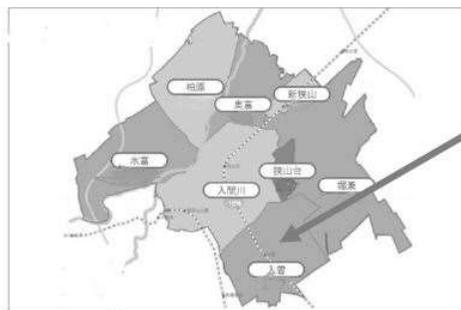
3. 入曽地区

景勝地等

- ① 水の森のそば畑 狭山市水野
- ② 茶畑 入曽駅西側
- ③ 入間野神社 南入曽641
- ④ 七曲井 北入曽1366
- ⑤ 野々宮神社 北入曽274-1
- ⑥ 不老川・とすとらず公園 南入曽157

公民館等

- ⑦ 入曽公民館（閉館） 南入曽627
- ⑧ 水野公民館 水野891-4
- ⑨ 入間野小学校 北入曽980
- ⑩ 南小学校 水野815-1
- ⑪ 山王小学校 南入曽55
- ⑫ 御狩場小学校 北入曽755-4
- ⑬ 入間野中学校 北入曽1028-1
- ⑭ 山王中学校 南入曽157
- ⑮ 入曽地域交流センター 南入曽428-3



入曽地区の概要

入曽地区は広大な武蔵野台地の北端に位置し、青梅から流れ出た古多摩川（現 不老川）が形成した扇状地に位置しています。入曽地区一帯は水に乏しく、農業はもちろん、人の居住に適さない土地でした。

明治 28 年（1895）、川越鉄道が国分寺町から川越町まで通った時、入曽駅ができました。農業を中心に人々が暮らしていましたが、昭和 35 年（1960）頃から大規模な宅地開発が進み、東京のベッドタウンとなり、現在、入間川地区に次ぎ、多くの住民が暮らしています。

入曽地区の面積は約 747ha です。

入間村

奈良時代の後半、入間路（いりまじ）という官道が通り、人が往来するようになりました。旅人の便を図るため、郡衙（郡の役所）により七曲井（堀兼の井）が掘られ、平安時代に入曽の里が誕生したとされます。

ある時、草書で「入間（いるま）」と書いた文書を役所に提出したところ「入曽（いりそ）」と書き間違い、入曽郷になったといわれています。

明治 22 年（1889）、町村制の施行により、北入曽村と南入曽村、水野村の 3 か村が合併して入間村となりました。村名は古名の入間を復活させたようです。

入曽地区地名の由来

入曽郷

『観音堂縁起』によると、平安時代の弘仁 10 年（819）「入曽の里」が誕生したとされます。「武陽入東郡入曽里、于時弘仁十己亥年（819）九月日云々」の記述から推定することができます。ただし、入曽の語源は不明です。

北入曽と南入曽

南入曽村と北入曽村に分かれたのは、江戸時代初期の村切だと思われれます。『入間郡誌』（安部立郎著、大正元年）に、「河越より南の方向に入曽村という南北に分かれた大村があり、間と曾が似ているので誤書したのでしょう。正しくは入曽の里（郷）」と記述されています。

入間野

入間野の地名は、『吾妻鏡』（鎌倉時代に編纂された歴史書）に「建久四年（1193）三月、於武蔵国入間野有追鳥狩」とあることから、鎌倉時代には存在したと思われます。

水野

水野村は、寛文 6 年（1666）に川越城主松平輝綱の命で誕生した新田村です。村名は郡奉行安松金右衛門が『千載和歌集』にある藤原俊成の和歌「武蔵野の堀兼の井もあるものを うれしく水の近づきにけり」になぞらえて決めました。水野村は、明治 22 年（1889）入間村の一部となりました。

入曽地区の自治会

入曽地区自治会連合会は 24 の単位自治会（第一区・第二区・北上・南入曽・第五区・入曽中央・第七区・下水野・第九区・上水野・三商・東急台・若葉台・新水野・武蔵・水押・みよし・むつみ台・松風・三葉台・中原・御狩場・フラワーヒル狭山地区・ガーデンシティ狭山）で構成しています。

入曽地区の人口

入曽地区の人口（令和 3 年 1 月 1 日現在）は 34,677 人（男 16,994 人、女 17,683 人）、世帯数は 15,698 世帯です。狭山市の総人口に占める割合は 23.1% です。



知ってる？

入間村の歌：大正 2 年（1913）「入間村の歌」は当時の小学校校長細谷善太郎が作詞し、教員の鈴木慎次郎が作曲したものです。この歌は明治 22 年（1889）の入間村誕生以来の村の概況を読み込んであり、入間村の沿革を知る上で参考になります。1 番から 23 番まであります。

- | | | |
|---|------------|-----------|
| 1 | 草より出でて又草に | 月の入間の我が村は |
| | 埼玉県の西南部 | 縁り尽きせぬ入間郡 |
| 2 | 南入曽に北入曽 | 水野の村々睦み合い |
| | 入間の村と名付けしは | 明治の二十二年なり |
| 3 | 東に堀兼富岡と | 南小手指三ヶ島村 |
| | 西より北に隣れるは | 藤沢豊岡入間川 |
- 以下 23 番まで

入曽地区の自然・公園

入曽地区には、運動公園や街区公園(児童公園)など 30 か所(総面積約 7.7ha) が設けられています。

入曽地区の「狭山市の景観地 50」

入曽地区では、水野の森のそば畑や茶畑、入間小学校のけやき、金剛院、入間野神社、七曲井、野々宮神社、不老川・とすとらず公園の 8 か所が景観地に選ばれています。

改善された一級河川・不老川

不老川は、昭和 58 年(1983) から 3 年間連続して「日本一汚い川」になりましたが、「不老川をきれいにする会」や「不老川流域川づくり市民の会」などの活動、国と県による「不老川清流ルネッサンス 21」(下水道整備、下水処理水の還流、浄化施設の整備)により、水質は大幅に改善しました。現在、多くの人達が快適に散策しています。(p21 参照)



不老川

知ってる?

とすとらず川：現在、不老川は「ふろうがわ」と表記されていますが、もともとは「年不取川(とすとらずがわ)」と称していました。雨が少ない冬になると、川の水が干上がり、旧暦正月の頃、川水が姿を現さないことから、橋の下で一晩過ごす歳をとらないと伝承されてきました。

・不老川をきれいにする会

昭和 60 年(1985) 狭山市自治会連合会長(故) 新井梧楼(元毎日新聞記者)の呼びかけで、流域 31 自治会(13,500 世帯)が「不老川をきれいにする会」を発足させました。毎月パトロール活動を、5月にクリーン作戦を実施しています。2009年、日本河川協会の「日本水大賞・市民活動賞」と日本政府の「緑綬褒賞」を受賞しました。

・不老川流域川づくり市民の会

平成 9 年(1997)きれいな水と流れを確保し、緑が多く、多様な生物が棲み、流域住民が親しめる不老川にすることを目的に結成されました。不老川流域と周辺の森林などを対象に観察会や勉強会などの活動を続けています。

逃水の里

入曽地区水野には小字「逃水」の名が残っています。昔の人は「逃水の里」とも呼び、武蔵野の逃水として、歌枕になっていました。この地は表土が薄く、その下には厚い砂利層があるので雨水や河川の水が吸収されてしまう乏水地帯です。水を求めた旅人が先に見える陽炎を追いかけても、消えてしまったそうです。

入間小学校跡の大けやき (南入曽 546)

創立 137 年(1874~2011)で閉校した入間小学校の校庭には 20m を越える大きなけやきが残っています。学校のシンボルでしたことから、校舎が解体された後も卒業生の声により残されました。(p107 参照)



入間小学校跡の大けやき

狭山の軽井沢「水野の森」(南入曽)

南入曽に「狭山の軽井沢」と呼ばれる緑の美しい里山があります。所沢市まで広がる平地林を水野の森と呼び、狭山市側は埼玉県から「ふるさとの緑の景観地」に指定されました。「里山の会」や「だいこんの会」が中心となって地元自治会や子ども会に呼び掛け、森の保全活動や環境の勉強会、野鳥や昆虫の観察会などを実施しています。「ロッジ水野の森」では「森の音楽会」や「ピザパーティ」などを開催しています。



ロッジ水野の森

・水野の森里山の会

水野森里山の会は、平成 17 年(2005)に発足し、森の再生保全活動とともに自然を大事にする勉強会などを開催しています。平成 28 年度埼玉県「彩の国埼玉環境優秀賞」を受賞しました。

水野の森の「そば畑」

そば畑は水野の森の一角にあります。秋になると、真っ白いそばの花で埋め尽くされ、散策する人たちの目を楽ませています。

現在は休耕地になっています。



水野の森のそば畑

とすとらず公園 (南入曽 157 先)

山王中学校の近くを流れる不老川の一角に小さな公園があります。

不老川の浄化が進み、フナやオイカワが泳ぎ、カモやシラサギ、カワセミが飛び交っています。土手には桜など四季折々の花が咲き、散歩する人たちは公園の東屋で休憩しています。5月には、鯉のぼりが泳いでいます。



とすとらず公園

調節池を兼ねた入曽多目的広場 (南入曽 755-1)

不老川の治水対策の一環で整備された調節池を活用して、テニスコートやソフトボール場、子ども向けの遊具を供えた子ども広場があります。また、近くには南入曽児童公園や南入曽公園があり、公園一帯には幅広い世代が訪れています。周囲には桜並木があり緑とのコントラストが美しい地域です。



入曽多目的広場

航空自衛隊入間基地の滑走路に離着陸する航空機を頭上間近に観ることができます。入間航空祭の穴場スポットです。

入曽運動広場 (水野 405)

入曽運動公園は、昭和 49 年 (1974) 地域の自治会やスポーツ団体が組織した「入曽運動広場運営委員会」と狭山市教育委員会が協議して、地域住民の交流と健康増進に寄与することを目的に整備されました。野球やソフトボール、サッカーの大会などが行われています。



入曽運動広場

入曽地区のイベント

水野の森の夏まつり (水野 891-4)

7月中旬、地域のトップを切って水野公民前の通りを会場に、夏祭りが開催されます。メインの看板は、地元の童絵作家池原昭治さんから提供を受けています。子どもたちの遊ぶ姿を描いた看板は、狭山市入間川七夕祭りの飾りとしても展示しています。40本弱の笹飾りで作ったトンネルの下では盆踊りが賑わいを演出しています。水野児童館の館内や広場では子ども向けのゲームやイベントが行われ、焼きそばなどの模擬店が並びます。



水野の森の夏まつり

水野の里山の落ち葉はき

水野の里山の落ち葉はきは、2月に行なわれます。7月の「カブトムシ観察会」とセットになったおり、カブトムシ(幼虫約300匹)の寝床として利用します。2年後には堆肥となります。また、焼き芋づくりを楽しんでいます。



落ち葉はき

落ち葉はきの行事の窓口は公民館ですが、市民団体「環の会」(わのかい)、「げんキッズ」などの共催事業として実施しています。平成30年度の参加者は96名でした。

水野の森のクリーン作戦

狭山市の指定「水野ふるさとの緑の景観地」地域一帯の水野の森を、市民共通の財産と認識し地域住民の責務として、自然保護の立場から、毎年12月、近隣自治会(若葉台・武蔵・三葉台など)の小学生から年配者まで幅広い住民らが参加してクリーン作戦を実行しています。

継続は力なり「不老川クリーン作戦」

入曽地区を流れる不老川は昭和 58 年 (1983) から 3 年連続で「日本一汚い川」として全国に知られていました。

昭和 60 年 (1985) に立ち上げた「不老川をきれいにする会」が中心となって 32 年間休むことなく、狭山市と住民、学校、企業が一体となって浄化活動を進めています。5 月には流域住民に参加を呼び掛けて「不老川クリーン作戦」を実施しています。毎月のパトロールは監視員が実施しています。不老川は魚が棲み、昆虫や野鳥が飛び交う川に復活しました。(p98 参照)



不老川クリーン作戦

入曽地区体育祭 (入間野小学校、北入曽 980)

10 月第一日曜日、入曽地区の体育祭は入間野小学校校庭で開催されています。スポーツを通して、地域の連帯意識を深め親睦を図ることが目的です。24 自治会が参加して盛大に実施していますが、自治会対抗から参加型プログラムに代わってきています。



入曽地区体育祭

いりその里の秋まつり (旧入間中学校、南入曽 443)

毎年 10 月「いりその里の秋まつり」は旧入間中学校を会場として行われます。10 年間程、環の会が「いりその里のお茶まつり」として開催してきましたが、平成 27 年地域の祭りとして再出発しました。

和太鼓やフラダンス、遊び広場、地元産の新鮮野菜や焼きそばなどの模擬店が出店しています。



いりその里の秋まつり

入曽地区の祭り

金剛院と入間野神社で「入曽の獅子舞」 (南入曽)

毎年 10 月第三土曜日には金剛院で入曽の獅子舞の揃獅子 (そろいじし) が、日曜日には入間野神社で本獅子 (ほんじし) が奉納されています。入曽の獅子舞は埼玉県西部地方を代表する郷土芸能です。



入曽の獅子舞

江戸時代中期には「雨乞い」や「悪疫退散・豊作」を願って奉納したと思われる。入曽の獅子舞は埼玉県指定無形民俗文化財です。(p110 参照)

野々宮神社で「入曽囃子」 (北入曽 273)

毎年、野々宮神社の元旦祭や春季大祭、天王さま、秋季大祭、星祭り、常泉寺観音堂の観音待ちなどのおまつりでは入曽囃子が奉納されています。

里神楽 (さとかがら) を土台に、文政年間 (1818-1830) 国学者田口保明 (たぐちやすあき) が武蔵国豊島郡徳丸 (東京都板橋区) から囃子の師匠を招き伝授されたものが始まりとされています。(p40, p111 参照)



入曽囃子

八雲神社の「天王さま」 (北入曽 273)

7 月の中旬「天王さま」の夏祭りが行われます。「天王さま」とは、明治 40 年 (1907) に野々宮神社と合祀された八雲神社のお祭りです。

大人たちが神社の神輿を担いで北入曽の域内を練り歩きます。



八雲神社の天王さま

入曽公民館の活動 (南入曽 627)

入曽地区には、入曽公民館と水野公民館があります。

入曽公民館の平成 30 年度の重点目標は、①現代的課題への取り組み、②地域課題への取り組み、③高齢者を対象とした事業、④幼児とその家族、青少年を対象とした事業、⑤地域交流を促進する事業、⑥郷土愛を深める事業の充実です。

活動の一部を紹介します。

なお、入曽公民館は、令和 2 年 4 月より旧入間中学校跡地に建つ「入曽地域交流センター」(南入曽 428-3)に継承されます。



入曽地域交流センター

子育て支援

子育てサロン「ペンギンルーム」

子育て支援事業として平成 18 年に誕生したサロンです。0 歳から未就園前の子どもと保護者を対象に、季節の行事を取り入れ、親子の交流・おやつづくり・手遊び・絵本の朗読などを行っています。

子どもたちをみんなで見守りながら、保護者同士で楽しく話しますので、友達作りの場にもなっています。運営はボランティアです。



ペンギンルーム

高齢者が学ぶ「いりそカレッジ」

「いりそカレッジ」(全 8 回)は年間を通して毎月第 2 水曜日(8 月 10 月を除く)に開催しています。健康増進と仲間づくりを目的に、郷土史を学び、健康ストレッチやレクリエーション等で楽しみながら交流を深めています。平成 30 年度の参加者は延べ 576 名です。

知ってる?

小惑星「Iriso」(イリソ)：狭山在住のアマチュア天文家の佐藤直人氏が平成 9 年(1997)に発見した小惑星に、小中学生 12 名が「Iriso」と名付け、国際天文学連合小惑星センターに登録されています。

水野公民館の活動 (水野 891-4)

水野公民館は水野の森の近くにあります。平成 30 年は開館 30 周年を記念して 9 月にお祭りを実施しました。重点目標は、①現代的課題や地域課題への取り組み、②ライフステージに応じた事業、③教育機関や社会教育施設等と連携、④公民館サークルや事業参加者の学習成果を活かした地域貢献社会の促進です。活動の一部を紹介します。

青少年育成事業

小学生のための「おもしろ教室」

「おもしろ教室」は年間を通じて同一のメンバーが月一回集まり活動します。令和 30 年度は小学校の 1~6 年生の男女 29 名が参加しました。

学校の授業では学ばない様々なことにチャレンジし、創造力を養い、学びのおもしろさを体感しています。保護者やスタッフがサポートしますが、子どもたちは自主的に課題を想定して取り組みます。



おもしろ教室

夏休み学習

地域の子どもたちを対象に、水野の里山で「カブトムシ観測会」や「工作教室」、「社会見学会」、「お茶を使ったお菓子作り」などを開催しています。

高齢者が学ぶ「水野実年大学」

広いジャンルの内容を、座学・館外学習・交流イベント等様々な形式で学びます。学習の成果は水野の森の夏祭りや市民文化祭、南小学校交流事業などで活かし、参加者全員が地域貢献に努めています。平成 30 年度は 19 回の開催に参加者は延べ 474 名でした。

知ってる?

水野の森フルーツアンサンブル：フルーツ作りの腕利き集団(三響フルーツ製作所)の後援を受けて結成しました。水野公民館とロッジ水野の森を拠点に活動しています。

入曽地区の小・中学校

狭山市立南小学校 (水野 815-1)

南小学校は、昭和 45 年 (1970) に開校しました。同 51 年 7 区の児童が入間小学校に移籍となりました。本校の教育目標は、「考える子 仲よくする子 働く子」です。本校の特色は、全校茶摘み体験や農園活動、幼小連携と小中一貫教育です。

平成 3 年 (1991) 校舎の改修に合わせて、ミニ博物館、茶室が設置されました。同 11 年には NHK「さわやか 3 組」の舞台になりました。同 12 年開校 30 周年を記念して南小カルタを作成しました。同 23 年には小学校の統廃合により、入間小学校の児童が編入してきました。開校以来の最大児童数は昭和 54 年 1,315 人でした。令和元年度の児童数は 562 名、21 学級です。



南小学校

知ってる？

さわやか 3 組 : 1987 年から 22 年間、NHK 教育テレビで放映された小学生向けの道徳教育のドラマです。南小学校編の初回放映は 1999 年度でした。

狭山市立山王小学校 (南入曽 55)

山王小学校は、昭和 51 年 (1976) 入間小学校、狭山台小学校、堀兼小学校から分離して開校しました。平成 10 年 (1998) にはコンピュータ室が、同 23 年には特別支援学級が設置されました。同 27 年開校 40 周年を迎えました。教育目標は「自ら学ぶ子 心豊かな子 明るい元気な子」です。本校の特色は、全校茶摘み体験や山王塚市民緑地(南入曽)を利用した環境教育です。令和元年度の児童数は 443 名、16 学級です。



山王小学校

なお、校内には狭山市文化財センターが設置されています。

狭山市立入間野小学校 (北入曽 980)

入間野小学校は、昭和 54 年 (1979) に開校しました。開校時の児童数は 746 名でした。同 58 年御狩場小学校の開校に伴って、70 人の児童が移籍しました。平成 23 年 (2011) には小学校の統廃合により入間小学校の児童 129 人が転入しました。教育目標は「仲よくする子 考える子 やりぬく子」です。本校の特色は、オオタカの森を活用した環境教育です。令和元年度の児童数は 429 名、14 学級です。



入間野小学校

狭山市立御狩場小学校 (北入曽 755-4)

御狩場小学校は、昭和 58 年 (1983) 4 月に開校しました。平成 27 年 (2015) には特別支援学級が新設されました。教育目標は「自ら学ぶ子 仲よくする子 たくましい子」です。本学の特色は、「あすこいこう」です。『あ』は 3 つ「挨拶・安全・後片づけ」の実践です。



御狩場小学校

令和元年度の児童数は 224 名、9 学級です。

狭山市立入間小学校 (開校、南入曽 546)

明治 7 年 (1874)、入曽学校として常泉寺に開校、その後金剛院に移転し、同 22 年 (1889) に入曽尋常小学校、同 33 年 (1900) 入間尋常高等小学校、昭和 16 年 (1941) 入間国民学校となりました。同 22 年 (1947) 入間小学校、同 29 年狭山市立入間小学校に改称しました。しかし、平成 23 年 (2011) 3 月に閉校、137 年間の歴史を閉じました。教育目標は、「仲よくする 考える子 がんばる子」でした。毎朝 10 分間のスキルタイム、朝マラソン、茶摘みなど、特徴ある教育がなされました。最終年度の児童数 305 名でした。

「さやま市の景観地 50」に選ばれた「けやき」は残っています。

狭山市立山王中学校 (南入曽 157)

山王中学校は、昭和 52 年 (1977) に開校しました。同 63 年入間野中学校の開校により一部の通学区が移籍しました。平成 24 年 (2012)、環境美化教育優良校の表彰を受けました。教育目標は「未来を見つめ自ら行動する生徒」、「思いやりあふれよく働く生徒」、「真剣に学習する生徒」、「たくましく生きる生徒」です。本校の特色は、三本柱 (時を守る・場を清める・礼を尽くす) を大切にする学校です。

令和元年度の生徒数は 333 名、12 学級です。



山王中学校

狭山市立入間野中学校 (北入曽 11028-1)

入間野中学校は、昭和 63 年 (1988) 山王中学校、東中学校、入間中学校から分離して開校しました。平成 7 年 (1995) ソニー教育基金の賞「優秀校」を受賞しました。同 27 年入曽地区の中学校統廃合により入間中学校が閉校になり、通学区が一部変更になりました。校訓は、「高く 明るく たくましく」、教育目標は、「至高 自立 耕心」です。令和元年度の生徒数は 521 名、14 学級です。



入間野中学校

狭山市立入間中学校 (閉校、南入曽 443)

入間中学校は、昭和 22 年 (1947) 入間村立入間中学校として開校しました。同 29 年に狭山市立入間中学校と改称しました。平成 21 年 (2009) には、「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞しました。

同 27 年閉校の後、映画『暗殺教室』などのロケ地として活用されていました。

令和 2 年 (2020) 4 月「入曽地域交流センター」が開設します。



旧入間中学校

入曽地区の市指定文化財

史跡「七曲井」 (北入曽 1366)

すり鉢状の古代井戸で、水汲み道が稲妻型であることから、七曲井といわれています。掘削時期は不明ですが、歌枕として名高い「ほりかねの井」の一つと考えられます。延長 5 年 (927) 成立の『延喜式』に「諸国の駅路には果物の実る木を植え、旅人に休息の場を与えるとともに、飲み水のない所に井戸を掘りなさい」と記されています。



七曲井

この頃、武蔵国入間郡の役所・郡衙(ぐんが)が掘ったと思われます。井戸ができると入曽郷に人が移り住むようになりました。

埼玉県指定文化財(史跡)です。

彫刻「木造聖観世音菩薩坐像」 (北入曽 1366)

聖観世音菩薩(坐像の高さ 54 cm) は七曲井の隣にある観音堂の本尊です。端正な顔立ちであぐらを組み、ひだの付いた着衣をまといます。

文保 2 年 (1318) の大干ばつの時、村人が水神の本地仏である観音像に祈り七曲井をさらうと清水が湧き出たという話が伝わっています。



聖観世音菩薩坐像

・常泉寺観音堂 (本尊は聖観世音菩薩)

創建は不明です。常泉寺の『沿革史』によると、建仁 2 年 (1202) と伝えられています。元禄 2 年 (1689) 常泉寺は移転しましたが、観音堂は七曲井の近く、県道 50 号線(所沢狭山線)に接する現在地に建っています。毎年 1 月 11 日に「観音待ち」と呼ばれる祭りが行われ、入曽囃子が奉納されます。



常泉寺観音堂

入間野神社（南入曽 641）・金剛院（南入曽 460）の文化財

無形民俗文化財「入曽の獅子舞」

入曽の獅子舞は、260年前頃から継承されています。毎年10月第3土と日曜日に金剛院と入間野神社で奉納しています。天狗が「風雨和順 五穀成就」と書いた軍配を持ち、三頭の獅子が豊作や悪疫退散、雨乞いを祈って舞います。埼玉県指定無形民俗文化財です。（p103 参照）



入曽の獅子舞

・入間野神社（祭神はオオヤマズミノミコト）

入間野神社は建久2年(1191)水神を祀る国井神社と称し、後に御嶽権現、御嶽神社と称し、明治44年(1911)入間野神社に改称しました。天正19年(1591)徳川家康から、慶安2年(1649)家光から朱印10石を賜りました。別当寺は金剛院でした。

彫刻「木造地蔵菩薩立像」（金剛院）

木造地蔵菩薩立像は金剛院の寺宝で、本堂に安置されています。地蔵菩薩は人々の苦しみや悩みごとを取り除き、願い事を叶えてくれる、ありがたい仏で、慈悲深く穏やかな顔立ちをしています。もとは地蔵堂の本尊でした。金剛院文書によると、制作年代は不明ですが作者は春日で、元亀4年(1573)と承応2年(1653)に修復したとあります。



木造地蔵菩薩立像

・金剛院（本尊は不動明王）

御嶽山金剛院延命寺は天文2年(1533)開山したとされ、慶安2年(1649)、徳川家光から朱印10石を賜りました。明治18年(1885)常泉寺にあった入曽学校が金剛院に移りました。同38年火災に遭い本堂は焼失しましたが、安永10年(1781)建立の四脚門と入曽の獅子舞一式を所蔵する土蔵は残りました。

知ってる？

夢地蔵：正式には夢地蔵菩薩と言います。寛政7年(1795)大日堂に安置され、昭和40年(1965)金剛院の中央霊園(南入曽539)に移されました。熱心な信者だった吉野久次郎の夢枕に地蔵が立ち「信州湯ノ瀬に温泉を掘り、人々の息災を守るべし」とのお告げがあり、温泉を掘り当てることができました。そこで、同59年(1984)、長野県小諸市の湯ノ瀬温泉に遷座されました。それ以来、夢を叶え、「夢地蔵」と呼ばれるようになりました。平成11年(1999)、地蔵は南入曽の中央霊園に戻りました。

史跡「下水野の地蔵尊」（南入曽 63-1）

石造の地蔵菩薩立像です。水野の開村から20年目の貞享2年(1685)水野村の名主牛久保忠元外48人が現世と来世の二世安楽を願い、近郷近在の助力を得て造立しました。赤ん坊の夜泣き封じには荒縄で縛り、夜泣きが治ると縄をほどく信仰があります。地元では「夜泣き地蔵」や「化け地蔵」とも呼んでいます。



下水野の地蔵尊

無形民俗文化財「入曽囃子」（北入曽 274-1）

文政年間(1818~1830)北入曽村の名主で国学者・田口保明(1804~1892)が、武蔵国豊島郡徳丸村(現 東京都板橋区)から師匠を招き、地元の有志に伝授しました。里神楽の流れをくむ三番叟(さんばんそう)を舞うのが特徴です。毎年、観音堂の観音待や野々宮神社のお祭りで奉納されています。西方囃子は入曽囃子から習いました。（p146 参照）

知ってる？

三番叟：叟(そう)とは年寄りのこと。三番叟の舞は五穀豊穰を祝い、足拍子や農事にかかわる地固め、種まきを思わせる所作をします。歌舞伎や人間浄瑠璃、各地の民俗芸能にも継承されています。

・野々宮神社（祭神はヤマトノヒミコト）

野々宮神社は奈良時代の創立と伝えられています。社家は神武天皇御東征に従軍し宮崎と称し、以来入間路の警備と七曲井の管理に当たったといわれています。別当寺は天徳山宝泉寺でした。境内には、蔵王神社や稲荷神社、愛宕神社、神明神社、八雲神社が並んで祀られています。五か条の御誓文を起草の福岡孝弟の社号額と祭礼幟が保存されています。



野々宮神社

知ってる？

観光農園・宮俊ぶどう園(水野 895-1)と宮信観光ぶどう園(水野 1204)：入曽駅西口から徒歩圏内にあるぶどう園で、ぶどう狩りができます。天候によってぶどうの生育が左右されますが、収穫時期は8~9月頃です。ぶどう棚の下で憩いのひと時を楽しめます。

入曽地区の歴史

尾張家の御鷹場

寛永10年(1633)、幕府は御三家(紀伊家・尾張家・水戸家)のうち尾張家の鷹場として堀金村と上赤坂村を指定、その後水野村を加えました。徳川家の歴史書『徳川実紀』によると、寛永10年から天和3年(1683)にかけて、ほぼ2年に1回の割合で鷹狩が実施されていたようです。ただし、狭山市域の御狩場への来訪は不明です。

鷹場を設定した理由は、治安維持と防衛ラインを考えたからであると思われます。しかし、鷹場は、農民に大変な負担を強いました。享保元年(1716)、8代将軍吉宗は鷹場の範囲を示す境杭を設置しました。堀金村に2本、上赤坂と水野の両村に1本ずつ設置しました。現在、堀兼に2本、上赤坂と水野に1本ずつ残されています。(p129参照)

水野の新田開発

寛文5年(1665)、川越藩主松平信綱の子輝綱が鷹狩りに出掛けた折、野先案内人を務めたのが堀金村の牛久保金左衛門でした。輝綱は一面に広がる原野(秣場(まぐさば)という、田畑の肥料になる秣を採る入会地)を見て、ここを開発しようと考えました。翌年(1666)、牛久保金左衛門とその子牛右衛門に命じ、水野村を開発させました。南入曽村の百姓や川越藩内の二男・三男が入植しました。



水野の畑

水野村の地名は、川越藩の郡(こおり)奉行の安松金右衛門吉政が「千載和歌集」にある藤原俊成の歌「武蔵野の堀兼の井もあるものをうれしく水の近づきにけり」の「水の」より付けたと言われています。主に大麦、小麦、稗、芋、蕪、大根、陸稲を栽培し、寛延2年(1749)の人口は429人、家数は85軒と伝えられています。

入曾用水・小川(こかわ)

狭山丘陵から流れ出た水を集めた林川は、入間基地南側の北入曾で

不老川に合流します。林川上流から分水して南入曾に流れる用水が入曾用水です。かつては南入曾の人々にとって大切な生活用水でした。

開削年代はわかりませんが、天正6年(1578)に筑前守が出した禁制に「用水をみだりに掘り崩した者は厳罰に処す」と記されています。南入曾の人達は親しみを持って入曾上水を「小川(こかわ)」と呼び、不老川を「大川(おおかわ)」と呼んでいます。水野村は生活用水に不自由していたので、延宝2年(1674)分水を願いでましたが、南入曾村の村民にとっても死活問題なので、なかなか許可されませんでした。24年後の元禄12年(1699)、やっと許可されました。



小川(こかわ)

水野村の名主・牛久保家

水野の新田開発の中心となった牛久保家(現牛窪家)は、現在も水野に屋敷があります。『由緒書』によると、次のようになります。出身地が三河国(愛知県)宝飯郡牛久保村で、地名から牛久保姓を名乗りました。三河国から武蔵国桶川宿、大塚村、堀金村へと移り、名主役を務めていました。牛久保金左衛門は堀金村の名主でしたが、家督を娘婿に譲り、息子の牛右衛門と共に水野村の開発に当たりました。



八幡宮の石祠

平地林跡に大規模住宅開発

昭和30年代(1955~)都市人口が急激に増えると、住宅開発の波は都県境を越えて狭山市域に及びました。

昭和35年(1960)水野の住宅開発が始まり、「東急狭山団地」と命名されました。翌年に「三商団地」が、同40年に「若葉台団地」が分譲を始めました。大手企業による開発が進むと、その周辺を中小の不動産業者が開発し、都市化の波は次第に北上していきました。

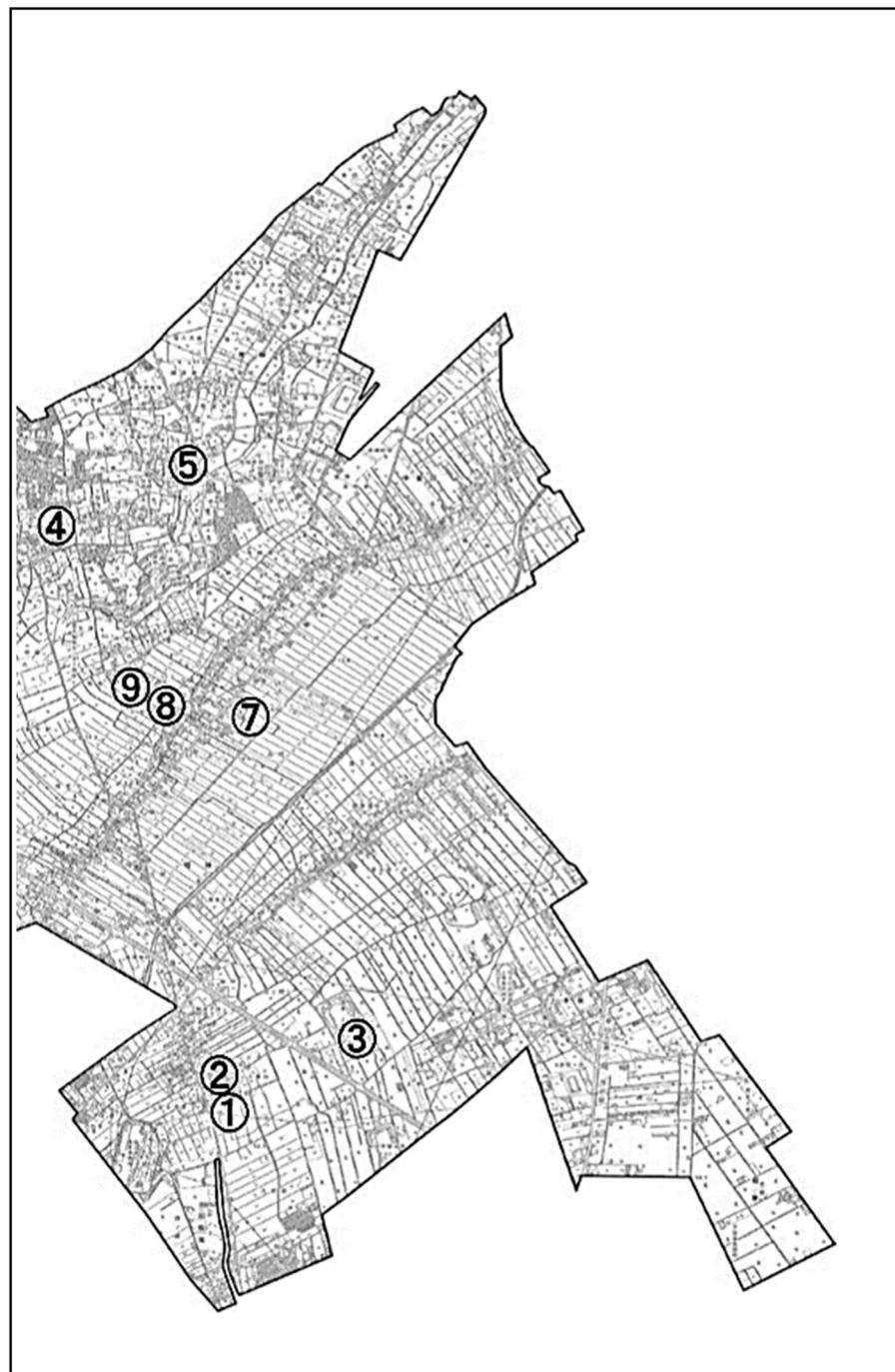
4. 堀兼地区

景勝地等

- | | | |
|---|----------|----------|
| ① | 堀兼神社 | 堀兼2220-1 |
| ② | 堀兼之井 | 堀兼2220-1 |
| ③ | 赤坂の森 | 堀兼2484-3 |
| ④ | 羽黒神社と菩提樹 | 加佐志174 |
| ⑤ | 氷川神社 | 青柳475 |
| ⑥ | 東三ツ木薬師堂 | 東三ツ木8 |

公民館等

- | | | |
|---|-------|--------|
| ⑦ | 堀兼公民館 | 堀兼361 |
| ⑧ | 堀兼小学校 | 堀兼1234 |
| ⑨ | 堀兼中学校 | 堀兼1237 |



堀兼地区の概要

堀兼地区は武蔵野台地の北端に位置し、古代より水の乏しい不毛の台地でした。堀兼は井戸を掘り難い地という意味ともいわれています。そこで旅人に飲み水を提供するために、井戸を掘りました。その井戸が堀兼神社の境内にある堀兼之井（ほりがねのい）であるといわれています。

この地区は農業が盛んな土地です。上空から眺めると、農地が規則正しく短冊形に並び、江戸時代初期に行われた新田開発の名残です。

堀兼地区の面積は約 1,176ha です。



堀兼地区（国土地理院 2007）

堀兼村

堀兼村は、明治 22 年（1889）、町村制の施行によって堀金村と青柳村、加佐志村、東三ツ木村、上赤坂村、中新田村の 6 か村が合併して誕生しました。堀金村と上赤坂村、中新田村の 3 か村は、川越城主松平伊豆守信綱により慶安 3 年（1650）に開拓された新田村です。

堀兼地区地名の由来

堀兼（堀金）

江戸時代、村名は堀金村でした。堀金と名付けた理由は不明ですが、明治 22 年の合併に際して、金を兼と改め堀兼村としました。歌枕の

堀兼の井の所在を明確にする意図があったと思われます。

上赤坂

上赤坂の「上」は下赤坂に対して上（西）の意味です。赤坂は、地形が傾斜して坂をなし、表土がローム層で赤色をしていることに由来すると思われます。ちなみに、下赤坂は川越市に属しています。

中新田

初めの名は大塚新田でしたが、堀金村と今福村（川越市）の間にあることから、中新田になったのではないかと伝えられます。

東三ツ木

北条高時（1304～1333）の家臣・三ツ木国重は、鎌倉幕府滅亡により三ツ木村（現 入間市西三ツ木）に帰郷、その後三ツ木村（現 狭山市東三ツ木）に移り住みました。村名は三ツ木姓から三ツ木村としましたが、明治 12 年（1889）郡区町村編成法の施行により、現入間市域にも三ツ木村（現 西三ツ木）があることから、東三ツ木村に改めました。（p129 参照）

青柳

久保川に架かる柳橋があり柳が繁茂していたことから、地名を青柳にしたと考えられます。三ツ木国重の子孫・四郎左衛門（天岑寺の観音堂を創建）の子・勇右衛門が青柳村に移り分家したそうです。

加佐志

共同墓地に立つ石地蔵に、「元禄七甲戌天（1694）八月吉日武州入間郡風下村」と刻まれています。地形が久保川にかけて傾斜し、冷たい北風が吹き付けていたことから「風下」を、いつの頃からか「加佐志」を当てたのではないかと考えられます。

堀兼地区の自治会

堀兼地区自治会連合会は、17 の単位自治会（堀下、堀中、堀上、堀向、上赤坂、原、中新田、青下、青新、青中、青丸、加佐志、東三ツ木、西武団地、新狭山ハイツ、つつじ苑、シャルマンコーポ狭山）で構成されています。

堀兼地区の人口

堀兼地区の人口（令和 1 年 1 月 1 日現在）は 14,481 人（男 7,429 人、女 7,052 人）で、世帯数は 6,764 世帯です。狭山市の総人口に占める割合は 9.7% です。



堀兼地区の自然・公園

堀兼地区には、堀兼・上赤坂公園や街区公園など公園 21 か所（総面積約 6.5ha）が設けられています。

堀兼地区の「狭山市の景観地 50」

堀兼地区では、堀兼神社や堀兼之井、赤坂の森、羽黒神社の菩提樹、氷川神社の 5 か所が景観地に選ばれています。

埼玉県指定「ふるさとの緑の景観地」

堀兼地区の南部一帯、堀兼・上赤坂の森（79.1ha）や櫛山（くぬぎやま）の森（19.32ha）は埼玉県により「ふるさとの緑の景観地」に指定されています。平成 19 年度、堀兼・上赤坂の森の一面が緑のトラスト保全第 9 号地（6.4ha）として公有地化が図られ、公開されています。毎年冬になると市民ボランティアや関係者が参加して森林施業を実施しています。



ふるさとの緑の景観地

・さやま緑の里の会

「さやま緑の里の会」（JA いるま野狭山支店）は、平地林の地権者有志による組織です。平成 15 年（2003）に設立され、平地林が適正に維持されるように森林施業（樹木の伐採や下草刈り、落ち葉掃き等）を実施しています。

新田開発による農業

今から 370 年ほど前、慶安 2 年（1649）川越藩主松平伊豆守信綱の命により、年貢の増収を図る目的で堀兼地区の開発が始まりました。農地は整然と並び、一戸当たりの土地は間口 20 間（36m）×奥行 460 間（830m）の短冊形で、面積は約 3 町歩（3ha）と広大です。



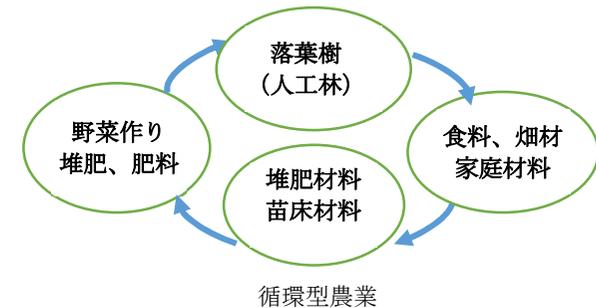
サトイモ畑

明治時代には大豆や陸稲、甘薯、大麦が生産され、明治末期から大正期に養蚕が広まり、昭和時代にはビール麦や人参、牛蒡（ごぼう）の

生産が盛んでした。牛蒡は特産品「人間牛蒡」の名で関西地方や東京に出荷されました。近年は給水する灌漑施設（かんがいせつ）が整い、里芋（さといも）やホウレン草、水菜、枝豆などが生産されています。

エコな「循環型農業」

新田開発の入植者は、土地の北側に家を見て、落葉樹林（人口の平地林）を育て、林から食料や燃料、家屋材料、飼料、苗床材、地肥材を得ていました。循環型農業「落葉堆肥農法」は日本農業遺産に指定され、世界的にも注目されています。



保存樹林

堀兼地区には、シラカシやケヤキなどの屋敷林の景観が広がっています。木材の利用と建物を守る防風林の役目を期待したのでしょう。

堀兼・上赤坂公園（堀兼 2484-3）

狭山市の南東部に位置し、武蔵野の面影を残す雑木林に囲まれ、自然の美しさを生かして作られた環境豊かな公園（面積約 4.9ha）です。木立をぬって園内を一周するレンガ道の散歩路（一周 800m）があり、樹木や草花により季節の変化が楽しめます。多目的グラウンド（サッカー場）



堀兼・上赤坂公園

の周囲にはトラックがあり、グラウンドは天然芝が敷かれています。管理棟の中には、緑のトラスト地の写真や A S エルフェン埼玉の写真が展示されています。緊急時にはドクターヘリの離着陸場になります。

堀兼地区の施設

農村環境改善センター (堀兼 360)

昭和 60 年 (1985) 農村環境改善センターは農村の健全な発展を図る目的で設置されました。

市の農業振興と市民のコミュニケーションの場として農業団体や一般市民の活動や諸行事に利用されています。多目的ホール、食品加工料理実習室、農事研修室、生活改善実習室などの施設があり地域住民の生活の向上が期待されています。

3 月には「狭山茶グランプリ in SAYAMA」、7 月には「堀兼ふる里まつり」などの会場となります。

老人福祉センター「寿荘」 (加佐志 513-2)

「寿荘」は高齢者の福祉を増進する施設で、風呂、集会室、和室、機能訓練室などが利用できます。一日楽しくゆっくり過ごせる憩いの場所です。狭山市民だけでなく、入間市、所沢市、飯能市在住の方は無料、4 市以外の方は有料です。

周囲の道路はシルバーゾーンに指定されています。自動車の運転時には高齢者に注意してください。

知ってる?

丸山の銭洗い弁天さま (青柳 63) : 青柳丸山地区 (現新狭山ハイツ付近) に大小二つの池があり、ほとりに弁天さまが祀られています。

昔から伝わる話では、二つの池は決して涸れることがなく、銭を洗うと二倍になるといわれ、参詣者は先を争って銭を洗っていたそうです。そんなことから、別名「銭洗い弁天さま」と呼ばれていました。最近では新狭山ハイツの弁天様と呼んで、毎年 3 月に弁天祭りを行っています。



農村環境改善センター



老人福祉センター寿荘

堀兼地区のイベント

堀兼ふる里まつり (堀兼 360)

「堀兼ふる里まつり」は、毎年 7 月地域の一大イベントとして開催されています。堀兼公民館に隣接する農村環境改善センター駐車場が会場となり、自治会、学校、市民団体が協力して、郷土意識の向上と地域住民の親睦と交流を図る夏祭りです。金魚やヨーヨー釣りに興じ、飲み物やピザなどの模擬店でお腹を満たし、和太鼓や堀兼の獅子連の演技を觀賞し、盆踊りには老若男女が参加しています。平成 30 年度参加者は約 2,200 名です。



堀兼ふる里まつり

スローピッチソフトボール大会 (堀兼小と堀兼中の校庭)

自治会対応のスローピッチソフトボール大会は、毎年 9 月堀兼小学校と堀兼中学校の校庭で開催されています。スポーツを通じて自治会の結束や地域住民の交流を図り、健康増進を高め楽しむソフトボール大会です。平成 30 年度は雨天により中止となりました。

知ってる?

スローピッチソフトボール : 1 チーム 10 人制 (攻撃時には 11 名でも可) です。投手は緩やかな球を投げ、打者はバントやたたきつける打法は禁止されています。盗塁はなく、2 ストランク後のファウルは三振です。

堀兼地区体育祭 (堀兼中学校、堀兼 1237)

毎年 10 月第一日曜日、堀兼地区連合自治会主催の体育祭が堀兼中学校を会場に開催されています。当日は大勢の人が参加し、スポーツを通して健康増進と地域住民の交流、連帯意識を深めています。平成 30 年度は雨天中止でした。



堀兼地区体育祭

昔の遊びともちつき大会

昔の遊び体験、世代間の交流意識の向上を図るために行われています。昔の遊び体験、竹細工、めんこ、お手玉、おはじき、積み木、竹馬、ベーゴマ、フラフープ等の遊び及び工作作り、もちつき体験、非常食作り体験、もち、豚汁、ポップコーン販売、ミニSLへの乗車体験です。狭山工業高校、堀兼中学校の生徒の協力を得て実施しています。平成30年度参加者は171名でした。



昔遊び

堀兼産そば粉で「さやま茶里チーそばまつり」

平成24年(2012)、狭山茶里(チャリ)ティーそば祭りは始まりました。同28年から会場は農村環境改善センターに、令和元年から会場は狭山稲荷山公園内に移りました。



さやま茶里チーそば祭り

埼玉西部蕎麦打ち倶楽部連合会(狭山市・所沢市・入間市の蕎麦打ち同好会)の会員が、堀兼産そば粉で手打ちの腕前を披露し、二八そばや茶そばを提供しています。収益は福祉団体へ寄付しています。

知ってる?

耳だれ地蔵(加佐志共同墓地内、加佐志186): 共同墓地に立つ地蔵菩薩は「耳だれ地蔵」と呼ばれています。昔の話ですが、耳の病気で困っている人が地蔵に竹筒に酒を入れて願をかけ、先にある竹筒の酒を持ちかえり、耳につけると病気が治るといわれています。病気が治ると新しい竹筒に酒を入れてお礼にきます。御利益があるので、この地蔵菩薩はこの世の衆生を救う仏として信仰されていました。4月と8月には露店が並びます。



耳だれ地蔵

堀兼公民館の活動 (堀兼361)

堀兼公民館は、畑や雑木林が広がる自然豊かな環境の中にあります。各サークルは活動の成果を文化祭などで披露や展示をしています。堀兼地区は地域特有の団結力を発揮して活動しています。

平成30年度の重点目標は、①現代的・地域的課題への取り組み、②地域の人材や資源の活用、③青少年の健全育成、④健康推進や生きがい支援、⑤災害や防災に係わる危機管理意識の醸成です。活動の一部を紹介します。

乳幼児とママの「ほりかね親子サロン」

堀兼地区では、まちづくり事業として、平成24年(2012)以来、毎月乳幼児とお母さんを対象に「親子サロン」を開催しています。堀兼公民館で活動している母親が中心となって企画し運営しています。



ほりかね親子サロン

毎月楽しく工作やヨガ、季節のイベントを計画しています。仲間づくりや悩みを話し合いながら子どもと一緒に楽しむサロンです。

青少年育成事業

親子で「お茶摘み体験」

狭山の特産品である狭山茶の葉を摘み、茶葉のてんぷらなど料理を作って試食して楽しめます。

小学5年生が「サトイモの秘密を探る」

堀兼小学校の5年生が、総合学習の時間に狭山の特産品「サトイモ」について学び、自分たちが育てたサトイモを収穫して、郷土料理「サトイモ煮」の料理に挑戦します。講師は地域の「狭山里芋増産倶楽部」のメンバーが担当します。

親子で楽しむ「体験教室」

「木工クラフト体験」、「おやつ作り」、「昔のあそびと餅つき大会」、

「段ボールを使ったクラフトづくり」、「マジック教室」など、季節に合わせ、地元の経験者が講師となって交流を楽しみ、堀兼地域への愛着の醸成を図っています。

伝統行事「繭玉作り、繭玉飾り」

養蚕が盛んな頃の伝統的な風習であった繭玉作りや繭玉飾りを体験します。今では、養蚕を生業とする農家はありませんが、養蚕と伝統ある行事や風習を子どもたちや若い世代に伝えようと、地元の高齢者が講師となって、交流を深めています。



繭玉飾り

地元産小麦粉で「うどん打ち」

「堀兼農の会」会員の指導で、うどんを打っています。地元産の小麦粉（中力粉）は粘りがあり、歯ごたえの良いうどんが出来上がり、好評です。うどんは祭事の食事の最後に振舞われていた伝統ある郷土料理です。うどんの打ち方を学び、次世代へ継承しています。

高齢者が学ぶ「ほりかね寿大学」

「ほりかね寿大学」は、寿会の協力を得て実施しています。高齢者の生きがいと健康増進を目的として、コーラスや落語、健康塾、市外への視察研修などを行い、地域交流を深め、仲間づくりの場を提供しています。平成28年度5回の開催に参加者は延べ200名でした。

知ってる？

奥富さんと奥富さん：むかし、二人のオクトミ兄弟が、兄は「カザシ」のあたりに、弟は「マルヤマ」のあたりに家を建てました。兄は遠出するにあたって弟に金を預け、その証として弟は兄にオクトミ姓の「い」を渡したので、カザシのオクトミは「奥富」、マルヤマのオクトミは「奥富」になったそうです。

知ってる？

観光農園・狭山ベリーランド（堀兼1262-5、入間川971-3）：堀兼地区と入間川地区に観光農園を展開しています。堀兼地区の観光農園は堀兼公民館やJAいるま野堀兼支店の近くです。イチゴやブルーベリー、しいたけがハウス内で栽培されています。入間川地区の観光農園は複合ショッピングモールベスタ狭山店の近くです。ハウスの中でいちご狩りを楽しめます。

堀兼地区の小・中学校

狭山市立堀兼小学校（堀兼123）

堀兼小学校は明治7年（1874）堀兼学校として堀兼村の光英寺に開校しました。同22年（1889）、逃水学校を併合し、堀兼尋常小学校になり、堀兼尋常高等小学校を通して堀兼国民学校を経て、昭和22年（1947）堀兼小学校になりました。そして、同29年に町村合併により狭山市立堀兼小学校と改称しました。同49年には創立100年を迎え記念公園（築山）を完成させました。教育目標は「まなぶ、きたえる、おもいやる」です。本校の特色は、3つの感覚「人権感覚、言語感覚、時間感覚」を大切にしている学校です。学力体力を伸ばし、心豊かな子を育てます。令和元年度年度の児童数は266名、13学級です。



堀兼小学校

知ってる？

堀兼地区唯一の寺・光英寺（本尊は大日如来、堀兼1228）：光英寺は数度の火災により正確な創立時期はわかりませんが、万治元年（1658）頃ではないかといわれています。堀兼地区には、江戸時代4寺ありましたが、明治時代に廃寺となり、光英寺のみとなりました。

狭山市立堀兼中学校（堀兼1937）

堀兼村立堀兼中学校は昭和22年（1947）に開校しました。同29年狭山市誕生により、狭山市立堀兼中学校と改称しました。堀兼中学校の学区は堀兼小学校と新狭山小学校の学区です。

教育目標は、「共に学び 共に伸びる生徒の育成」です。本校の特色は「学びあう生徒のいる学校、正義が通る学校、指導力のある教師のいる学校、安全で安心できる学校、美しく潤いのある学校、開かれた学校」です。

令和元年度の生徒数は399名、14学級です。



堀兼中学校

堀兼地区の市指定文化財

彫刻「木造薬師三尊像並びに十二神将像」(東三ツ木 8-1)

東三ツ木の薬師堂には薬師如来像と日光菩薩・月光菩薩(薬師三尊)、甲冑で武装した十二神将が安置されています。薬師如来像は卵形の秀麗な顔立ちで、やや猫背気味に鎮座しています。薬師三尊は室町時代前半に鎌倉で流行した形式の彫刻です。日光・月光菩薩は江戸時代前期の作品です。



薬師三尊像と十二神将像

・東三ツ木薬師堂

三ツ木村(現 東三ツ木)の開祖三木和泉守国重が地域を守護するために薬師堂を建立し本尊を祀りました。近郷近在の住民からは「東方の薬師様」と呼ばれています。夏祭りでは堀上囃子が演じられています。

無形民俗文化財「上赤坂獅子舞」(上赤坂 165-6)

「上赤坂獅子舞」は240年以上前から演じられた歴史ある獅子舞です。戦前・戦中・戦後幾度となく中断しましたが、平成2年(1990)保存会が発足、以来毎年10月、集会場前で村内安全や五穀豊穰、悪疫退散を願い奉納しています。



上赤坂獅子舞

堀兼神社の文化財 (堀兼 2220)

旧跡「堀兼之井」

堀兼之井(直径7.2m、深さ1.9m)は中央に石の井枠を組み、周囲を欄干が巡っています。今は大部分が埋まっております。この井戸は『枕草子』や『千載和歌集』などで詠まれた「ほりかねの井」の一つだといわれています。



堀兼之井

井戸の隣に「窪地は俗耳に従っただけで、詳しいことは分からない」と刻んだ漢文の石碑があり、この井戸が「ほりかねの井」であるかは不明です。埼玉県指定文化財(有形文化財・旧跡)です。

建造物「隨身門(ずいじんもん)及び二神像」

堀兼神社の隨身門は単層入母屋造りの八脚門です。朱塗りの門の両脇に彩色を施した神像が安置され、左に矢大臣(トヨイワマドノミコト)、右に左大臣(クシイワマドノミコト)が阿吽(あうん)の口をして祀られています。大正14年(1925)、茅葺屋根は銅板葺きに改修されました。



隨身門

堀兼神社(富士浅間社)本殿厨子 附 棟札一枚

川越町奉行長谷川源右衛門が慶安3年(1650)、堀金村の誕生に合わせて井戸を掘り返し、無病息災と子孫繁栄を祈って厨子を安置しました。28年後の延宝6年(1678)川越城内三芳山広福寺の僧・憲海(けんかい)と地元住民により造り直されました。その時、本殿に収められたのが現在の厨子です。全体に黒漆で塗られています。



浅間神社本殿厨子

・堀兼神社(主祭神はコノハナサクヤヒメノミコト)

浅間宮と呼ばれていました。慶応4年(1868)の神仏分離令により浅間神社と改称し、翌年、村社となりました。明治39年(1906)堀兼村の小さな神社が合祀され、同42年に堀兼神社と改称しました。昭和2年(1927)、郷社に昇格しました。社伝によれば、創建は、日本武尊(やまとたけるのみこと)が蝦夷(えみし)征伐からの帰り、村人達が水不足で苦しんでいたのを、富士山を拝み井戸を掘らせたところ水が湧き出たので、浅間宮を祀ったと伝えています。

天然記念物「羽黒神社の菩提樹」

(加佐志 174)

羽黒神社の御神木菩提樹は中国原産のシナノキ科の落葉高木(高さ約10m、幹周り約1.9m)で、樹齢約550年と推定されています。毎年6~7月頃、淡黄色の花が咲き、葉



羽黒神社の菩提樹

の裏に直径 8 mm程の実を結びます。

・羽黒神社 (祭神はウガノミタマノミコト)

古文書によると、羽黒神社の前身の出羽権現社は、応永年間(1394~1427)に出羽国梁川(山形県鶴岡市付近)出身の伴蔵人一俊がお告げを受けて、加佐志村に居を構え、氏神として祀ったとあります。明治元年(1867)、羽黒神社に改称しました。一俊は当地に留まったため「奥留」姓を名乗りました。

知ってる?

民俗芸能「青中囃子」(青柳 475) : 青中囃子は入間市高倉囃子の流れを組む菅原囃子(入間川地区)から習い、昭和 48 年(1973)青中(現青柳地区)の人たちが保存会を結成(会員 26 名)しました。氷川神社(青柳 475)の元旦祭や天王様で奉納し、銭洗い弁天、堀兼ふる里祭などで演じています。平成 18 年埼玉県「文化財ともしび賞」を受賞しました。



青中囃子

知ってる?

民俗芸能「堀上囃子」(堀兼 222-1) : 堀上囃子は昭和 59 年(1984)三芳町上富囃子連から習得して囃子連を結成(会員 13 名)しました。曲目は 9 曲です。堀兼神社の元旦や春秋の例大祭、7 月天王さま、堀兼ふる里まつりで奉納しています。堀兼中学や堀兼小学校の児童生徒たちに笛や太鼓、面に触れさせて後継者の育成に努めています。



堀上囃子

知ってる?

名主屋敷(青柳 264) : 奥富家は江戸時代、青柳村の名主の役割を務めていました。当時の面影を残す家は、昭和 44 年(1969)に解体しましたが、入口の長屋門は移築され残っています。江戸時代には役人が罪人を取り調べる時に出張してきました。屋敷牢のそばにからくり部屋があり、床下には抜け穴があり約 100m 先まで掘られていたといわれています。奥富家には、貴重な近世文書が 300 点余り所蔵されています。



奥富家長屋門

堀兼地区の歴史

鎌倉街道の堀兼道

鎌倉街道は鎌倉幕府の成立とともに整備された主要街道で、市内を通る上道(かみつみち)の枝道です。便宜的に堀兼道と呼ばれ、堀兼神社前から加佐志の切通しを通過して、東三ツ木で 2 つに分かれています。堀兼道は市内で唯一鎌倉街道の面影を偲ばせる遺構で、長さ約 130m、道幅約 2m で堀兼道の雰囲気は今に残っています。



鎌倉街道堀兼道の遺構

三ツ木村 (三ツ木公園周辺)

元弘 3 年(1333)新田義貞により鎌倉幕府が滅亡した折り、執権北条高時(1304~1333)の家臣・金子和泉守国重は入間郡金子郷三ツ木に帰郷し、姓を三ツ木と改めました。その後、国重は狭山市域に移り原野を開墾、村名を出身地から三ツ木村と名付けました。江戸時代、三ツ木村の規模は 42 戸、人口 200 名余でした。明治 12 年(1879)郡区町村編成法の施行で入間郡が発足、東三ツ木村と改称しました。

鷹場境杭 (上赤坂 179)

上赤坂の村田家には、尾張家の御鷹場を証明する境杭が現存します。

尾張家の御鷹場は、多摩川と荒川の間、北は坂戸村から多摩郡青梅村周辺まで、東は保谷村から膝折村まで、南は五日市街道までの村々を含む広大な区域でした。

狭山市域では、寛永 10 年(1633)、堀金村と上赤坂村が、その後、水野村が御鷹場になりました。鷹狩りは、寛永 10 年から天和 3 年(1683)まで計 26 回、2 年に 1 回ほど実施されていました。(p112 参照)



鷹場境杭

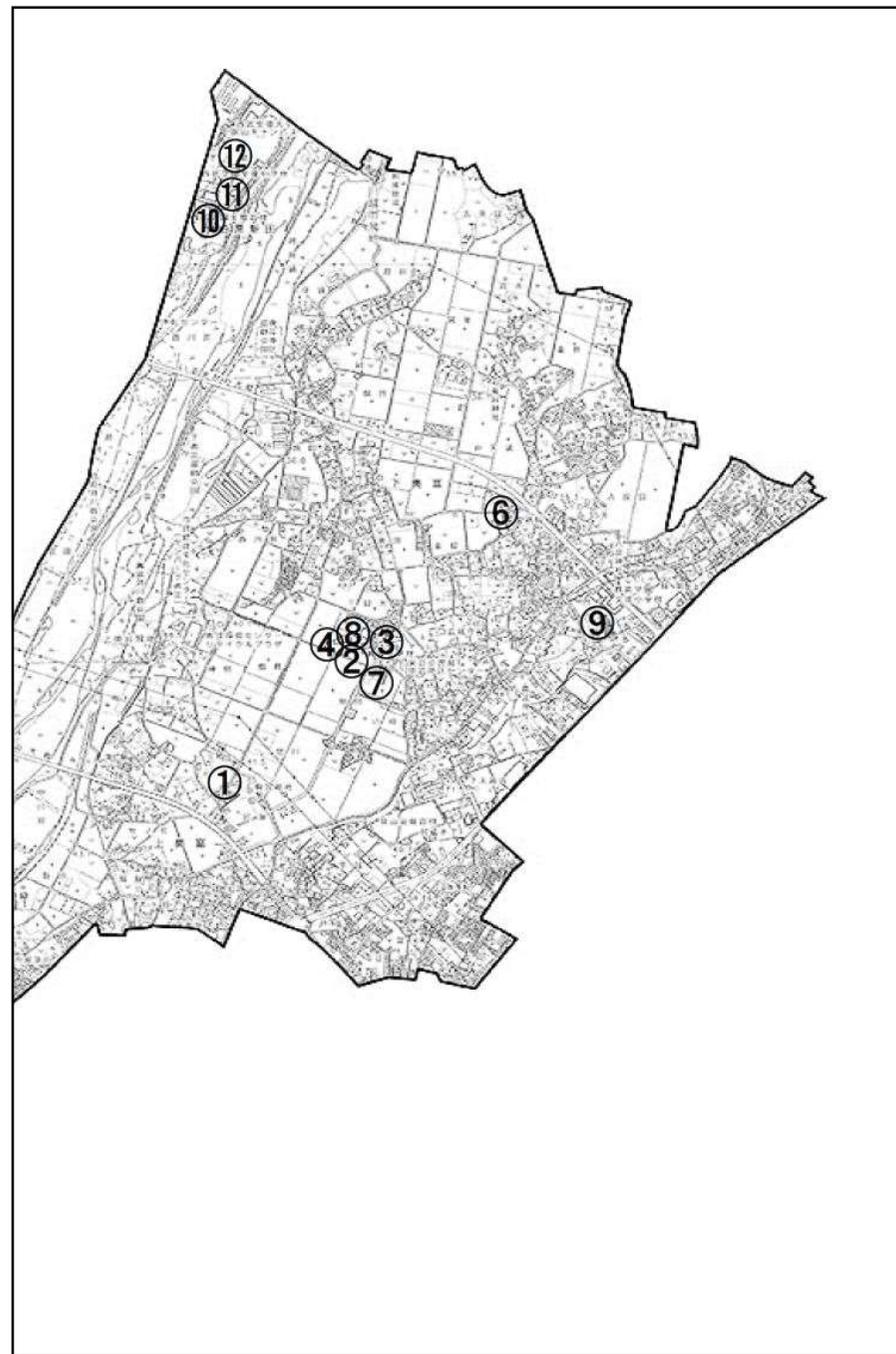
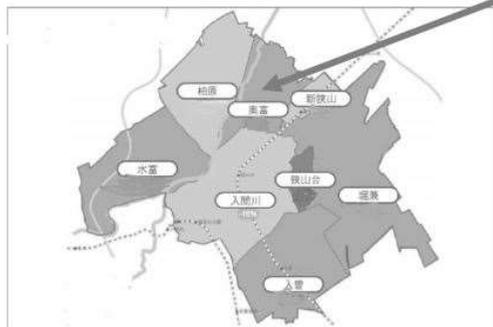
5. 奥富地区

景勝地等

- | | |
|-------------------|----------|
| ① 梅宮神社・甘酒祭り | 上奥富508 |
| ② 奥富のたんぼ・奥富のかかし祭り | 下奥富1019 |
| ③ 広福寺・山門 | 下奥富844 |
| ④ 奥富ひなまつり | 下奥富1100 |
| ⑤ 上奥富運動公園・消防出初式 | 上奥富999 |
| ⑥ 弁天堀ほたるまつり | 下奥富766付近 |

公民館等

- | | |
|--------------|-----------|
| ⑦ 奥富公民館 | 下奥富1007-1 |
| ⑧ 奥富小学校 | 下奥富1019 |
| ⑨ 西武学園文理小学校 | 下奥富600 |
| ⑩ 西武学園文理中学校 | 柏原新田311-1 |
| ⑪ 西武学園文理高等学校 | 柏原新田311-1 |
| ⑫ 西武文理大学 | 柏原新田311-1 |



奥富地区の概要

奥富地区は、狭山市の北東部、入間川の右岸に沿ってほぼ南西から北東に細長く続く低地と、武蔵野台地になっています。西方に美しい富士山を望む台地は、今はほとんど宅地化されています。低地にある農地は長い歴史を持ち、美しい景観を残す水田や畑地が広がっています。当地区の北側は川越市です。地区の面積は約 430ha です。

奥富村

奥富村は、明治 22 年（1889）に施行した町村制により、上奥富村と下奥富村、柏原新田村の 3 か村が合併して誕生しました。

中世には、上奥富村と下奥富村は入東郡奥留郷という一つの村でしたが、江戸時代に入ると、地方直し（じかたなおし）により分村したと思われる。柏原新田村は、江戸時代寛永年間（1624～1644）に開拓された新田村です。

奥富地区地名の由来

奥富郷

梅宮神社が所蔵する応永 33 年（1426）の鰐口には、「武州入東郡奥留郷西方滝（県立狭山清陵高校付近）」の記述があり、この地が奥留郷と呼ばれていたことは明らかです。地元の人たちは「おくとめ」ではなく、「おくどめ」と称しています。

上奥富・下奥富

中世、奥留郷は一つの村でしたが、江戸時代、地方直し（じかたなおし）の村切りにより、上奥富村と下奥富村の 2 村になったと思われます。慶安 3 年（1650）、川越藩主松平伊豆守信綱がこの地を訪れ、稲が豊作で年貢米も完納したことを大いに喜び、吉祥文字の「奥富」に改称したという話が残されています。村の繁栄を込めて付けられた縁起の良い地名です。

入間川と用水路の赤間川に挟まれた低地では稲作が、赤間川の東側の台地では畑作が行われていました。

柏原新田

『新編武蔵風土記稿』には、柏原村の農民・増田五郎右衛門が中心になり、柏原村の二・三男が、寛永年間（1624～1644）に開拓したと記されています。柏原新田は、堀金村や中新田、上赤坂村、水野村より、30 年近く前に開拓されました。柏原新田は田圃（たんぼ）による稲作です。柏原村でなく奥富村に合併した理由は、地理的・水利的利便性から農民が希望したためとされます。

奥富地区の自治会

奥富地区自治会連合会は 9 つの単位自治会（東部、中部、西部、西方、小袋、吹上、前田、柏井、大芦）で構成されています。連合自治会では会員や狭山市民の交流や地域の自然環境を保護する目的で、「奥富ふるさとまちづくり事業」を実施しています。

奥富ふるさとまちづくり事業

奥富地区では「奥富地区ふるさとまちづくり実行委員会」を組織して、明るく住み良い地域づくりを目指して活動しています。

① 虫が飛び交う里づくなどの水に親しむ事業、② 道路や休耕田を利用した花いっぱい事業、③ 奥富の歴史・文化を伝承する事業などに取り組んでいます。

奥富地区の人口

奥富地区の人口（令和 3 年 1 月 1 日現在）は 6,231 人（男 3,159 人、女 3,072 人）で、世帯数は 2,657 世帯です。狭山市の総人口に占める割合は 4.2% です。



知ってる？

くずはき橋：木組みの橋「くずはき橋」は「いるまがわ大橋」より 100m 程下流にありました。その昔、下奥富村の人達は冬になると入間川に木組みの橋を架け、柏原村の雑木林（ヤマ）に行き、田畑の肥料になる「くず（落ち葉）」を持ち帰っていました。その後、丈夫な木造橋（冠水橋）を架け渡し、荷車や自転車が通行できるようになりました。しかし、大水のたびに橋は流されてしまいました。平成 17 年（2009）いるまがわ大橋が完成して撤去されました。



くずはき橋の銘板
（いるまがわ大橋歩道上）

奥富地区の自然・公園

奥富地区には、上奥富運動公園や下奥富運動公園、街区公園などの公園 12 か所（総面積約 21.7ha）が設けられています。

奥富地区の「狭山市の景観地 50」

奥富地区では、梅宮神社と奥富の田んぼ・かかし祭り、広福寺の山門、八雲神社社殿の 4 か所が景観地に選ばれています。

日本の原風景「水田地帯」

奥富地区には水田風景が残っています。稲作の歴史は長く、肥沃な土壌を持つこの地は、毎年 6 月になると早苗田の鮮やかな緑が一面に広がり、野鳥が飛び、蛙の合唱が始まります。秋の収穫期には、のどかな自然美の中で刈り取られた稲を天日干しにする昔ながらの収穫作業も見られ、「かかし祭り」の展示会場になります。



奥富の水田

上奥富用水堰（上奥富 1210）

上奥富用水堰は、狭山大橋の上流に位置します。入間川から奥富用水路に取水するために築造されました。落差が約 3m ありアユなど魚が遡上できるように「入間川のまるごと再生プロジェクト」で魚道が整備されました。



上奥富用水堰

奥富用水路と三つの堀

奥富地区の水田を潤す水は、入間川と直接繋がる「奥富用水路」から取水されています。用水路は赤間川とつながり、さらに 3 本の堀に分岐しています。「ひがん花堀」の堤には彼岸花が咲き並び、「かるがも堀」にはカルガ



弁天堀はたらの遊園地

モが棲息しています。「弁天堀」は、その昔、水神の弁才天が祀られていましたが、今は「はたらの遊園地」として親しまれています。

奥富十二支めぐり

田園風景の広がる奥富地域には、豊かな緑と美しい水辺の景色に触れ合いながら散策できる「奥富十二支めぐり」コースが、設定されています。一周約 7km のコースに 12 のポイントがあり、それぞれに古くから語られる干支の謂れ（いわれ）が掲げられています。道中には折々の花が咲き、歴史ある神社や寺院、石仏に出会うことができます。自然とゆっくりのんびり対話のできる“さんぽ道”です。



十二支めぐり「未」

知ってる？

十二支：子（ね）、丑（うし）、寅（とら）、卯（う）、辰（たつ）、巳（み）、午（うま）、未（ひつじ）、申（さる）、酉（とり）、戌（いぬ）、亥（い）。令和元年（2019）は亥年、令和 2 年は子年です。

上奥富運動公園（上奥富 999 先）

入間川右岸沿いの上奥富運動公園（面積約 10.8ha）は広大な公園です。一帯には、野球場とソフトボール場、各種スポーツに利用できるコンビネーショングラウンド、親子がのんびりくつろげる芝生広場やラジコンレーシングコース、水遊びを楽しめる親水公園などがあります。スポーツだけでなく、ピクニックにも最適です。



上奥富運動公園

1 月には新春恒例の出初式会場となります。

下奥富運動公園（下奥富堤外地内）

下奥富運動公園（面積約 4.2ha）は、入間川河川敷の右岸にあります。野球場とソフトボール場、少年サッカー場が整備されています。健康増進を目的にして、各種競技活動の連盟や協会等が主に利用しています。空き時間帯は、一般の利用も可能です。

奥富地区のイベント・祭り

消防出初式 (上奥富運動公園、上奥富 999 先)

新春恒例の出初式は、1月第一土曜日に上奥富運動公園で行われています。消防団員や消防ボランティア、幼年消防クラブの子どもたち、消防車両などが行進し、防災ヘリコプターによる救出訓練や一斉放水が披露されます。同時に開催される消防フェアでは車両が展示され、防災意識の高揚と防災活動の自覚を呼び起こします。



消防出初式

知ってる？

出初式：我が国で出初式が始まったきっかけは、明暦3年(1657)江戸の大火です。万治2年(1659)1月4日、老中稲場伊予守正則が定火消(じょうひげし)総勢4隊を率いて、上野東照宮で「出初」を行い、氣勢を上げ、焦土の中で苦しむ江戸町人に希望と信頼を与えました。

梅宮神社の甘酒祭り (上奥富 508)

梅宮神社の甘酒まつりは、毎年2月10・11日に行われています。

11日の大祭には、参道と境内に露店が所狭しと並び、一角では「だるま市」も立ちます。

西方囃子や神楽が奉納され、笛や太鼓の音が寒い北風に乗って遠くまで響き渡り、伝統ある甘酒祭りは日暮れまで賑わいます。(p143参照)



甘酒祭り

知ってる？

甘酒祭りの起源：甘酒祭りは、大山祇神(おおやまつみのかみ)の娘・木花咲耶姫命(このはなさくやひめのみこと)が彦火々出見命(ひこほほでみのみこと)を出産したことを喜び、清浄な田で取れた米から濁酒(どぶろく)を造り、天地神に供えたところから始まったといわれています。

奥富ひなまつり (下奥富 1100)

奥富ふれあい館では、毎年、3月3日の桃の節句に合わせて、地域の子どもの成長を願って「奥富ひなまつり」を開催しています。

ひなまつりは女の子の健やかな成長を祈る節句で、年中行事の一つです。その思いを込めて、雛人形の大きな段飾りや吊るし雛、竹の中に飾られた雛人形、明治・大正時代の雛人形を飾ります。自分で作ったお雛様に囲まれ、微笑む子どもたちに、ほのぼのとした地域愛が感じられます。



奥富ひなまつり

弁天堀ほたるまつり

奥富地区の用水路「弁天堀ほたるの遊園地」では、毎年6月上旬から7月中旬頃まで、たくさんのホタルが飛び交います。

水田基盤整備事業の完成後、この用水路は「弁天堀」と名づけられました。

平成23年度「埼玉県水辺再生100プラン」により、ホタルが生息できるように環境が整備されました。毎年数千匹の幼虫が放流され、夜空にホタルが幻想的な光を放ち、乱舞する情景に歓声が上がります。



弁天堀ほたるまつり

奥富地区体育祭

(奥富小学校運動場、下奥富 1019)

毎年10月、市内一斉の指定日に、スポーツの祭典として奥富地区体育祭を開催しています。

子どもから老人まで楽しく参加できるプログラムが組まれています。



奥富地区体育祭

30周年を迎えた「奥富かかし祭り」(奥富小学校南側フラワーロード)

奥富地区では、毎年10月下旬から11月上旬、美しい田園風景を生かした秋の風物詩として、奥富小学校南側のフラワーロード沿いの田を会場にして「奥富かかし祭り」を開催しています。

かかし祭りは、昭和63年(1988)、奥富地区土地改良事業の完成を契機に始まりました。以来、毎年工夫を重ね、奥富地区が誇るイベントに発展しました。子どもたちのキャラクターかかしや世相を反映したかかしなど、手作りのかかしが立ち並びます。平成29年は30周年を記念にして65点の作品が展示されました。

開催初日には、伝統芸能の西方囃子や奥富小学校児童による演奏が行われ、様々な模擬店が出店されました。



奥富かかし祭り大賞
(奥富小学校4年1組)



狭山市長賞
(吹上子袋子供会育成会)



狭山市議会議長賞
(さやま市民大学広報室)



キャラクターかかし
(けやき認定こども園)

かかし作品(平成29年)

奥富地区の施設

子育てプレイス奥富(奥富1100)

子育てプレイス奥富は、のどかな田園風景の中にあり、親子が自由に過ごせる安らぎの場です。主に3歳までの子どもとその父親や母親を対象として、①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談や援助などを実施しており、奥富地区の子育て支援の拠点となっています。



子育てプレイス奥富

市民健康文化センター「サンパーク奥富」(下奥富2552-1)

市民健康文化センター「サンパーク奥富」は、太陽の光と熱など自然エネルギーを利用した環境に優しい施設です。隣接する下奥富河川敷公園に近く、一体となつて利用できるので「サンパーク奥富」と命名されました。



サンパーク奥富

講演会やスポーツ活動に利用できる多目的ホールや学習室などの「文化教養の場」、歩行浴や展望浴、気泡浴の浴槽、ジェットバスを備えた「多目的浴室」、カラオケを備えた大広間「健康増進とふれあいの場」などが整備されています。

奥富環境センター(上奥富897-1)

奥富環境センターはサンパーク奥富の隣地にあります。廃棄物の回収業務や、一般家庭や収集業者が持ち込む廃棄物の分別業務などを行っています。焼却炉は設備されていません。

リサイクルプラザでは、廃棄物の減量化や資源化に向けてのリサイクル品を展示し、販売業務を行っています。

奥富公民館の活動 (下奥富 1007-1)

奥富公民館は、市内に残る美しい田園風景が広がり、四季折々の花や用水路のホタル、奥富かかし祭りなどが楽しめる自然豊かな地域にあります。のどかな環境のもと、様々なサークル活動や講座の開催などが行われ、地域住民の「集いの場」「学びの場」として利用されています。

平成30年度の重点目標は、①現代的課題や地域的課題への取り組み、②公民館の利用促進、③地域との連携、④地域のつながりづくりと伝統文化の継承です。活動の一部を紹介します。

青少年育成事業

子ども向け「子どもチャレンジ」

主に小学生を対象に、体験学習を通して自主性・協調性の育成を目的に毎年開催され、子どもたちは様々なものづくりや社会見学にチャレンジしています。平成30年度は、おいしいパンやお弁当づくり、木工細工教室、スライムの制作を、延べ39名が体験しました。



子どもチャレンジ

放課後「子どもチャレンジ」

小中学校の放課後に集まった子どもたちに、公民館の職員が様々な体験の場を提供しています。遊びだけでなく、地球温暖化を考える機会としてゴーヤによる緑のカーテンづくりを行うなど、参加者は協調しながら、公共心や自主性を育てています。

かかし祭り用「大きな絵の教室」

奥富かかし祭りの時、会場に掲げる「のぼり旗」を制作します。子供会を単位に6本、白地の布に絵の具やペンキで描きます。かかし祭りのPRの一翼を担うので、小学生は真剣に取り組みます。

伝統文化を継承する「繭玉飾り」

かつて、養蚕業が盛んであった奥富地区では、小正月の行事として繭玉を飾っていました。伝統ある地域文化を次世代に継承しようと、

繭玉飾りの体験教室を開催しています。講師やスタッフの昔話に触れながら団子づくりを体験するので、世代間交流に弾みがつきます。

親子で楽しむ「節分まめまき」

子育て中の親と幼児が毎年まめまきを一緒に楽しんでいます。地域文化の継承とともに、親同士の交流、幼児の情操の向上を図っています。平成30年度参加者は47名でした。

一般成人向け事業

防災対策講座・防犯対策講座

安全、安心な地域社会をつくるには、自助・共助の心構えが大切です。本講座は地域の防災・防犯力の向上と安心できる地域づくりを担っています。災害時の一次救命講座も開催しています。



防犯対策講座

気ままにウォーキング

令和元年度は「雑司が谷七福神めぐり」に出掛けました。健康づくりとしてのウォーキングが定着し、参加者の親睦も深まりました。

奥富の十二支めぐり

奥富地区を東側編と西側編に分け、年2回開催しています。田園風景の広がる奥富地区の魅力を再発見しながら、健康づくりにつながるウォーキングと参加者相互の親睦を図っています。平成30年度の参加者は延べ29名でした。

高齢者向け事業

「奥富サロン」と「おくとみ茶話会」

高齢者のコミュニケーションと健康維持を目的に、憩いの場として開催しています。いずれも運営スタッフは地域のボランティアです。

高齢者が学ぶ「熟年教室」

教室参加を通じた高齢者の引きこもりなどの予防と、生きがいを実感できる場の提供を目的とし開催しています。令和元年度は9回開催し多くの高齢者が参加しました。講演や脳トレ体操、バスハイクなど盛り沢山の企画に、参加者は楽しく学習し交流を深めています。平成30年度9回の参加者は延べ318名でした。

奥富地区の小・中学校

狭山市立奥富小学校 (下奥富 1019)

明治7年(1874)、瑞光寺を校舎に上奥富学校が、広福寺を校舎として奥富学校が創立しました。同17年(1884)、奥富学校は発陽学校と称し分校となり、同22年(1889)、奥富村誕生と同時に、奥富尋常小学校を開校、同36年(1903)、現在地に校舎を新築しました。大正2年(1913)、高等科を併設し奥富尋常高等小学校と称し、昭和16年(1941)に奥富村立奥富国民学校、同22年に奥富村立奥富小学校、同29年に狭山市立奥富小学校になりました。同50年新狭山小学校の開校により一部の学区は分離しました。平成27年創立140周年を祝いました。教育目標は「豊かな心を持ち、進んで学ぶ子」です。令和元年度の児童数は320人、11学級です。



奥富小学校

狭山市立奥富中学校 (閉校)

昭和25年(1950)創立の奥富中学校は、昭和37年(1962)東中学校の開校により入間川中学校と統合されて、東中学校の分校(奥富文教場)となりました。同40年に閉校しました。

西武学園文理小学校 (下奥富 600)

西武学園文理小学校は小中高一貫教育を行っています。小学校では「すべてに誠をつくし、最後までやり抜く強い意志を養う」という教育方針をベースにしています。令和元年度の児童は345名です。



西武学園文理小学校

西武学園文理中学校 (柏原新田 311-1)

西武学園文理中学校は、平成5年(1993)に開校、小中高一貫教育により「全員が一流大学に進学する」ことを目標に教育しています。敷地内には、西武文理大学、西武学園文理高等学校が併設されています。

奥富地区の市指定文化財

梅宮神社の文化財 (上奥富 508)

無形民俗文化財「甘酒祭り」

毎年2月10日・11日、甘酒祭り(実際は濁酒(どぶろく))が催されます。(p.136参照)

承和5年(838)、京都の梅宮神社(右京区梅津)から伝承されました。10日は宵宮で「座揃式」が行われ、翌日は「頭渡し」と「頭送り」が行われます。甘酒祭りの特徴は頭屋制という仕組みです。9組が順番に1年ごとに担当する輪番制で、当番が濁酒を作り祭礼を取り仕切ります。



甘酒祭り「座揃式」

頭屋制という運営方法が、関東地方の他に見られないことから埼玉県無形民俗文化財に指定されました。

有形文化財書跡「梅宮神社神号」

「梅宮神社」と骨太の筆使いで書かれた社号が、ケヤキ板に金粉に膠を混ぜた金泥で浮き彫りされています。縦43.7cm×横115.6cmの大きさと、右上に「善身堂」の雅印を押し、左下に「鵬齋亀田興揮書」「長興之記」「鵬齋」の落款があります。



梅宮神社社号額

知ってる?

亀田鵬齋(かめたほうさい、1752~1826):江戸時代の草書の名手で儒学者です。折衷学派に属し、寛政2年(1790)の「寛政異学の禁」で異端の筆頭とされました。越後国出雲崎の禅僧良寛(1758~1831)と出遭い、「鵬齋は越後帰りで字がくねり」と川柳に詠まれています。

有形文化財絵画「桃園三傑図」

文政3年(1820)、江戸浅草田原町の境屋伝蔵が奉納した巨大な絵馬です。大きさは縦125cm×横180cmです。中国三国時代の英雄である劉備玄德(りゅうへいげんとく)と関羽(かんう)、張飛(ちょうひ)の3人が桃

の木の下で会い、兄弟の盟を結ぶ様子を描いています。作者は雲谷派三世・雪山堤等琳です。三世等琳は本姓を月岡吟三、初号は秋月、後に秋榮と改め、さらに雪山、雪館と号しました。後年、江戸深川に住み、法眼に叙せられ、雪舟十四世筆孫と自称しました。



桃園三傑図

有形文化財工芸品「梅宮神社鰐口」

梅宮神社の別当寺・梅宮寺の鰐口で、片面だけが残っています。鰐口には「奉武州入東郡奥留郷西方滝梅宮鰐口 応永三十三年(1426)五月三日」の銘があり、梅宮神社が奥留郷西方滝に所在したこと、入間郡を入東郡と呼んでいたことがわかります。



梅宮神社鰐口

・梅宮神社 (祭神はニニギノミコトなど)

梅宮神社は、承和5年(838)京都の梅宮大社を分祀し勧請しました。別当寺の梅宮寺は大智寺(坂戸市石井)の末寺でした。明治元年(1868)、梅宮寺を廃寺して梅宮神社と改称しました。

上奥富村や下奥富村、東三ツ木村、沢村、田中村の総鎮守で、安産に靈験あらたかなことから婦人の参詣が多いと言われてきました。嘉永6年(1853)、神社が焼失し、慶応元年(1865)、本殿と拝殿を再建しました。

広福寺の文化財 (下奥富 844)

有形文化財建造物「広福寺山門」

広福寺の山門は関東地方では珍しい竜宮造りの様式で、文化2年(1805)に創建されました。山門は鐘楼と一体化し、入母屋造りの瓦葺き屋根で、袴腰は漆喰の白壁に塗り、上層には高欄を回らしています。安永3年(1774)に铸造された鐘が吊るされています。



広福寺山門

・広福寺 (本尊は薬師如来坐像)

広福寺は星野山中院無量寿寺(川越市小仙波)の末寺です。永禄11年(1568)、尊栄沙門が創建したといわれます。

徳川家光は何度か鷹狩に訪れ、御茶を飲まれたことから「お茶屋寺」と呼び、境内の見事な紅梅を観て「御詞の梅」と、井戸を「梅の井」と名付けたと言われています。

幕末には、勤王の志士・清川八郎(1830~1863)や川越出身の西川鍊造(1807~1862)が密議をこらしたそうです。



御詞の梅と梅の井

瑞光寺の絵画「紙本着色両界曼荼羅」(上奥富 354)

大日如来を中心に十二の区域に分け、理の世界を描く胎蔵界曼荼羅(たいぞうかいまんだら)と大日如来の悟りの内容を九つの区域に分けた智の世界を描く金剛界曼荼羅(こんごうかいまんだら)



胎蔵界曼荼羅



金剛界曼荼羅

の2幅の絵画(縦90.5cm×横81.0cm)で、室町時代に制作されたと推定されています。

・瑞光寺 (本尊は大日如来)

寺伝によると、瑞光寺(ずいこうじ)は、大同2年(807)、国道16号線南側の新堀に創建されましたが、度々の戦禍で現在地に移ったといわれています。本尊は石仏の胎蔵界大日如来坐像で、「理」を表する法界定印(両手のひらを重ねて親指の先をつける)を結んでいます。明治7年(1874)、瑞光寺に上奥富学校が開設されました。

毎年8月「観音さま」と「地藏さま」という祭りが行われています。



瑞光寺

史跡「生越道々標」(下奥富 496-3)

道標は、国道16号線の新狭山駅入り口交差点付近にあります。江戸時代の寛政2年(1790)、生前に善を施せば、死後に極楽往生ができ

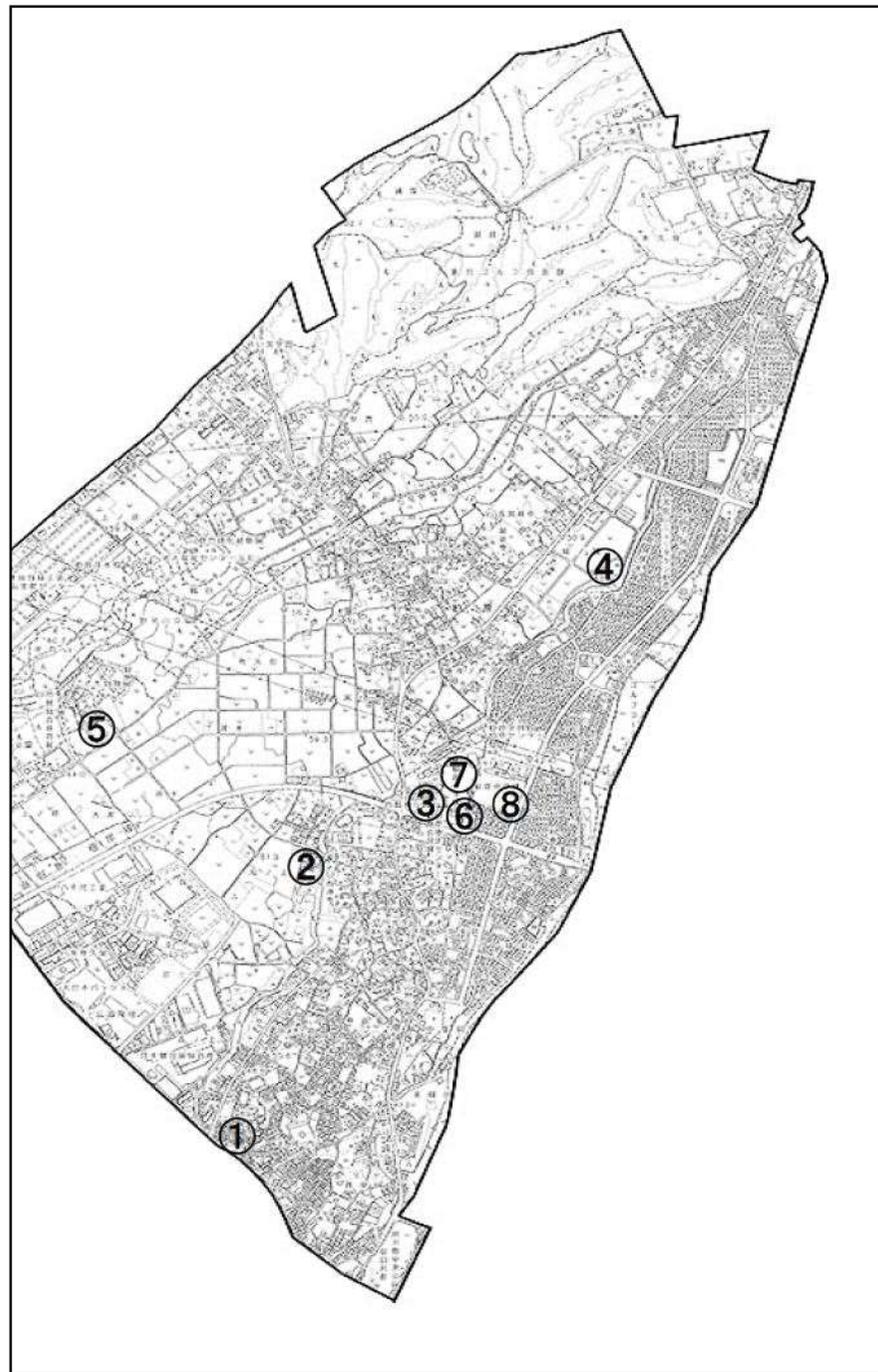
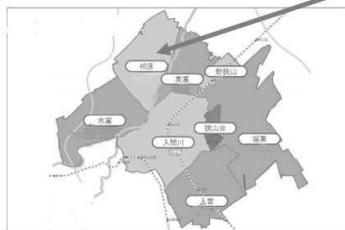
6. 柏原地区

景勝地等

- ① 影隠地蔵 柏原69付近
- ② 西浄寺 柏原1059
- ③ 柏原白鬚神社 柏原1153
- ④ 城山砦跡 柏原2376
- ⑤ 童句碑 柏原864

公民館等

- ⑥ 柏原公民館 柏原1154
- ⑦ 柏原小学校 柏原1141
- ⑧ 柏原中学校 柏原2520-11



柏原地区の概要

柏原地区は狭山市の北寄りに位置し、日高市や川越市に接しています。地区の西寄りには昭和40年代後半に狭山工業団地(埼玉県企画)が、北東寄りには昭和55年から柏原ニュータウンが開発されて、居住人口が飛躍的に増加しました。地区の面積は約636haです。

北寄りに位置する狭山市立智光山公園には、市民総合体育館、都市緑化植物園、こども動物園、テニスコートなどが設置されています。川越市寄りには名門ゴルフ場(東京ゴルフ倶楽部、霞が関カンツリー倶楽部)があり、入間川左岸の河川敷には公園が連なっています。

柏原村

明治22年(1889)町村制が施行され、柏原村が誕生しました。当初の県の方針では、柏原村は笠幡村、的場村、安比奈新田村(以上、現川越市)と合併させる予定でしたが、これに反対し地理的に近い理由から上広瀬、下広瀬、根岸、笹井との合併を希望しました。しかし、希望が受け入れられず、高麗郡柏原村一村での独立となりました。

柏原ニュータウン(大規模住宅団地)

昭和55年(1980)、入間川の川筋に沿った地域が西武不動産(西武鉄道グループ)により新築一戸建ての分譲を始めました。総面積56ha、戸数1,333戸の計画で、2階建て住宅が整然と配置された美しい街並みです。2000年埼玉県より「彩の国景観賞(奨励賞)」を受賞しました。



柏原ニュータウン

柏原地区地名の由来

柏原

柏原村は鎌倉時代の文献に始めて出てきます。鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』文治5年(1189)7月の条に、奥州藤原泰衡の征伐に向かう畠山次郎重忠に従った5騎の中に「柏原太郎」の名があります。彼

は柏原を本拠とする武士なので、姓を「柏原」にしたと推察されます。

上宿・下宿

柏原地区は上宿(うわじゅく)・下宿(したじゅく)に分かれています。上宿は台地の高い地域で、下宿は台地下の低地です。

柏原地区の自治会

柏原地区自治会連合会は8つの単位自治会(第一区、第二区、第三区、第四区、第五区、第六区、第七区、第八区)で構成しています。

連合自治会や単位自治会では会員の交流を図る目的で、納涼まつり(盆踊り)、敬老会、そして区民祭を実施しています。毎週曜日を決めて防犯パトロールを実施する自治会もあります。

柏原地区の人口

柏原地区の人口(令和1年1月1日現在)は11,484人(男性5,628人、女性5,856人)で、世帯数は4,939世帯です。狭山市の総人口に占める割合は7.7%です。



老人福祉センター「宝荘」(柏原612)

宝荘は昭和44年(1969)、高齢者に憩いの場を提供する目的で智光山公園都市緑化植物園の隣に開館しました。

名称は、「お年寄りには国の宝」との考えから命名されました。利用対象者は60歳以上の方と介助する方です。

入浴施設、集会所(54畳和室、舞台付)、和室(2室)などがあります。ダイアプランにより、入間市、所沢市、飯能市在住の方も無料で利用できます。



老人福祉センター宝荘

知ってる?

ダイアプラン：狭山市と入間市、所沢市、飯能市の4市は、1988年埼玉県西部地域まちづくり協議会(ダイアプラン)を組織し、図書館や各種公共施設の相互利用やごみ処理等の協定を結んでいます。魅力ある都市圏を創造するために協力して活動を行っています。

柏原地区の自然・公園

柏原地区には、智光山公園や河川敷中央公園、街区公園など 25 か所（総面積約 63.1ha）の公園が設けられています。

柏原地区の「狭山市の景観地 50」

柏原地区では、影隠地蔵、西浄寺、柏原白鬚神社、城山砦跡と階段、童句碑の 5 か所が景観地に選ばれています。

狭山市立智光山公園（柏原 561）

智光山公園（総面積 53.8ha 東京ドーム約 11 個分）は埼玉県内の市立公園として、面積が最大の総合公園です。昭和 52 年（1977）整備を開始し、昭和 58 年市民総合体育館が、昭和 62 年都市緑化植物園、その翌年こども動物園が公園内に整備されました。園内にはキャンプ場、へら鮎釣り場、子ども向けアスレチック広場、テニスコート 16 面、花菖蒲園などもあり、市民の憩いの場所です。（p22 参照）

こども動物園（柏原 864-1）

サル、ウマ等哺乳類からフラミンゴ、カモ等の鳥類、カメやヘビなど爬虫類、両生類そしてコイやウグイ等の身近な魚類を展示しています。テンジクネズミやヒヨコなど小動物とのふれあい体験もできる、子どもに人気の動物園です。「カピバラ温泉」、「サル山温泉」では冬季の生態が観察できます。



こども動物園

都市緑化植物園（柏原 622）

バラ園や薬草園など約 130 科 550 種以上の植物が植えられています。春と秋はバラ、夏はノウゼンカヅラ、秋はコスモス、フヨウ、冬はウメ、ロウバイなど四季折々の花と緑を楽しむことができます。植物界の“パンダ”と呼ばれるハンカチの木は 4 月末～5 月上旬が見頃です。



ハンカチの木

花と緑に関する園芸相談や展示会、講習会などを開催しています。

花菖蒲園（柏原 561）

公園入口近くの花菖蒲園（面積 2,600 m²）と植物園近くの大頭龍池横の花菖蒲田（面積 600 m²）があります。毎年 6 月頃、紫、黄、白など約 3,800 株の花菖蒲が美しい花を咲かせます。



花菖蒲園

前山の池「へら鮎釣り場」（柏原 654）

へら鮎釣り場は 2015 年リニューアルオープンしました。ハリの数、エサの種類、使用する竿は 1 本などの釣り規定があります。毎日大勢のファンが訪れ釣りを楽しんでいます。隣では金魚釣りもできます。

市民総合体育館（柏原 555）

総合体育館には、アリーナ（バスケットボールなど）、柔道場、剣道場、弓道場、卓球室、トレーニングルームなどがあり、打合せには大会議室、研修室、小会議室を利用することができます。団体による競技会や大会などの会場として利用されています。（p29 参照）

テニスコート（柏原 561）

人口芝のコートが 16 面、他に壁打ちの練習コートもあります。市内や市外の各種大会が開催されている人気のテニスコートです。

キャンプ場（柏原 561）

テントサイト 8 面、宿泊棟 2 棟があり、有料ですがバーベキューパーティができ、中央エリアにキャンプファイヤー場が 1 つあります。隣接してキャンプ場利用者用の駐車場があります。

わんぱくの森（柏原 561）

わんぱくの森は、幼稚園の年中から小学生低学年を対象としたフィールドアスレチックで、9 種類の木製の遊具もあります。

キャンプ場の奥、公園の北西部寄り周囲より一段低いところに位置しています。



わんぱくの森

知ってる？

タイムカプセル：智光山公園の銘石の下に 1981 年の狭山市民から 2200 年の狭山市民へのメッセージが入ったタイムカプセルが埋められています。内容は市長のメッセージ、市の予算書、児童・生徒の作品、事務用品等 151 種類など 413 点が納められています。

河川敷中央公園 (柏原 2910)

河川敷中央公園（面積約 6.5ha）は、昭代橋を挟んで広がっています。公園には少年野球場、多目的広場、滑り台、ブランコ、砂場があります。休日には親子連れ、若者などがスポーツ、ゲーム、散歩だけでなく、キャンプ、バーベキュー、釣りなどを楽しんでいます。駐車場とトイレが整備されています。11月に開催される入間基地航空ショー見学の穴場スポットです。



河川敷中央公園

柏原河川敷公園 (柏原 3357 先)

柏原河川敷公園（面積約 5.2ha）は、入間川左岸のいるまがわ大橋あたりから上流域にあるスポーツ公園です。

サッカー場、少年野球場、多目的グラウンド、その他があります。利用者登録をして抽選・予約申込をすれば無料で利用できます。



柏原河川敷公園

サイクリングロードと桜並木 (柏原 3258 先)

入間川左岸の入間川サイクリングロードは入間大橋（川越市）から豊水橋（狭山市）までの 22.6km です。狭山市区域の距離は約 6km です。昭和 61 年（1986）に整備されました。狭山大橋からいるまがわ大橋の間約 600m には桜並木が連なっています。3 月下旬から 4 月上旬にはみ



サイクリングロードと桜並木

ごとなピンクの花が咲き、サイクリストや散歩する人たちは桜のトンネルを楽しんでいます。サイクリングロードの路面には、狭山市の PR タイル絵が埋め込まれています。(p156 参照)

柏原地区のイベント・祭り

柏原祭り (柏原公民館、柏原 1154)

毎年 10 月、柏原公民館を会場に開催される柏原祭りは、青少年育成会議や自治会連合会、公民館が実行委員会を組織して実施しています。当日は地区内の老若男女が集まり、模擬店、ステージ上ではおやじバンドなどの演奏や演技披露、抽選会もあります。平成 30 年の参加者は約 800 名でした。



柏原祭り

柏原地区ソフトバレーボール大会 (上奥富運動公園)

9 月に狭山市総合体育館で開催される「ソフトバレーボール大会」への出場を目指して、上奥富運動公園にて地区大会を開催しています。平成 28 年度は自治会から 8 チームが参加し揃いのユニフォームで白熱した試合を展開していました。

柏原地区ふれあい体育祭 (柏原小学校、柏原 1141)

毎年 10 月頃に柏原小学校を会場として地区体育祭を開催しています。リレーや玉入れなど沢山の種目で参加選手はもちろんのこと、応援も力が入り熱戦が繰り広げられています。自治会ごとに順位を上げようと事前練習もしているようです。



ふれあい体育祭

防災キャンプ (柏原小学校、柏原 1141)

柏原小学校体育館を会場に小学生を対象とした泊りがけの防災キャンプを防災まちづくり推進委員会主催で実施しています。有事の際に避難所に集まって生活するための訓練です。消防団、西武文理大学、民生委員・NPO 団体の支援で地域一丸となって訓練しています。

森のろうそくと音楽の夕べ「灯の川」(入間川新富士見橋下流)

灯の川の会場は、入間川にかかる新富士見橋より下流左岸の河川敷広場です。

入間川源流の名栗の森林保全事業で伐採された間伐材を利用して人の背丈ほどの大きな篝火(かがりび)を作り、川筋にそって200本並べて灯します。

一方、入間川七夕まつりで使用した竹飾りの竹で器500個を作りろうそくを立てて灯します。会場では「音の灯」では和太鼓や楽器演奏が競演し、「美味の灯」では地元食材による模擬店がグルメを競います。

新富士見橋からみる「灯の川」の会場は幻想的です。(p45 参照)



灯の川

柏原白鬚神社のまつり (柏原 1153)

毎年10月下旬、柏原白鬚神社秋季例大祭が行われます。当日は神社の氏子の役員により祭事が催されます。

毎年ではありませんが、柏原獅子舞保存会により「柏原の獅子舞」(一人立ち三頭獅子)が奉納されていました。

知ってる?



豊水橋付近



昭代橋付近



下川原公園付近

入間川左岸サイクリングロード(正式名: 県道川越狭山自転車道)のタイル
(狭山市内は豊水橋と西武文理大学付近の間、約6km)

柏原公民館の活動 (柏原 1154)

柏原公民館は地域住民の「学びの場」「集いの場」として活用されています。平成30年度の重点目標は、①現代のおよび地域の課題への取り組み、②地域の人材や資源を利用する、③災害や防災への取り組み、④体験型教室の開催、⑤サークル活動を活かした地域貢献活動の推進でした。活動の一部を紹介します。

青少年育成事業

小中学生を対象に「お米作り体験教室」

小・中学生の親子を対象に、6月から約6か月間、田植えから収穫までの米作りを体験します。田植えや草取り、鎌を使った刈り取りなど、日頃出来ない体験に子供たちは興奮しています。

「食」の大切さと農作業の大変さを学びます。平成30度の参加者は約125名でした。



お米作り体験教室

夏休み「開放学習室」

夏休み期間、個人学習する場として空き部屋を開放しています。

「夏休み体験教室」

夏休みの期間、子どもたちを対象に体験型教室を開催しています。学校とは異なる世代間交流と学びの場を提供しています。

体を使う「ピンポン教室」や「工芸教室」、ものづくりを学ぶ「陶芸教室」、「料理教室」、「弁当教室」「囲碁教室」など、地域の方が先生となり、子どもたちや保護者が楽しんでいます。

「冬休み体験教室」

冬休みの体験型教室では、「こども凧教室」と「パン作り教室」を開催しています。凧教室では「日本の凧の会・江戸凧保存会」に所属する講師が、子どもたちに凧作りと凧揚げの楽しさを伝授しています。また、「パン作り教室」では親子がピザやウインナーロールに挑戦し、個性ある作品を完成させています。

ジャガイモづくり体験教室

柏原の農家の畑を借りて、親子でジャガイモづくりを体験しています。3月に種イモを植え、6月に収穫します。大変人気があり、平成30年度は25名が参加しました。



ジャガイモづくり体験教室

大人の「農業実践教室」

家庭菜園に挑戦している方々から好評を得ています。夏野菜の作付けや育て方、収穫方法など、基本的農作業について勉強しています。

屋外で「防災キャンプ」

防災意識の高まりを願って、災害時を想定して、避難場所の運営方法を学び、避難所生活を体験します。備蓄食品の食事、応急救護・搬送の訓練、情報の伝達法、健康管理法など、広範囲に学習します。柏原防災まちづくり推進委員会や西武文理大学、NPO法人ユーアイネット柏原と連携して取り組みます。



防災キャンプ

高齢者が学ぶ「まだまだ青年講座」

概ね60歳以上の方々を対象として開催しています。平成30年度は10回の講座を開催し、延べ約180名が参加しました。

自宅でできる健康体操

受講生が講師となって、自宅でできる健康体操を学びます。無理せずマイペースで楽しみながら汗を流す、手軽な体操なので参加者に好評です。地域デビューのまず一歩です。

ウォーキングで柏原の歴史巡り

柏原の歴史を学んだ後に、地域内をウォーキングして史跡を巡ります。参加者は相互の交流と親睦を深めており、好評を得ています。

柏原地区の小・中学校

狭山市立柏原小学校 (柏原 1141)

柏原小学校は、明治8年(1875)1月14日に開校しました。同22年には柏原尋常小学校に、大正6年(1917)に柏原尋常高等小学校を設置、昭和16年(1941)に柏原国民学校と改称、同22年(1947)に柏原小学校と改称、同29年(1954)に狭山市立柏原小学校と改称しました。同50年(1975)「柏原教育100周年記念式典」を挙行了しました。教育目標は笑顔で『なかよく』『かながえ』『たくましく』です。令和元年度の児童数は525名、20学級です。



柏原小学校

狭山市立柏原中学校 (柏原 2520-11)

柏原中学校は、昭和57年(1982)4月狭山市立西中学校から分離して、開校しました。通学区域は柏原地区です。平成23年(2011)11月、「開校30周年記念式典」を挙行了しました。学校の目標は「今を精いっぱい生きる 凡事徹底(ほんじてってい)」です。令和元年度の生徒数は252名、8学級です。



柏原中学校

- * 西武文理学園中学校 (柏原新田 311-1) : 入間川左岸にありますが、奥富地区に属しています。(p142 参照)
- * 西武文理学園高等学校 (柏原新田 311-1) : 入間川左岸にありますが、奥富地区に属しています。(p64 参照)
- * 西武文理大学 (柏原新田 311-1) : 入間川左岸にありますが、奥富地区に属しています。(p165 参照)

柏原地区の市指定文化財

白鬚神社の文化財 (柏原 1153)

絵画「韋駄天の額」

明和3年(1766)に奉納された巨大な絵馬(幅179cm、左右の高さ113cm、中央の高さ131cm)です。足の速い韋駄天(いだてん)が宝棒を振り上げて仏舎利を奪った魔王を追い掛ける姿が描かれています。筆者の勝田竹翁(名は陽溪)は、江戸時代初期の狩野派絵師です。

工芸品「銅造御正体(懸仏)」

柏原村の鋳物師・神田氏が、御神体の円鏡に本地仏の十一面観世音菩薩坐像を鋳造しました。御正体とは円鏡に仏像を鋳造したもので、懸仏(かけぼとけ)とも呼びます。天正18年(1590)から慶長16年(1611)までの懸仏5面が所蔵されています。

絵馬「子返しの図」と「陰陽和合図」

「子返しの図」と「陰陽和合図」の絵馬(それぞれ縦44.3cm、横81.7cm)は、一対と考えられます。江戸末期、小谷野勝平が富士浅間神社に奉納しました。

昔、生活が苦しい時代、生まれたばかりの子を間引くことが行われていました。「子返しの図」は、子を間引くことを戒めるための絵馬です。右に子返ししようとする女を、左に吹き出しのように鬼女(女の心)を描いています。

絵馬「陰陽和合図」には3つの宝珠と夫婦が描かれています。子どもは父母(陰陽)の和合で生まれるものであることを表現しています。富士浅間信仰に基づく出産や孝行の思想を絵解きしています。

- ・白鬚神社(主祭神はサルタヒコノミコト)
白鬚神社は元禄10年(1697)以前の創立と考



子返しの図



白鬚神社

えられます。現在の建物は、天保14年(1843)に再建されました。別当寺は本山派鎮護山宮本院で、篠井村観音堂の配下でした。明治元年(1868)宮本院は廃寺となり、白鬚神社と改称しました。同4年柏原村の総鎮守となりました。境内には、御嶽神社や稲荷神社、八坂神社、日枝神社、浅間神社が合祀されています。

西浄寺の文化財絵画「ねずみの図」(柏原 1059)

扁額「ねずみの図」には、沢山のねずみが打ち出の小槌を制作している様子が描かれています。作者は西浄寺の法仙和尚と親交のあった明治画壇の大家・河鍋暁斎(1831~1889)です。市域には、暁斎の絵が数多く残されています。



ねずみの図

・西浄寺(本尊は大黒天立像)

西浄寺は江戸湯島の宝林山大悲院霊雲寺(文京区湯島)の末寺です。元文5年(1740)、高健法印が中興開山しました。大黒天のお使いがネズミであることから甲子寺(きのえねでら)と言われ、甲子講(きのえねこう)が盛大に行われていました。高さ1丈の宝篋印塔は、第8代将軍徳川吉宗(1684~1751)の次男・徳川宗武(1716~1771)が造立しています。

知ってる?

河鍋暁斎(かわなべきょうさい):現在の茨城県古河市で藩士の次男として生まれ、2歳の時家族とともに江戸に出て、幕末から明治前半に江戸で活躍した狩野派の画家です。注文を拒まず、仏画や残酷な絵、風刺画などあらゆるジャンルを描いています。河鍋暁斎記念美術館(埼玉県蕨市南町)では、多くの下絵が展示されています。

円光寺の彫刻「銅造聖観世音菩薩立像」(柏原 1027)

銅造聖観世音菩薩立像(高さ41.5cm)は、元亀3年(1572)柏原村の鋳物師神田氏が「庚申供養」のために制作しました。(p165参照)立像の背面に「敬白 大工神田 武州高麗郡柏原円光寺庚申供養」と刻まれています。菩薩は通肩の法衣を着て髻(もとどり)を結び、右手は恐れを取り除き人々に安心を与える表現として、指を伸ばして手の平を見せる施無畏印(せむいいん)を結んでいます。

・円光寺(本尊は不動明王坐像)

円光寺の創立時期は不詳ですが、文政12年(1829)の「過



聖観世音菩薩立像

去帳序文』には仁安3年(1168)に覚鑿(かくぼん)が創立した、と記しています。また、『新編武蔵風土記稿』によれば、「中興開山は妙浄で、彼が宗旨を真言宗に復古して、享保元年(1716年)に亡くなった」とあります。

永代寺の彫刻「木造不動明王及び二童子立像」(柏原2492)

不動明王(高は72.2cm)は両眼を大きく開き、右手に剣、左手に羂索(けんさく)を持っています。そして、眷属の矜羯羅童子(こんがらどうじ)と制吒迦童子(せいたかどうじ)を従えています。その姿は躍動感にあふれており、市内にある不道明王像の中で最高傑作とされています。



不動明王と二童子立像

・永代寺(本尊は虚空蔵菩薩坐像)

永代寺は、入間郡勝呂村大智寺(坂戸市石井2331)の末寺です。「新編武蔵風土記稿」に「開山は正僧坊で開基は新田義貞」とあります。江戸時代、本山の大智寺は60有余の寺を擁していました。昭和53年(1978)本堂と庫裏を新築しました。

史跡「城山砦跡」(柏原2346-2)

城山砦跡(面積約7,000㎡)は入間川左岸の河岸段丘上にある市内唯一の中世の城郭跡です。



城山砦跡

『新編武蔵風土記稿』によると、天文15年(1546)「河越夜戦」の時、上杉憲政(1523~1579)が陣を構えたといわれています。川越は東方向に位置しています。

城山砦や柏原城、上杉砦の名を記す記録は見当たりません。南北朝時代に足利基氏が入間川に滞陣した時の出城との説もあります。『吾妻鏡』には、柏原太郎の館跡とも記されています。謎深い砦跡です。

本郭や二の郭、土塁、深さ3mの空堀跡が残り、奈良・平安時代の土器類が出土しています。しかし、砦を築いた時期が特定できなかったことから、埼玉県指定文化財として登録できませんでした。

知ってる?

河越夜戦: 室町時代、三大夜戦の一つと言われる河越城をめぐる戦です。河越城主の北条(福島)綱成の軍約3,000は、扇谷上杉朝定と山内上杉憲政、古河晴氏の連合軍約80,000と対峙します。綱成は北条氏康の援軍約8,000とともに連合軍に奇襲を掛け勝利しました。これにより、築城以来約90年続いた河越城は扇谷上杉氏の支配を終え、北条氏は関東に勢力を広げました。

増田家の工芸品「大水作鎗」(柏原1656)

大水作鎗(全長67.8cm、穂先長さ23.5cm)の茎(なかご)に鎗鍛冶の増田大水正金(~1425)が「武州柏原住大水作」と刻んでいます。大和国(奈良県)郡山出身の増田家は正金以来4代、125年にわたり鎗鍛冶を生業としました。屋敷内に金山神社を祀っています。(P165参照)

小谷野家の絵画「仙人の図」(柏原1365)

仙人の図は柴田是真(1807~1891)の作で、中国の隋の時代(581~618)の仙人鉄拐(てつかい)と、ガマを飼いならす術を使う蝦蟇(がま)が、一幅ずつ描かれ、2副で1対をなしています。

知ってる?

柴田是真: 柴田是真(しばたぜしん)は江戸で生まれ、幕府蒔絵師(まきえし)の古満寛哉(こまかんさい)に蒔絵を、円山派の絵師・鈴木南嶺(すずきなんれい)と岡本豊彦に四条派を学び、絵画や蒔絵、漆絵に才能を発揮しました。江戸時代末から明治中期に活躍し、入間川村の豪商綿貫家のお抱え絵師であったと伝えられています。

無形民俗文化財「柏原祇園囃子」(柏原地区)

柏原祇園囃子は入間市高倉(神田若狭流)の指導を受けて村祭りの時に演じていました。昭和48年(1973)柏原郷土芸能会を結成して伝承しています。同50年車付き屋台が完成して、演奏者は屋台に乗り巡行しています。白鬚神社の元旦祭や境内の八坂神社の夏祭り「天王さま」で奉納しています。



柏原祇園囃子

・八坂神社(祭神:スサノオノミコト)

八坂神社は白鬚神社境内にあります。創建の時期はわかりませんが、元禄11年

(1698)以前です。牛頭天王社(ごずてんのうしや)と称していましたが、明治2年(1869)八坂神社に改称しました。同45年、北本宿から移転しています。同時に神明神社と愛宕神社の2社を合祀しました。

史跡「影隠地蔵」(柏原 204-1)

影隠地蔵は、信濃坂下の奥州道交差点付近に立つ石仏です。慶応4年(1868)明治政府の廃仏毀釈によって木造の地蔵立像が破却されたために、同7年、石造の地蔵を立てました。

影隠地蔵の謂れは、木曾義仲の嫡男清水冠者義高が源頼朝の追手から逃げる際に、地蔵の後ろに隠れて難を逃れたという伝説に由来しています。



影隠地蔵

国登録有形文化財

東京ゴルフ倶楽部ハウス(柏原 1984)

東京ゴルフ倶楽部ハウスは、建築家アントニン・レーモンド(チェコ出身)の設計により、昭和38年(1963)に建てられました。1階は鉄筋構造、2階は木構造です。平成30年(2018)狭山市初の国登録有形文化財(建造物)として登録されました。

知ってる?

登録有形文化財：指定文化財と異なり、国に申請し登録される制度です。建造物や美術工芸品が対象です。建造物の場合は「築50年以上経過し歴史的景観に寄与する」、「造詣が規範となる」や「再現が容易でない」などの条件がありますが、所有者が外観の変更や利用することができます。

知ってる?

名のある坂：狭山市内にある名のある坂11か所のうち、柏原地区には2か所あります。これらの坂の坂上と坂下には標識が設置されています。

- ・ **甲子坂**(きのえねさか)：西浄寺の北側の坂。高低差8m、距離140m。西浄寺で甲子講が開かれていたことから、「甲子坂」と名付けられたそうです。
- ・ **甲斐屋坂**(かいやさか)：柏原白山神社の西300mの坂。高低差13m、距離220m。昔、甲斐国(現山梨県)の戦に負けた落人が、この辺りに住み着いたことから、甲斐に通じる坂道を「甲斐屋坂」と名付けたそうです。

(『狭山市史 民俗編』、「坂学会」ホームページより)

柏原地区の歴史

武将「柏原太郎」

柏原太郎は、『吾妻鏡』の文治5年(1189)の項に記載されています。源頼朝が奥州藤原家4代目の泰衡(やすひら)を攻めるに当たって、先陣を勤めた畠山重忠の従軍5騎の一人が柏原太郎です。太郎は、柏原郷を領有する在地領主であったと推測されています。城山砦(柏原砦)は、柏原太郎の居城であったとも伝えられます。

入間川の砂鉄と鎗鍛冶

柏原に鍛冶が定着したのは、原料の砂鉄の入手が容易であったことが上げられます。加治丘陵の地層の上層部第4紀洪積世の豊岡層は、砂鉄の宝庫であったといわれます。入間川の砂鉄は他産地と比較し、砂鉄の含有量が圧倒的に多かったようです。柏原の武将が鎗鍛冶業を奨励したのでしょうか。

鎗鍛冶師「増田大水正金」

京都や大和国には、鍛冶を生業とする人達が多数いました。応永年間(1394~1427)に、大和から鍛冶を業とする人が柏原郷へ移住してきました。江戸時代後期に編纂された『新編武蔵風土記稿』の柏原村の項に、柏原村上宿に住む増田大水正金(~1425)が鍛冶を業とし、正金以後4代にわたり鍛冶に携わったとあります。増田家に伝わる正金作の鎗(全長67.8cm、穂先の長さ23.5cm)は応永32年(1425)の作で、茎(なかご)に「武州柏原住大水作」と銘文が刻まれています。

神田鋳物師

柏原村下宿の名主長谷川家の系図には、江戸時代、柏原鋳物師(いもじ)の祖・神田図書が、柏原村金井林(智光山公園東側の一角)に居住していたとあります。神田鋳物師は技術が高く、狭山市内外に文化財指定の作品が所蔵されています。(p161参照)いまでも、柏原の畑からは鋳造時に飛んだ金屎(かなくそ)というスラッグが出土しています。

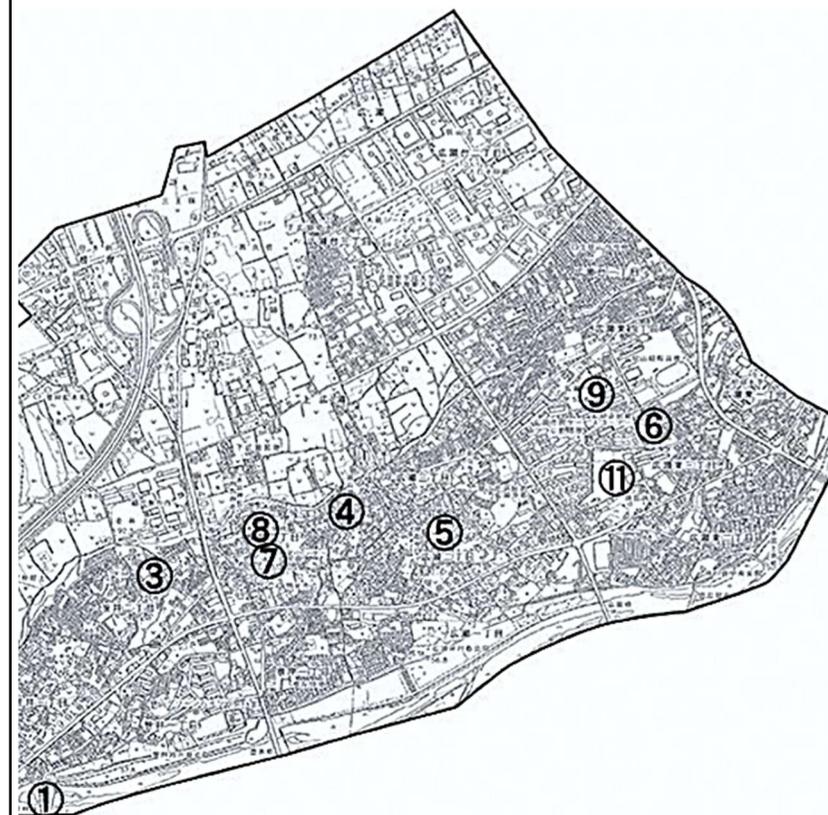
7. 水富地区

景勝地等

- | | |
|-------------|-----------|
| ① 笹井堰 | 笹井1丁目先 |
| ② 篠井白鬚神社 | 笹井1962 付近 |
| ③ 宗源寺 | 笹井2-17-8 |
| ④ 用水路・根堀 | 広瀬3丁目 |
| ⑤ 広瀬神社・大ケヤキ | 広瀬2-23-2 |

公民館等

- | | |
|------------|-----------|
| ⑥ 広瀬公民館 | 広瀬東3-34-1 |
| ⑦ 水富公民館 | 根岸2-17-3 |
| ⑧ 水富小学校 | 根岸2-22-1 |
| ⑨ 広瀬小学校 | 広瀬東4-4-1 |
| ⑩ 笹井小学校 | 笹井1700 |
| ⑪ 西中学校 | 広瀬東3-23-1 |
| ⑫ 狭山特別支援学校 | 笹井2958 |



水富地区の概要

水富地区は狭山市の北西、入間川の左岸に位置しています。市境は日高市と飯能市、入間市です。当地区の北寄りに、昭和40年代後半埼玉県により開発された狭山工業団地や、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）、「狭山日高インターチェンジ」、「狭山パーキング」があります。

昭和56年（1981）、東寄りの地域に約1,000戸の大規模な団地「つつじの団地」（日本住宅公団、現UR都市機構の造成）が整備され、人口は一挙に増えました。水富地区の面積は約749haです。

水富村

明治22年（1889）、町村制が施行され、上広瀬村と下広瀬村、根岸村、笹井村の4か村が合併して、水富村が誕生しました。

当地は高麗郡に属していましたが、同29年入間郡に吸収されました。昭和29年、狭山市誕生と同時に水富村は廃止となりました。

知ってる？

高麗郡：今からおおよそ1300年前の霊亀2年（716）、渡来人（高句麗から渡来した高麗人）1,799人が武蔵国（日高市など入間川以西）に集められ、高麗郡を建てました。地域に文化と文明をもたらしました。明治29年（1896）、郡制施行により高麗郡は入間郡に編入され、消滅しました。

水富地区地名の由来

水富

水富村の名は、明治22年（1889）に誕生した際、新たに考えて名付けられました。高麗郡内でも、もともと水利に恵まれ地域であることから決められました。

笹井

笹井は、明治22年以前の村名です。笹井観音堂の22世・行尊の記録（久安年間、1145～51）によると、行尊が修験道の祖・役小角（えんのおずぬ）の旧跡を再開しようとした際、地形が修験の聖地・大峰（奈良県南部の山）の小笹（こざさ）に似ていたことから「笹井（ささい）」と名付けたといわれています。本来「笹井」が正しいということです。

根岸

明治22年以前の根岸村の名残り、日光脇往還が通っていました。

上広瀬・下広瀬

大化元年（645）国郡制が施行された時、入間郡広瀬郷と記されています。江戸時代の元禄11年（1698）、柳沢吉保が川越城主になった時、広瀬村が上広瀬村と下広瀬村に分かれたようです。

水富地区の自治会

水富地区自治会連合会は20の単位自治会（第一区、宮地、第二区、根山、霞区、奥題道、第三区、下広瀬団地、第四区、第五区、金井、第六区、第七区、第八区、日生さやま台、第十区、グリーンハイツ、笹井団地、つつじ野、下仲居）で構成しています。

水富地区の人口

水富地区の人口は（令和3年1月1日現在）は21,632人（男10,776人、女10,856人）で、世帯数は9,508世帯です。狭山市の総人口に占める割合は14.4%です。



知ってる？

水富地区の坂：狭山市にある名のある坂11か所のうち、水富地区には3か所あります。坂上と坂下には行政が標識を設置しています。

- ・**烏坂**（からすざか）：笹井白鬚神社脇を笹井小学校に向かう坂。高低差12mで距離240mです。昔、この坂道は薄暗く多数のカラスが群がっていたので、「烏坂」と呼んでいたそうです。
- ・**信濃坂**（しなのざか）：奥州道交差点から北方面にある信濃坂は、信濃国へ通じていたので、この名が付いたと言われています。高低差9m、距離290m。
- ・**櫛坂**（たすきざか）：広瀬浅間神社の東側と西側で、坂の途中がY字に分かれています。和服の袖をからげ背中に十文字に掛け、働き易くする紐のように斜めに交差していたので、この名が付いたといわれています。

『狭山市史 民俗編』、「坂学会」ホームページより

知ってる？

狭山言葉：あまったるい（甘すぎること）、うんめい（おいしいこと）、おおまくれえ（大食らい）、きむく（まじり気のないこと）、くいじ（食いしん坊）、くいもん（たべもの）、くつつおこね（くいすぎ）、くらすぎ（食べ過ぎ）、ごつつんこ（ご馳走）、だんづゆ（実のはいついていない汁）、のみつくそ（少量、ちいさいこと）、ひゃっこい（つめたい）

『狭山・昔ことば辞典』より

水富地区の自然・公園

水富地区には、広瀬河川敷公園や笹井河川敷多目的広場や街区公園などの公園 30 か所（総面積約 12.0ha）が設けられています。

水富地区の「狭山市の景観地 50」

水富地区では、笹井ダムや笹井白鬚神社、宗源寺、用水路根堀、廣瀬神社の大ケヤキ、虹の遊歩道の 6 か所が景観地に選ばれています。

笹井ダムと呼ばれる「笹井堰」（笹井 1 丁目先）

笹井堰（通称笹井ダム）は水田の取水用に入間川に築かれ、水路は赤間川と呼んでいます。昔の堰は松の丸太の柵でしたが、昭和 14 年（1939）水富村が村債を発行してコンクリート製にしました。同 24 年キティー台風により損壊しましたが、同 27 年に修復しました。



笹井堰

田島屋堰（広瀬東先）

田島屋堰は入間川に架かる広瀬橋と本富士見橋の中間にあります。明治 26 年（1893）、資産家の田島菊次郎が築造しました。引き込んだ水で水車業を営み、穀物の脱穀や製粉を行っていました。そして、余った水は柏原村の用水になりました。



田島屋堰

知ってる？

狭山市の水道水：狭山市の水道水の 95%は県水（さいたま市大久保浄水場から導水）で、残り 5%は入間川からの取水と深井戸の市水です。

根岸の芝桜

入間川に架かる豊水橋の近くサイクリングロード沿い 170m には、

4 月頃、赤やピンク、紫、白の芝桜がきれいに咲き揃います。染井吉野（メイヨシノ）の開花が重なると、サイクリングロードは 2 種の桜が楽しめます。「入間川の岸辺を美しくする会（左岸）」が保護と育成の活動を行っています。



根岸の芝桜

新富士見橋付近の曼殊沙華

入間川に架かる新富士見橋から昭代橋付近の左岸河川敷に曼殊沙華が植えられ、秋の彼岸頃（9 月頃、1.2km）には真っ赤なヒガンバナが咲き、サイクリングロードを散策する人の目を楽しませています。美化活動は、「アダプトプログラム」によって入間川の岸辺を美しくする会が保護活動を行っています。



入間川左岸の曼殊沙華

・入間川の岸辺を美しくする会（左岸）

田島屋堰から昭代橋を中心に、入間川左岸の河川敷中央公園内の環境整備と美化活動に取り組んでいます。西武学園文理高等学校ラグビー部や市立西中学校の生徒、地元企業などの協力を得て、清掃活動と草花の手入れをしています。

一連の活動が評価され、平成 28 年度「彩の国埼玉環境大賞」を受賞しました。

知ってる？

彩の国埼玉環境大賞：埼玉県は河川や湖沼、緑地の美化や保全活動、環境保全意識の高揚に資する活動などを継続的に実施している個人や団体を表彰しています。大賞や優秀賞、奨励賞の 3 賞が設けられています。

鯉が泳ぐ用水路「根堀」（広瀬 3 丁目）

根堀の用水は入間川笹井堰の左岸から取水し、笹井と広瀬に流れています。現在、赤や黄など色とりどりの鯉が泳いでいますが、かつては食器や野菜を洗う生活用水として利用していました。



用水路「根堀」の鯉

広瀬浅間神社火祭り（8 月）に合わせ、用水路に沿って「水富キャンドルナイト」が開催されます。

広瀬河川敷公園 (広瀬 1-36-3)

広瀬河川敷公園（面積約 5.3ha）は、広瀬橋から豊水橋（約 1.3 km）までの左岸に整備された運動公園です。サッカー場が 3 面、野球場、少年野球場、ソフトボール場、多目的広場等が整備されています。駐車場があるので利便性が良く、練習や試合などで賑わっています。新富士見橋から本富士見橋までの区間には、1 年に 2 度（11～12 月と 3～4 月）咲く二度桜があります。



広瀬河川敷公園

笹井河川敷公園 (笹井東川端 1-2 先)

笹井河川敷公園（面積約 1.8ha）は入間川左岸にあり、豊水橋と笹井堰の間（約 800m）に整備されています。

春には桜やツツジが咲き誇り、晩秋にはシンボルツリーであるメタセコイアの巨木（高さ約 30m）が紅葉します。



笹井河川敷公園

笹井河川敷多目的広場 (笹井東八木 3239-1 先)

笹井河川敷多目的広場（面積約 1.5ha）は、入間川沿いにある狭山市最西部に位置する多目的な運動公園です。野球やサッカー等のスポーツが楽しめます。

公園に立って上流方向を見上げると、首都圏中央自動車道と国道 299 号線の新豊水橋が見えます。



笹井河川敷多目的広場

知ってる？

いるまがわ大橋と入間大橋：名前が似ていますが、架かっている場所が異なります。いるまがわ大橋は市内の柏原地区と奥富地区間に架かり、入間大橋は下流の川越市内の入間川に架かっています。入間川サイクリングロードは、入間大橋と豊水橋間 22.6km です。

水富地区のイベント

水富キャンドルナイト (根堀沿い)

毎年 8 月に開催される広瀬浅間神社の火祭りに合わせて、根堀（広瀬 3 丁目）を流れる用水路で沢山の鯉が泳いでいる）沿いに、子どもたちが作った走馬灯や竹細工、風車などが飾られ、夕方からロウソクの火が幻想的な雰囲気を作り出します。火祭りを見学した人が、立ち寄っています。七夕祭りの竹飾りの竹を再利用しています。



水富キャンドルナイト

水富音楽祭 (水富小学校、根岸 2-22-1)

水富音楽祭は、7 月初めの日曜日、水富小学校の体育館を会場として開催されます。地域の団体や学校の教員、個人やグループが演奏やコーラス、フラダンス、新舞踊、水富よさこいなどを演じます。平成 30 年の参加者は、256 名でした。

水富地区ソフトバレーボール大会 (広瀬・水富・笹井小学校)

毎年 6 月、水富地区の小学校（広瀬小学校、水富小学校、笹井小学校）を会場として、ソフトバレーボール大会を開催しています。18 自治会が 3 会場に分かれ親善を図りながら試合をします。使用ボールは普通のバレーボールより少し大きく、柔らかなボールです。大会前になると、各自治会は順位を上げようと練習に汗を流しています。

水富地区体育祭 (広瀬小学校と笹井小学校)

毎年 10 月、全市一斉に開催する体育祭で、水富地区は広瀬小学校と笹井小学校の 2 か所を会場に開催しています。自治会ごとのユニフォームとハチマキで競技に参加しています。自治会対抗リレーや綱引き、タイヤ転がしは、大変盛り上がります。

水富地区の祭り

広瀬浅間神社の火祭り (広瀬 983-2)

毎年8月に開催される広瀬浅間神社の火祭りは、明治時代の初期に始まりました。山梨県富士吉田市の北口本宮富士浅間神社の鎮火祭を模しています。富士塚の稲妻型の登山道の1合目から9合目まで丁石(ちょういし)があり、頂上には富士浅間宮(石碑)が祀られています。夜が更ける頃、2本の護摩木(大松明)に火を点け、火難除けの祈禱をします。

広瀬囃子が奉納され、地元の人達が踊り、参道には屋台が並びます。



広瀬浅間神社の火祭り

笹井白鬚神社の大祭 (笹井 1962 付近)

笹井白鬚神社(祭神はサルタヒコノミコト)は笹井村の氏神さま、4月春季大祭と10月秋季大祭を催しています。

春秋の大祭では笹井囃子の演奏で、「豊年足踊り」(P182 参照)が奉納されます。



笹井白鬚神社

広瀬神社の大祭 (広瀬 2- 23-1)

10月に催される延喜式内社「広瀬神社」の秋季大祭は、近隣の自治会が参加して盛大に執り行われます。境内では広瀬囃子が奉納され、神輿は白い狩衣(かりぎぬ)装束を身に着けた氏子や有志に担がれて広瀬地区を巡行します。子どもたちは子ども神輿を担ぎ、ミニ屋台を引いて、神社周辺を一周します。



広瀬神社秋季大祭

参道には各自治会が模擬店を出し、訪れた人で賑わいます。

水富公民館の活動 (根岸 2-17-13)

水富公民館は令和元年度の重点目標として、①現代的課題や地域課題への取り組み、②ライフステージに相応しい事業、③地域特性を活かした体験学習、④人材育成と活動の場の提供、⑤安心・安全・快適利用のための環境整備を推進しました。活動の一部を紹介します。

青少年育成の活動例

水富親子講座「はっぴー♡」

0歳～3歳の乳幼児と保護者が集い、語らい、学び合う講座です。「食事」の会では、保護者が食育の悩みを話し合い、「童謡・絵本の読み聞かせ」や「リトミックを行い、音感と知育、運動機能の向上」、「子育てについて先輩ママの知恵・注意点を学ぶ」などを開催しました。平成30年度、10回の開催に延べ200名が参加しました。

小学生の「ジュニアくらぶ」

ジュニアくらぶは、夏休みに校区内外の異年齢の小学生に交流の場を提供する講座です。親子工作教室でペットボトルでのイルミネーションやキーボード作りなどや自衛隊基地見学ツアーやパン作り体験などを開催しました。平成30年度、4回の開催に延べ118名が参加しました。



ジュニアくらぶの風車

高齢者が学ぶ「熟・年・楽・校」

旧熟年大学から内容を一新しました。自分の探求をテーマに過去を振り返り、現在を見つめ、未来を考える講座です。

健康寿命の延伸、QOL (Quality of Life、生活の質) の向上に繋げる快適なセカンドライフを楽しめるように「心身と思考の整理を考えるや健幸体操」などを実施しました。



ウォーキング

広瀬公民館の活動 (広瀬東 3-34-1)

広瀬公民館は令和元年度重点目標として、①現代課題や地域課題への取り組み、②ライフステージに応じた公民館事業、③教育機関と連携した生涯学習機会の充実、④地域の教育力を培いまっづくりに繋がる事業推進、⑤利用者の安心・安全・満足の確保、透明性の確保の事業を推進しました。活動の一部を紹介します。

青少年育成の活動

夏休みキッズチャレンジ

毎年、主に小学生を対象に様々な体験と思い出作りをし、地域の人達との交流の場を設けています。テーマは「茶道にチャレンジ」や「浴衣の着付けにチャレンジ」、「陶芸にチャレンジ」、「ギターと歌にチャレンジ」、「社会見学にチャレンジ」などです。延べ145名が参加しました。



茶道にチャレンジ

広瀬小学校デー

6月には広瀬小学校の児童を対象に、3年生は「茶道体験」、2年生は「とび出せ探検隊」を開催しました。延べ95名が参加しました。

学社連携事業「すみのうた」

毎年、広瀬公民館の水墨画サークル・香墨会が講師となり、「すみのうた」という学社連携による特別授業を開催しています。対象は水富小学校6年生です。会場は水富小学校体育館で、水墨画での筆遣いを練習した後、メダカの絵を描いて各自の作品を創作します。

高齢者が学ぶ「ひろせ寿大学」

ひろせ寿大学では、主に60歳以上を対象に前期(4月～9月)と後期(10月～3月)の2回に分け講座を開催しています。テーマは「自宅の維持・更新」や「環境にやさしいまちづくり」、「人生100年時代のマネープラン」などを開催しました。館外に出掛けて学習することもあります。

水富地区の小・中学校・支援学校

狭山市立水富小学校 (根岸 2-22-1)

明治4年(1871)、宝蔵寺(現廣瀬神社境内)に広瀬郷学校を、宗源寺に笹井学校を開校しました。同15年(1882)広瀬学校と笹井学校、野田学校を合併し霞野学校に、同25年(1892)水富尋常小学校に改称、同28年に現在地に移転しました。昭和16年(1941)水富国民学校に、同22年(1947)水富小学校に改称、同29年(1954)狭山市立水富小学校になりました。教育目標は「よく聞きよく考える、仲良く助けあう、心と体をきたえる」です。本校の自慢は、①50年以上受け継がれてきた金管バンドに6年生全員が取り組むこと、②平成15年(2003)100周年記念事業で「水小カルタ」を制作したことです。令和元年度の児童数は378名、14学級です。



水富小学校

狭山市立広瀬小学校 (広瀬東 4-4)

広瀬小学校は、昭和51年(1976)水富小学校から分れ開校しました。教育目標は「よく考え行う子、思いやりのある子、たくましい子」です。「地域の保護者から信頼され、児童が誇りに思える学校」を目指しています。本校の特色は①校庭にメタセコイアがあること②全校合同の「全校ふれあい遠足」で智光山公園に行くことです。令和元年度の児童数は467名、18学級です。



広瀬小学校

狭山市立笹井小学校 (笹井 1700)

笹井小学校は、昭和57年(1982)11月に開校しました。教育目標は「かしこく なかよく たくましく」です。学校の特色は5・6・10

月に体育館で朝会を開催していることです。2月には笹井ダム周辺でのバードウォッチングやお茶作り体験をしています。マーチングバンドや1年生～6年生の全児童による仲よし集会等、色々な行事を実施しています。

令和元年度の児童数は259名、11学級です。



笹井小学校

狭山市立西中学校 (広瀬東 3-23-1)

西中学校は、昭和35年(1960)10月、水富中学校と柏原中学校、入間川中学校の一部を統合して開校しました。同56年学区変更により入間川地区の生徒は入間川中学校に編入しました。

教育目標は、「自主的に考え 正しく行動できる生徒」です。

令和元年度の生徒数は596名で、18学級です。



西中学校

埼玉県立狭山特別支援学校 (笹井 2958)

狭山特別支援学校は、昭和55年(1980)、知的障害児のための学校として設立されました。平成28年度から小学校・中学校の特別支援学校として教育活動を進めています。

教育目標は「ささえあう、やりとげる、まなびあう」です。学区は狭山市と入間市、飯能市、日高市の4つの市です。

和元年度の小学部の児童数は91名、中学部の生徒数は59名です。



狭山特別支援学校

水富地区の市指定文化財

廣瀬神社の文化財 (広瀬 2-23-1)

天然記念物「広瀬神社大榿 (けやき)」

江戸時代に編纂された『新編武蔵風土記稿』に「古木の榿三株あり、是を神木とする」とあります。1本は老朽化し倒壊しました。残る1本は高さ31m、幹回り6.5mで、もう1本は高さ28m、幹回り6.3mです。いずれも樹齢は1000年以上です。毎年4月頃、アオバズクが渡来し、営巣し子育てしています。

埼玉県指定文化財(天然記念物)です。

工芸品「神輿 (みこし)」

元治元年(1864)、上広瀬村の名主・清水寛右衛門宗宝が奉納しました。作者は大工横田長太夫です。下框(かまち)の寸法は122cm四方で、鳳凰(ほうおう)までの高さは228cm、重さは約400kgです。黒漆塗りの宝形造で、鳥居や内部は朱塗り、壁面に細やかな彫刻が施されています。毎年10月、秋季大祭には氏子や有志が担いで巡行します。

知ってる?

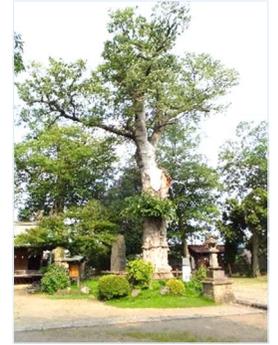
鳳凰(ほうおう)：中国神話に登場する空想の鳥です。装飾として描かれ、寺院や神社の屋根や神輿の頂部に設置されています。宇治平等院の鳳凰堂や京都金閣寺は有名です。日本銀行発行の紙幣や硬貨に描かれています。

無形民俗文化財「広瀬囃子」

神田囃子の流れを受け継ぐ広瀬囃子は、万延～文久年間(1860～64)、笛の村木佐平と天狐の飯島喜十郎が中心となり始めました。川越藩が催した上覧囃子で、お褒めの言葉を頂いたと伝わっています。毎年、元旦祭や春と秋の大祭などに奉納されています。

・ 廣瀬神社 (祭神はワカウガノメノミコト)

『新編武蔵風土記稿』によると、廣瀬神社は延長5年(927)編纂の『延喜式神明



大ケヤキ



広瀬囃子

帳」に記載された延喜式内社で、入間郡五座のひとつとされます。日本武尊東征の際、当地が大和(奈良県河合町)の広瀬に似ていることから、大和の廣瀬神社を勧請としたといわれ、非常に格式の高い神社だといわれます。

境内には埼玉県令白根多助の歌碑や狭山市の起業家清水宗徳の頌徳碑、松尾芭蕉の句碑などが造立されています。明治4年(1871)、境内の宝蔵寺に狭山市最初の「広瀬郷学校」が開校されました。



廣瀬神社

天然記念物「アケボノゾウ骨格化石」(稲荷山 1-23-1)

昭和60年(1985)、笹井堰の上流でほぼ1頭分の骨格化石が発掘されました。発見された化石のうち3点を狭山市立博物館が、71点を埼玉県立自然の博物館が保管しています。インド象より小柄なアケボノゾウ(体高1.5~1.8m、体重2~3ton、長い牙)は、約250万年~70万年前、日本列島に生息していました。

埼玉県指定文化財(天然記念物)です。(p26 参照)

知ってる?

埼玉県立自然の博物館(秩父郡長瀬町 1417): 長瀬は「地質学発祥の地」と呼ばれ、珍しい地質の研究に多くの地質学者が訪れます。大正時代に秩父鉄道が「鑛物(こうぶつ)植物標本陳列所」を設立したことがもとになっています。埼玉県の岩石・化石・地層、動物の骨格や剥製・植物などが展示されています。

史跡「今宿遺跡」(広瀬台 1-22)

今宿遺跡は、昭和44年(1969)、日生狭山台団地の宅地造成に伴う発掘調査で見つかりました。縄文早期から奈良・平安時代まで(弥生時代を除く)の住居跡や古墳、須恵器が大量に出土しました。一角を公園にし、竪穴住居跡3基を保存し、1基を復元しました。(p72 参照)

敷地内の一角には、入間川河床から見つかった亜炭化した「メタセコイアの株」が展示されています。

篠井家の文化財古文書「篠井家文書」(笹井 1485)

泊山寺観音堂の堂主を務めた篠井家(しのいけ)には、貴重な古文書が多数所蔵されています。戦国時代から江戸時代初期までの修験や後北

条氏関連に関連した文書16点は、埼玉県指定文化財(古文書)になっています。

・観音堂(本尊:十一面観音菩薩)

観音堂は42代文武天皇(683~707)の頃、修験道の祖・役小角(えんのおづぬ)が不動堂(本尊は不動明王)を建て、滝音山泊山寺と名付けました。その後、天台宗園城寺の行尊(1055~1135)が立ち寄り、観音堂を建て、十一面観音菩薩を安置しました。以来、泊山寺の本尊は、十一面観音菩薩となりました。明治22年(1889)、火災により山門を残し多くの建物が焼失しました。



笹井観音堂の碑

宗源寺彫刻「木造宝冠釈迦如来坐像」(笹井 2-17-8)

宝冠釈迦如来坐像(像高38cm、台座高さ56cm)は宝暦12年(1762)作の寄木造です。この如来像は、如来では被ることのない宝冠を載せ、胸飾りを着けています。そして、微笑みを浮かべ、口元から白い歯をのぞかせています。

・宗源寺(本尊:宝冠釈迦如来坐像)

宗源寺は、慶安2年(1649)、旗本の土屋三郎右衛門尉昌吉と治左衛門の二人が開基し、鶴峰聚孫禅師が開山しています。朱印5石を賜っています。伝承によれば、地藏菩薩が安置する地藏堂が始まりと言います。毎年1月上旬に権現祭、4月は釈迦の花祭りが行われ、笹井囃子や笹井足踊りが上演されます。



宝冠釈迦如来坐像

禅龍寺彫刻「木造千手観世音菩薩坐像」(広瀬 2-20-1)

千手観世音菩薩坐像は坐高64.6cm、寄木造りで頭上に100の尊顔と阿弥陀如来の化仏をおき、44の手があります。鼻が高く、光背に11面の円鏡が散りばめられた極めて細部まで精巧につくられた菩薩坐像です。

・禅龍寺(本尊:千手観音菩薩坐像)

禅龍寺は木蓮寺(入間市木蓮寺)の末寺で、伝承では万寿年間(1024~1028)の創立と言われています。尼僧が管理する庵であったと伝えます。毎年1月には馬頭観音様(祈祷会)、2月には節分会などが行われています。



千手観音菩薩坐像

明光寺絵画「紙本地蔵十王図 附他二幅」(根岸 2-5-1)

十王図(縦横 39 cmの大きさ)は、地蔵菩薩や十王、奪衣婆(だつえば)が彩色され、截金(きりかね)が施されています。十王図は一般的に 12 幅ですが、修羅の図を加え 13 幅になっています。十王とは、冥途の死者を裁く 10 人の裁判官です。

・明光寺 (本尊：地蔵菩薩坐像)

応和 2 年(962)、明光上人が開基したといわれます。天正 19 年(1591)、徳川家康から寺領 5 石の朱印状を賜っています。大正 15 年(1926)、高尾山薬王院有喜寺(八王子市高尾町)から飯縄大権現(いづなだいごんげん)を勧請しています。明光寺では死者を葬る「埋め墓」と、詣でる「詣り墓」の両墓制が残っていました。



明光寺

無形文化財「豊年足踊り」(笹井 1962)

豊年足踊りは、笹井囃子の演目の一つです。白鬚神社の元旦祭や春と秋の大祭で奉納されます。演者が仰向けになって脚を高く上げ、左足はヒョットコ面と男物の衣装を、右足はオカメ面と女物の衣装を着け、面白い仕草で演じます。



豊年足踊り

無形民俗文化財「広瀬浅間神社の火祭り」(上広瀬 983-2)

毎年 8 月「まるろ講」(富士山信仰に由来する広瀬の富士講の組織)の会員が中心になって、万延元年(1860)庚申年の庚申日に祀った浅間神社の富士塚で、桑の木を束ねた大小 2 本の護摩木(松明)に火を付け、養蚕の豊作と安産、火難除けの祈願を行っています。灯し掛けのロウソクをもらって帰ると、安産にご利益があるとされています。(p174 参照)



広瀬浅間神社の火祭り

山崎家古文書「広瀬村境界絵図面及び分見野帳」(広瀬 2)

元禄 3 年(1690)と弘化 4 年(1847)に記された上広瀬村・下広瀬村と入間川村の境界絵図 2 枚には、入間川の流れを中心に村境や証文塚が記載されています。入間川の氾濫によって境界が不明になった際、村境をはっきりさせるため村役人が立ち会い、測量結果を分見野帳に記録しました。境界絵図には地名や道路、家並み、土地の利用状況がカラーで表示されています。

史跡「清水宗徳の墓」(上広瀬 976)

上広瀬村の起業家・清水宗徳(しみずそうとく、幼名 要次郎、俳号は不朽軒義同)の墓は、上広瀬の富士浅間神社に隣接した共同墓地の一角にあります。墓碑には「前代議士清水宗徳之墓」と刻まれ、玉石を積んだ台座に立っています。その下に入間馬車鉄道の軌道に使用された 2 本のレールが敷かれています。(p183 参照)



清水宗徳の墓

知ってる?

十王：冥途の裁判官。秦広王(しんこうおう)、初江王(しょこうおう)、宋帝王(そうていおう)、五官王(ごかんおう)、閻魔王(えんまおう)、変成王(へんじょうおう)、泰山王(たいざんおう)、平等王(びやうどうおう)、都市王(としおう)、五道転輪王(ごどうてんりんおう)。

知ってる?

五平さんと仏さま：広瀬村のむかし話です。鶉ノ木の下を流れる入間川が大雨になると水があふれ、青田が石ころだらけになりました。水が枯れると、村人は田の石ころを取り除いていました。ある時、石を取り除いているとピカと光る「仏様」が現れました。どうしようかと思案し、投げて受け取った人の家で面倒を見ることになりました。名主さんが放り投げると、背の高い五平さんが受け取りました。もう一度投げると、やはり五平さんでした。3 回やり直しましたが、やはり五平さんの懐に入ってしまった。仏さまは五平さんが気に入っている、という事で五平さんの家であずかることになりました。

2 月 23 日のことだったので、仏さまは「二十三夜さま」と呼び、毎月 23 日に村人は集まりお参りしたそうです。

(今坂柳二『わらやねの下の昔ばなし』より)

水富地区の歴史

復元された今宿遺跡 (広瀬台1丁目)

今宿遺跡は、奈良・平安時代の集落跡です。48軒の竪穴式住居跡が出土し、3軒を保存し、うち1軒の住居が復元されています。出土品の多くは縄文時代の様式の土師器(はじき)と須恵器(すえき)ですが、なかには釉薬(うわぐすり)を塗った陶器も発掘されています。(p70参照)



今宿遺跡

宮地遺跡 (笹井1677付近)

宮地遺跡は、笹井の入間川河岸段丘上にあります。笹井小学校を建設していた時、発掘調査され、縄文時代中期(5000~4000年前)と奈良・平安時代の集落跡と推定されています。多数の竪穴式住居跡や掘立柱建物跡、土器や土製品・石器などが出土しています。埼玉県選定重要遺跡に指定されています。柄鏡形敷石住居跡(直径3m)は埋め戻されました。

上広瀬村生まれの起業家「清水宗徳」

清水宗徳(1843~1909)は、天保14年(1843)、上広瀬村の名主の長男として生まれ、20歳時名主を継ぎました。教育に力を入れ、狭山市内で最初の「広瀬郷学校」と「幼童学校」を設立しています。明治12年(1879)、第1回埼玉県議会議員選挙で当選し、県会議員を10年間勤め、同23年からは衆議院議員を1期務め、政界を引退しました。その後、宗徳は市域の発展に精力を傾け、川越鉄道の敷設や器械製糸工場の設立や斜子織の販売など、地域の発展に貢献をしました。明治時代



清水宗徳

から現在に至る狭山地域の歴史で、清水宗徳を超える起業家は現れていないといわれています。

暢業社(ちょうぎょうしゃ)と斜子織(ななこおり)

江戸時代から生産が始まった絹織物の一種「斜子織」は、男物の羽織に使用されていました。市域では上広瀬・下広瀬・柏原・入間川・上奥富で生産されていました。明治10年(1877)、埼玉県内で最初の器械製糸工場「暢業社」を設立しました。暢業社製の生糸は、富岡製糸場(群馬県)や二本松製糸場(福島県)とともに国内屈指の優等品となり、高値で取り引きされました。

同26年、コロンビア世界博覧会で「名誉賞」を受賞しています。

川越鉄道と入間馬車鉄道

明治20年(1887)頃、日本鉄道を初め私鉄の敷設が全国的に広がりました。しかし、埼玉県西部には鉄道がなく、蚕糸(さんし)・織物・製茶の主産地でありながら、時代の波に乗れないでいました。宗徳は交通機関の整備が必要との信念から、川越町から国分寺町に至る川越鉄道(現 西武新宿線・国分寺線)の敷設に尽力し、同28年、開通させました。市域には、入間川駅と入曽駅が設けられました。これを契機に入間川町は穀物の集積地として発展し、穀物商や雑貨商、飲食、旅館などの店舗が増えました。



川越鉄道入間川駅

宗徳は、交通機関のない飯能町と入間川町の間に入間馬車鉄道を開通させました。しかし、不況による赤字経営が続き、16年後に解散しました。



鉄道馬車(狭山市立博物館)

知ってる?

入間馬車鉄道の駅: 飯能(旧飯能町)・前田(旧飯能町)・双柳(なみやなぎ、旧精名村)・岩沢(旧加治村)・野田(旧元加治村)・八木(ばちき)・笹井・根岸・広瀬・河原宿・諏訪下(すわした)・菅原・入間川
※八木から河原宿間は旧水富村、諏訪下から入間川間は旧入間川町です。

8. 新狭山地区

景勝地等

- ① 新狭山公園 新狭山1-4
- ② 中原公園 新狭山2-13-1
- ③ 三ツ木公園 新狭山3-3

公民館等

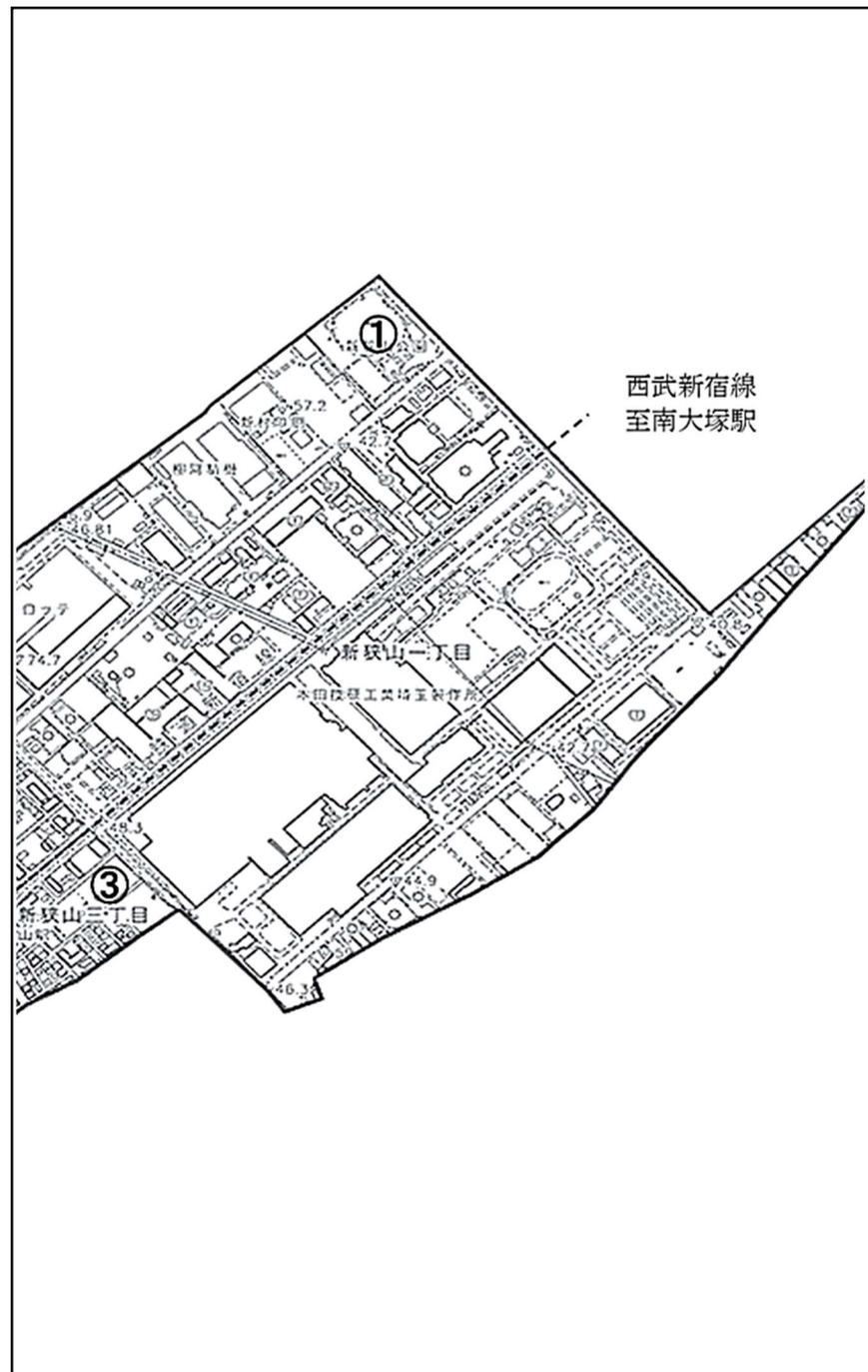
- ④ 新狭山公民館 新狭山2-17-1
- ⑤ 新狭山小学校 入間川1108



西武新宿線
至狭山市駅

(注) 新狭山小学校は「新狭山地区」外
「入間川地区」エリアにあります

⑤



西武新宿線
至南大塚駅

新狭山地区の概要

新狭山地区は狭山市の東部に位置しています。地区の面積約 130ha のうち、約 70% を川越狭山工業団地 (91.2ha) が占めています。

昭和 38 年 (1963)、職住近接を理想として工業団地近くに商店街や住宅地の開発を始めて、新狭山地区は同 41 年 (1966) 市内 7 番目の地区として誕生しました。

地区を二分するように国道 16 号線と西武新宿線が通っています。地区の中央に位置する新狭山駅の周辺には、商店やホテル、マンションなどが並んでいます。電線を地中化した北口商店街はすかいロードと称し、通勤・通学客や買い物客で賑わっています。

整然とした街区と街路樹

新狭山地区は、土地区画事業により工業団地と周辺の道路整備や個性ある公園が一体的に整備されました。幅広い道路に沿って植えられた街路樹のケヤキは、美しい街並みを保っています。



新狭山駅北口(昭和 42 年)



整備された道路

新狭山地区の自治会

新狭山地区自治会連合会は、2 つの単位自治会 (新狭山 2 丁目、新狭山 3 丁目) で構成しています。自治会連合会は会員や狭山市民の交流を図る目的で、「にこにこ市」や「ソフトボール大会」「あじさい祭り及び国際交流の集い」「夏祭り」「体育祭」などを開催しています。

新狭山地区の人口

新狭山地区の人口 (令和 3 年 1 月 1 日現在) は 5,182 人 (男性 2,772 人、女性 2,410 人) で、世帯数は 2,844 世帯です。狭山市の総人口に占める割合は 3.5% です。



新狭山地区の自然・公園

新狭山地区には、新狭山公園や中原公園などの公園 5 か所 (総面積約 4.0ha) が設けられています。

新狭山地区の「狭山市の景観地 50」

新狭山地区では、中原公園と三ツ木公園の 2 か所が景観地に選ばれています。

新狭山公園 (新狭山 1-4)

新狭山公園 (面積約 2.7ha) は川越狭山工業団地の中央に位置し、野球場 1 面やテニスコート 4 面、ナイター設備が完備され、周囲に約 300m の散歩コースがあります。

春には約 30 本の桜が花を咲かせ、秋には生きた化石といわれるメタセコイアが褐色に色づき、冬に葉落します。



新狭山公園

中原公園「あじさい公園」 (新狭山 2-13-1)

中原公園には紫陽花 (あじさい) 約 1,000 株が植えられ、「あじさい公園」と呼ばれています。4 月は桜、5 月はツツジ、6 月はあじさいの花が咲きます。平時は子どもたちの遊び場やイベント会場ですが、災害時には避難場所になります。緊急用飲料水タンクが、地下に設置されています。



中原公園のアジサイ

三ツ木公園 (新狭山 3-3)

三ツ木公園は三ツ木古戦場跡 (p197 参照) にあり、雑木林であった頃の面影を現在も残しています。花壇には四季折々の花が植え替えられています。乳幼児を対象にした「ワイワイ広場」(子育て支援センター主催) が、月 1 回程度開催されています。



三ツ木公園

新狭山地区のイベント

「あじさい祭り並びに国際交流の集い」(新狭山 2-13-1)

中原公園（あじさい公園）では、毎年6月の第3日曜日、「あじさい祭り並びに国際交流の集い」が開催されています。

国際色豊かな祭りは、日本の伝統と諸外国の文化に触れるチャンスです。園内には模擬店が並び、園児たちの遊戯や足踊り、和太鼓、中学生の楽器演奏、マンドリン演奏、民謡、マジックショー、外国の舞踊、よさこいソーラン踊りなど沢山の催しがあります。平成29年（2017）この集いは、「Byyond2020プログラム」に認証されました。（p196参照）



中原公園

新狭山地区体育祭 (新狭山 2-13-1)

新狭山地区体育祭は、毎年10月体育の日、中原公園で開催されています。体育祭の目的は、スポーツを通じて健康増進と親睦を図ることです。参加者は競うのではなく、楽しむことに主眼があり、幼児から高齢者まで多くの人に参加できるプログラムとなっています。休憩時間には、災害体験コーナーが設置されています。



新狭山地区体育祭

にこにこ市 (新狭山 2-10-23)

毎月第3日曜日、新狭山駅北口の西武文理学園のバスターミナル広場で無農薬野菜や食べ物、飲み物の店が並び、和太鼓の演奏が披露されます。年に数回、三ツ木公園では餅つき大会が開催されます。狭山市の観光大使「おりぴい」が参加します。



にこにこ市

「国際交流の集い（SIFA）」(新狭山公民館内ホール)

海外から来日した住民等が参加して、各国の本場料理を試食、餅つきと狭山茶餅の作り方を体験、民族舞踊を楽しみました。展示会場では交友都市の自然や文化（食文化や民族衣装、民族舞踊）などの資料を展示、国際交流協会（SIFS）の活動を紹介しました。海外の方々と交流することで、異文化の理解と親睦を深めています。



民族舞踊を披露

夏祭り・盆踊り大会 (新狭山 2-13-1、東三ツ木 142-1)

新狭山2丁目と3丁目の自治会は、8月に夏祭りを行います。子ども神輿や山車、盆踊り、ケヤキ太鼓、よさこい踊り、模擬店、大抽選会、子供ビンゴ大会等の催しがあり、幼児から大人まで多くの参加があり、楽しく交流の場となっています。



夏祭り

新狭山すかいロード祭り (新狭山駅北口)

すかいロード祭りは、10月第3土・日曜日に開催されています。すかいロードが歩行者天国となり、よさこい踊りや和太鼓の演技、競技や遊戯、商店会の販売や模擬店などで賑わっています。前夜祭では狭山市内の阿波踊り連が競演します。



新狭山すかいロード祭り

・新狭山駅北口「すかいロード」

西武新宿線新狭山駅は、川越狭山工業団地の玄関口です。駅前から国道16号線までの北口商店街400mの区域は電柱や送電・通信のケーブルが地下に埋設され、青空を見上げることができます。地元ではすかいロードと呼んでいます。朝夕は学校への通学生や企業への通勤者で賑わいます。

新狭山公民館の活動 (新狭山 2-17-1)

新狭山公民館は、平成 29 年 (2017) 6 月新築された最新技術を取り入れた公民館です。建物は平屋建てで、防火対策を行い、バリアフリーになっています。内装には県内産材木を 80% 使用しており、木の香りに満ちたウッディな雰囲気の建物です。



新狭山公民館

平成 30 年度の重点目標は、①現代課題と地域課題への取り組み、②ライフステージに応じた事業、③生涯学習機会の提供、④まちづくり事業を推進することです。活動の一部を紹介します。

小中学生を対象に各種「体験教室」

小中学生を対象にした「キッズカレッジ」は、「サバイバル調理と防災体験」や「アクセサリ教室」、「食育楽級」、「料理教室」、「お菓子作り」、「和風作り・餅つき体験」など体験型講座です。夏休み開催の「縄文時代のくらし体験」、ぼうけんあそび講座「新狭山元気っ子」では、子どもたちの創造性や協調性を育てています。

集まれ高齢者「高齢者ひだまり学級」

高齢者が心豊かで快適に過ごせるように、生活課題を学び、交流と出会いを図っています。11 回の開催に延べ 450 名が参加しました。

皆で「健康ウォーキング」

健康ウォーキングは、年 3 回を目安に実施しています。現地の文化や産業、歴史、自然、工場見学など専門ガイドから説明を受け、親睦と交流、健康の増進に努めています。午前中を中心に 4.5km～9.0km 前後を歩きますが、市外にも出掛けることもあります。



健康ウォーキング

新狭山のシンボル「あじさい」の剪定講習

新狭山あじさいサポート隊が講師となり、新狭山地区のシンボル「あじさい」の剪定方法を学びました。受講生は次年度に咲くあじさいをイメージして、中原公園に生育する 1,000 本以上のアジサイの剪定作業を行った、あじさいの増し方や挿し木の指導も実施します。



アジサイの剪定作業

平和祈念事業「戦時中の体験を聴く会」

地域の高齢者から戦時中の暮らしや戦争体験、戦争に関する作品の朗読を聴く会です。戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、考える機会となっています。

新狭山安全・安心まちづくり事業

新狭山まちづくり実行委員会と共催して、防犯講座や啓発活動、人材育成などを実施しています。狭山市内の一斉防災訓練では、行政と連携して可搬ポンプの放水や園下貯水槽からの給水訓練、炊き出し、避難訓練、救助訓練、安否確認などを実施しています。町内防犯パトロールと防災講習会を開催しています。

中原公園で「朝の体操」 (新狭山 2-13-1)

新狭山地区の朝の体操は、中原公園で開催しています。「身体を鍛えて健康作りをしましょう」と呼び掛け、多数の老若男女が参加しています。4・8・10 月の 21 日～30 日に、「NHK みんなの体操」に合わせ体を動かしています。



朝の体操

知ってる? あじさい饅頭研究会：あじさい饅頭研究会は無農薬にこだわり、埼玉産無農薬の小麦粉を使用して饅頭を作り、地域のイベントを中心に提供しています。工夫を重ねて、饅頭はあじさい色の二色です。

新狭山地区の産業

川越狭山工業団地

川越狭山工業団地（狭山市域の面積約 91.2ha）は、狭山市の北東部から川越市にまたがっています。昭和 35 年（1960）、日本住宅公団が首都圏整備法に基づいて開発を開始しました。同 39 年、各企業が操業を始め、埼玉県内有数の工業団地へと発展しました。

平成 28 年度現在、川越狭山工業団地に、68 の企業が生産拠点を設けています。狭山地域で事業を行っている主要な企業は、本田技研工業（株）埼玉製作所や（株）ロッテ狭山工場、柳河精機（株）狭山工場、新村印刷（株）狭山工場、音羽印刷（株）、（株）工進精工所、キッコーマンソイフーズ（株）、埼玉ダイハツ販売（株）狭山総合整備センター、埼玉日産自動車（株）狭山店、東京日野自動車（株）新狭山支店、全国酪農業協同組合連合会狭山工場です。



造成中の工業団地（昭和 40 年）



現在の工業団地

川越狭山工業会（狭山市商工会館、入間川 3-22-8）

昭和 40 年（1965）操業を始めた企業が親睦と連絡窓口として「川越狭山工業団地懇話会」を結成、平成 13 年（2001）「川越狭山工業会」と改称しました。工業会には工業団地内の企業だけでなく、近隣企業も参加して、新狭山地区や狭山市の街おこしのイベントに積極的に参加、街路の清掃活動や花いっぱい運動なども展開しています。

川越狭山工業会事務局は、狭山市商工会館の 2 階、令和 2 年（2020）現在の会員数は 102 社です。

本田技研工業（株）埼玉製作所（新狭山 1-10-1）

本田技研工業は、世界的自動車メーカーです。一時は従業員約 3,000 人が 3 交代で生産をしていました。自動車の組み立て工程を見学することができます。

本田技研工業の硬式野球部や陸上競技部は新狭山を拠点として練習に励んでいます。後樂園球場で開催される都市対抗野球大会や群馬県で開催される新春恒例全日本実業団対抗駅伝競走大会への出場は常連です。平成 28 年、リオ・オリンピックへの出場選手を輩出しました。（p52 参照）

敷地周辺には樹木が植えられており、緑豊かな環境が整った工場です。地震や風水害時には、本田技研の体育館が新狭山地区住民の避難所となります。

（株）ロッテ狭山工場（新狭山 1-2-1）

狭山工場の操業初めはキャンデーの生産でした。工場を増設してビスケットやガムなど種類を増やして、子どもたちに人気のコアラのマーチやガーナチョコレート、キシリトールガムなどおおよそ 120 品目の菓子を生産しています。

見学会では菓子の製造工程や衛生管理の方法、食の安全性について学び、子どもたちには菓子づくりのイベントが用意されています。事前の申し込みが必要です。

新狭山グランドボウル（新狭山 1-1-9）

新狭山グランドボウルは、工業団地の一角にあります。埼玉県内有数の規模を誇るボウリング場（52 レーン）で、平成 16 年（2004）、埼玉県が開催した「第 59 回彩の国まごころ国体」のボウリング競技会場になりました。ボウリング教室では、プロの指導が受けられます。



本田技研埼玉製作所



ロッテ狭山工場

新狭山地区の小学校

狭山市立新狭山小学校 (入間川 1108)

新狭山小学校は、昭和 50 年 (1975) 4 月に開校されました。

入間川地区にありますが、学校名は新狭山小学校です。新狭山地区の誕生、川越狭山工業団地と近隣住宅団地の完成、マンションの新設ラッシュにより若い世帯が移り住み、児童数が急激に増えたことにより開校されました。開校以前、児童は奥富小学校に通学していました。現在の学区は、新狭山 1・2・3 丁目や東三ツ木、加佐志、青柳、沢です。本学の教育目標は、「明るく、かしこく、なかよく」です。本校の特色は、道徳教育を基盤とした豊かな心の育成、体験活動と環境整備活動、朝マラソンや青空タイムを生かした体力向上などです。令和元年度の児童 504 名、学 20 学級です。



新狭山小学校

知ってる？

Beyond(ビヨンド)2020 プログラム：内閣官房東京オリンピック競技

大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局が運営する事業です。オリンピック以降を見据え、地域性に富んだ文化を生かし、次世代に誇れるレガシー(次世代に残す遺産)の創出に値する文化事業であること認証するものです。

令和元年度(2019)、狭山市内で開催する認証されたイベントは以下でした。

- ・入間川地区狭山市役所、4月「新茶と花いっぱいまつり」
- ・入間川地区市民会館、5月「所沢マンドリンクラブ第39回定期演奏会」
- ・入間川地区市民会館、6月「第22回チャリティジャズ・コンサート」
- ・新狭山地区中原公園、7月「あじさい祭り並びに国際交流の集い」
- ・入間川地区市民会館、9月「狭山オカリナクラブ15周年記念コンサート」
- ・入間川地区市民交流センター、11月「さやま大茶会プレイイベント」
- ・入間川地区狭山稲荷山公園、11月「第30回さやま大茶会」
- ・入間川地区市民交流センター、12月「Well-being2019」
- ・入間川地区市民交流センター、3月「さやま2020彩り応援フェスティバル」

新狭山地区の歴史

三ツ木原古戦場 (三ツ木公園周辺)

14～16世紀、関東地方は戦乱の時代でした。武蔵野の地では、入間川周辺や小手指ヶ原などで激しく戦っています。三ツ木原も戦場の一つでした。

小田原を本拠に武蔵国の全面支配を目指す北条氏綱は、大永4年(1524)に上杉朝興から江戸城を奪い、天文6年(1537)に河越城を手に入れようと軍を進め、7月11日に三ツ木原に着陣しました。氏綱の着陣を知った上杉朝定は15日に河越城から出撃、三ツ木原へ兵を進め、両軍の戦いが始まりました。これが「三ツ木原の合戦」です。戦場となった三ツ木原は、川越狭山工業団地の本田技研の一带と、伝えられます。北条氏は勝利し、河越城を奪われた朝定は上杉憲政らと河越城の奪還を目指しました。

朝定は大軍を率いて川越城を包囲しますが、氏綱の跡を継いだ氏康の奇襲攻撃を受けて、戦死しました。この戦い(「河越夜戦」と言われています)により、武蔵国の支配は北条氏に決定づけられました。



三ツ木原古戦場

新狭山地区自治会連合会「総務大臣賞」受賞

平成29年(2017)11月、地方自治法施行70周年を記念して、総務省総務大臣が、地方自治の発展に貢献した団体(新狭山地区自治会連合会など)や個人(仲川幸成前狭山市長など)に対して「総務大臣賞」を授与しました。

新狭山地区自治会連合会は「埼玉に住むなら狭山市、狭山市に住むなら安心・安全、子どもと年寄りにやさしい新狭山」をスローガンに、防犯活動や敬老活動などコミュニティづくりに取り組んでいます。また、「あじさい祭り並びに国際交流の集い」を長年にわたって主催し、これら一連の活動が評価されての受賞でした。

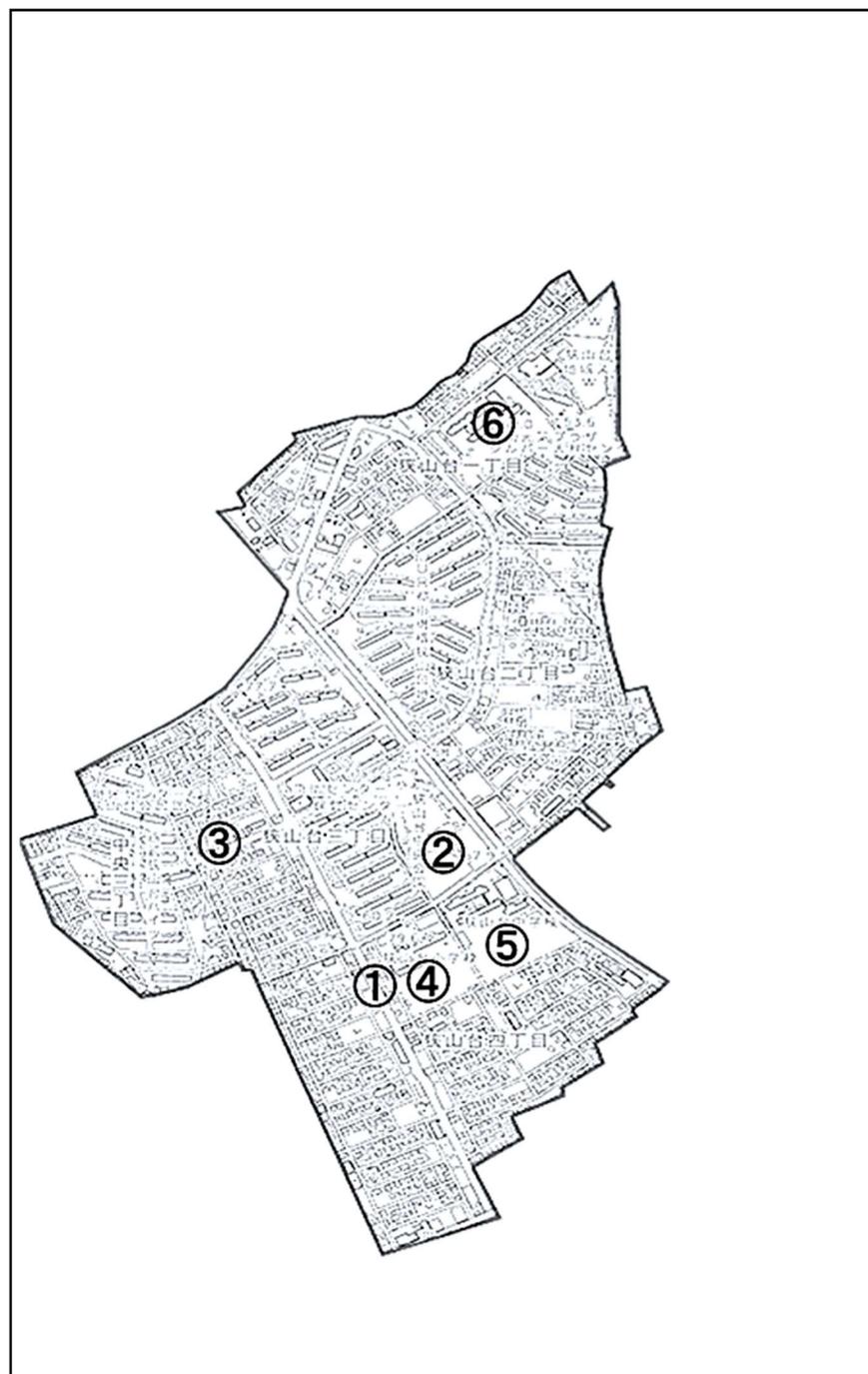
9. 狭山台地区

景勝地等

- ① けやき通り
- ② 狭山台中央公園 狭山台3-26

公民館等

- ③ 狭山台公民館 狭山台3-7-1
- ④ 狭山台小学校 狭山台4-25
- ⑤ 狭山台中学校 狭山台4-26
- ⑥ 元気プラザ 狭山台1-21



狭山台地区の概要

狭山台地区は、全域がほぼ平坦で高燥な台地です。西武新宿線狭山市駅東口からバスで11分程の交通至便な住宅地域です。

狭山台地区の面積は約105haです。

狭山台地区の誕生

昭和44年(1969)、日本住宅公団(現UR都市機構)の構想は、総面積約1km²、人口1.6万人を収容する計画でした。地域一帯は、入間川地区と堀兼地区の畑地と広葉樹や針葉樹で覆われた雑木林でした。狭山市が協力して、造成工事は翌45年に始まり、同49年に完成、同50年入居が開始しました。

幹線道路は、狭山市駅と狭山台をつなぐバス路線道路、首都圏に通じる県道126号線(堀兼狭山線、東京狭山線とも呼ぶ)、川越・狭山工業団地と狭山工業団地および日高市を結ぶ県道397号線が建設されました。県道126号線と397号線は、国道16号線とともに狭山市の道路交通網の要です。

狭山台地区のランドマーク (狭山台3-25)

住宅公団の計画で、狭山台の中心にランドマークとして11階建ての高層集合住宅を建てました。

団地の東側には中層の建物、西側には2階建ての住宅が整然と並んでいます。建物は曲線を描く道路に沿って並んでおり、当時狭山台地区は住宅都市・ベッドタウンのモデルとなりました。

昭和53年(1978)には狭山市のまちづくりが評価されて、埼玉県から「文化行政モデル都市」の指定を受けました。

狭山台地区の自治会

狭山台地区自治会連合会は9つの単位自治会(狭山台一丁目、狭山



狭山台の高層集合住宅

台二丁目、狭山台四丁目西、狭山台四丁目東、狭山台第二住宅、西武狭山台ハイツ、狭山台中央、狭山台団地、狭山台団地第二街区)で構成しています。

狭山台地区のまちづくり事業

狭山市内で一番少子高齢化が進む狭山台地区は、地域の課題に対応したまちづくりを推進するため「狭山台まちづくり推進会議」を組織しています。9つの自治会と地域の市民団体、学校関係の代表者で構成し、それぞれの組織が行政や他団体、商店と一体となって、住民同士の出会いの場を演出して、互いに支え合う仲間意識と絆の醸成を図っています。

「狭山台まちづくり通信」を発行しています。



県道126号線(南東方向)



狭山台けやき通り(南東方向)

狭山台けやき通りは、2004年「狭山市の景観地50」に選定されました。街路樹のトンネルは、四季折々の景観を醸し出しています。

狭山台地区の人口

狭山台地区の人口(令和1年1月1日現在)は10,574人(男性5,216人、女性5,358人)で、世帯数は5,469世帯です。最多人口であった平成2年14,764人(4,880世帯)と比べると、人口は約72%に減少し、世帯数は112%に増えています。

狭山市の総人口に占める割合は7.1%です。



狭山台地区の自然・公園

狭山台地区には、狭山台中央公園や街区公園などの公園 9 か所（総面積約 5.8ha）が設けられています。

狭山台地区の「狭山市の景観地 50」

狭山台地区では、けやき通りと狭山台中央公園の 2 か所が景観地に選ばれています。

狭山台中央公園（狭山台 3-28）

狭山台中央公園（面積約 2.9ha）は市民のスポーツ活動の場としてクレーのテニスコート 3 面と軟式野球場 1 面があります。毎年、野球場を会場として「狭山台ふるさと祭り」などを開催しています。樹木の緑地帯では幼児と小学生を対象としたプレイパーク「ほんきっこ」を開催しています。



狭山台中央公園

ぼうけんあそび場「ほんきっこ」

狭山台中央公園を中心に、狭山ぼうけん遊び場「ほんきっこ」が設営され、大人が見守る中、子どもたちが元気に冒険しています。

学校で経験できない体験を自分で判断し、自由に動き回り、仲間と楽しんでいます。平成 30 年度の参加者は、延べ約 2,600 人でした。

運営は NPO 法人本気であそぶ子応援団が当たっています。

・NPO 法人本気であそぶ子応援団

NPO 法人本気であそぶ子応援団は、子どもたちに遊ぶ場を提供する全国団体 NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会に所属しています。自然の中で五感を使って創意工夫して挑戦することが子どもたちを成長させると考えています。



ほんきっこ

狭山台地区の狭山元気プラザ（狭山台 1-21）

狭山元気プラザは、平成 24 年（2012）閉校した狭山台北小学校の跡地に誕生しました。元気プラザ内には、さやま市民大学や工房夢来夢来、狭山市シルバー人材センター、狭山台地区センター別室、狭山准看護学校が入居しています。

若者から高齢者までが世代を超えて集い、様々な学びと交流活動を通じて、元気の狭山の学習基地となっています。屋外の運動場や室内運動場は、健康増進と仲間づくりに利用されています。



狭山元気プラザ

狭山を元気に「さやま市民大学」

さやま市民大学は、平成 26 年（2014）、狭山シニア・コミュニティ・カレッジ（SSCC）と狭山元気大学を統合して発足しました。元気の狭山を支える人づくりと人を活かす仕組みづくりを理念としています。16 歳以上の若者から高齢者まで幅広い世代を対象に様々な講座があります。選抜試験はありません。入学式や修了式、体育祭、学園祭などを通じて受講生は人づくりや仲間づくりに励んでいます。平成 28 年度の受講生数は約 400 名でした。さやま市民大学は狭山市が設置し、運営は NPO 法人さやま協働ネットが受託しています。

合格率 100%「狭山准看護学校」

狭山市が昭和 42 年（1967）に開校した狭山市衛生学院准看護婦（士）科は、平成 5 年狭山市医師会に移管、狭山准看護学校を発足させ、同 25 年に狭山元気プラザに移転しました。就学 2 年後、准看護師試験に合格すると、都道府県知事より免許が授与されます。本学卒業生の准看護師試験合格率は 100%です。



狭山准看護学校

元気で働こう「シルバー人材センター」

公益社団法人「狭山市シルバー人材センター」は、原則60歳以上で健康で働く意欲があり、地域の役に立ち、魅力ある地域社会づくりに寄与したいと考える人たちを会員とする組織です。

企業や個人・団体から短期的・臨時的な仕事を受けて、会員に提供し、会員が就業します。仕事の内容によって料金が決まっています、就業した会員に配分金を支払う仕組みです。



元気プラザホール

「学校支援ボランティアセンター (SSVC)」

学校支援ボランティアセンターは、子どもたちの「生きる力」を育むために平成19年(2007)に発足し、市立小・中学校の支援をしています。学習支援のほかに、学校の花壇整備や安全の見守り、図書ボランティアなど様々です。運営は、さやま市民大学同窓会が受託しています。

手作り工房「工房夢来夢来」

工房夢来夢来(むくむく)は、障がい者とボランティアが協力して活動する組織です。手作りの作品は、狭山元気プラザと狭山市役所1階福祉店アミーで販売しています。

ワンディシェフによる「コミュニティカフェ」

元気プラザ2階にはコミュニティカフェが開設されています。土・日・祝祭日を除く平日、曜日毎に異なるシェフが特徴あるメニューを提供、市民大学受講生や地域の人達が交流を深めています。

街づくり活動室「狭山台地区センター別室」

住民の活動拠点として活動室が設置されています。学習室や会議室、活動室ではサークル活動やコミュニティカフェが営まれています。

狭山台図書館 (狭山台 1-29-2)

狭山台図書館には、一般書籍10万冊、児童書籍5万冊のほか雑誌や紙芝居などで総数15.5万点の資料が保管されています。中央図書館と比べると1/3ですが、平成30年度の貸出点数は約21万件、利用者延べ人数は約17.8万人、一人当たり年間5.8点の貸出でした。

よむぞう読書通帳

よむぞう読書通帳は、狭山市の図書館が平成28年度から希望者に配布しています。感動した本の内容や感想などが自由に記入できる通帳です。読書の履歴や友達との会話のきっかけになります。



よむぞう読書通帳

ちびぞうクラブ

3歳位から就学前までの子どもと保護者を対象とした活動です。絵本の読み聞かせや紙芝居、簡単な工作など楽しみながら学習しています。

ちびちびぞうクラブ

3歳位の子どもと保護者を対象にした活動です。絵本の読み聞かせや紙芝居、簡単な工作などで楽しみながら学習しています。

ちびっこ1日図書館員

小学生4年生～6年生を対象にした職業体験です。

ビブリオバトル

ビブリオバトルは、おすすめ本の紹介をし合い、紹介者の説明を聞いて読みたくなった本に投稿する書評ゲームです。参加者の年齢制限はなく、観戦するだけでも可能です。ほぼ毎月1回、開催しています。

知ってる？

狭山言葉：おおかん(大通り)、がけっと(崖、がけ)、からからてんき(晴天つづき)、くぼったみ(くぼ地)、ごろごろさま(雷、かみなり)、たっぺ(霜柱)、のんのさま(太陽)、ほしあら(星空)、かわよう(川魚)、せんみ(セミ)、どうどう(馬)、どんぶ(とんぼ)、ねごご(こねこ)、うんだらがき(熟した柿)、なりてん(南天、なんてん)、みんこ(草や木の実)

(『狭山・昔ことば辞典』より)

地域スポーツ施設 (狭山台 1-29-2)

狭山台体育館

地域スポーツ施設は、狭山台図書館との複合施設です。平成5年に建築(延べ床面積約 1,800m²)されました。アリーナや小体育室、会議室を利用することができます。体育館の年間利用者は、年々増加傾向にあり、平成30年度約5.5万人でした。

施設全体の稼働率は91%ですから、ほぼ満杯の状況といえます。図書館と併設されているので、稼働率は高くなっています。

本格的な屋外プール

駐車場の屋上には、狭山市が運営する唯一の25mx15mのプールと幼児用プールがあります。夏季限定年間約4.4千人の利用があります。

屋外スケートリンク「おりぴいリンク」

平成29年1月、屋外プールの一角に人工スケート場「おりぴいリンク」が出現しました。滑走面は特殊なプラスチックパネルをつなぎ合わせています。広さは10mx10mですが、青空のもとで楽しむことができます。スケート靴でホッケー選手の気分を楽しんでください。開催日は土日曜日と祝日です。

雨水調整池/駐車場

図書館と体育館に設置された駐車場は、周辺地域の遊水池となっています。降雨時には冠水するので、車は移動してください。

知ってる？

すこやか体操：「健康日本21 狭山市計画」のアクションプログラムとして作成されました。8つの運動で構成され、全身の血流の循環を促します。狭山市すこやか体操普及指導員が、地域の公園やイベント会場などで実演と指導をしています。すこやかな毎日に向けて体を動かしませんか。



狭山台図書館・体育館



おりぴいリンク

狭山台地区のイベント

春爛漫「狭山台春まつり」(狭山台 1-21)

毎年3月下旬の土曜日、寒さから解放されたひと時、狭山元気プラザで春まつりが開催されています。陶芸教室・屋台でのパン・焼き鳥・串焼き・ポップコーン・新鮮野菜などが販売されます。

ふるさとを想う「狭山台ふるさと祭り」(狭山台中央公園)

毎年7月の土曜日、狭山台中央公園で狭山台ふるさと祭りは開催されています。狭山台地区で育った子どもたちにふるさと意識の醸成を目的に、狭山台自治会連合会や実行委員会により運営されています。40数店のテントによる出店、ステージでの地域団体の演技披露など、夏のひと時3・4



狭山台ふるさと祭り

世代が交流し絆を深めています。令和元年16回目のまつりは、台風6号が接近する状況でしたが、こども神輿やチアダンス、和太鼓や盆踊りに盛り上がっていました。

郷里の食でおもてなし「食のフェスティバル」(狭山元気プラザ)

毎年10月に開催されます。狭山台団地の特性を生かして、地方から転居した住民の郷土・伝統料理や地域の食材を利用した創作料理を紹介・披露するなど、食を通して交流を図り、明るいまちづくりを進めています。平成30年の開催には1,000人が参加しました。地域に定着したイベントとなっております。食のフェスティバルの会場は、狭山元気プラザです。



食のフェスティバル

狭山台地区体育祭 (狭山元気プラザ、狭山台 1-29-2)

令和元年度の体育祭は、狭山元気プラザグラウンドで開催されました。健康増進と地域交流を図ることが目的です。各自治会主催の9ゲームに個人として参加しますが、得点の多い3ゲームの合計点を自治会の総得点として賞品を受け取ります。

福島県復興支援のいわき物産品(生サンマ、カマスの開き、かまぼこ、梨など)の販売もありました。

園児から大人まで参加「ふれあい音楽祭」(狭山元気プラザ)

ふれあい音楽祭は、音楽を通じた地域交流です。

狭山台地区の幼稚園や保育園、小中学校の児童生徒、公民館や児童館などで活動する音楽グループが、狭山元気プラザ体育館で演奏を披露しています。

平成30年度第26回は11月に開催、出演サークルは7団体が演奏と合唱を披露しました。参加者は1,200名でした。



ふれあい音楽祭

避難所訓練を体験「防災キャンプ」

平成28年(2016年)8月、新規事業として狭山台小学校やPTA、青少年健全育成狭山台地域会議が

協力して、青少年を対象に、防災訓練を実施しました。1泊の体験学習の参加者は45名でした。

災害時には、幼児からシニアまで幅広い世代が体育館の広い空間で不自由な生活を余儀なくされます。スタッフだけでなく児童生徒たちも避難所運営方法やルールについて実践的に学習しました。



防災キャンプ

狭山台公民館の活動 (狭山台 3-7-1)

狭山台公民館は、狭山台地区センターと同じ建物にあります。平成30年度の重点目標は、①現代的課題や地域課題への取り組み、②ライフステージに応じた事業展開、③生涯学習機会の提供、④まちづくりにつながる事業の推進などでした。活動の一部を紹介します。

おはなし会 (3回/年)

市民団体「おはなしのろうそく」のスタッフが幼児から大人まで対象に、自由な雰囲気、昔話やちょっと怖い話、愉快な落語など、来場者の反応によって内容を適宜替えて話しています。時には遊びを交えています。



おはなし会

子どもたちを対象に「環境講座」など

環境講座では、夏休みには廃食用油から固定石けんを作り、冬休みには堀兼・上赤坂公園内で雑木林の大木伐採を見学、のこぎりの使い方やシタケ狩りを、延べ44名が体験しました。

家庭学習を補完する「寺子屋」事業には延べ226名、世代交流を通じて学ぶ「こども教室」には延べ670名が参加しました。

食文化を継承する「料理教室」

男性を対象にした「男の料理教室」では、和食文化を通じて、地産食品の効能、洋食との違い、皿の選び方など、調理しながら楽しく学んでいます。

異文化料理教室「世界三大料理」では、トルコ料理とフランス料理、中国料理の特徴を調理とともに学んでいます。



食文化継承教室

土家由岐雄を偲ぶ「童句翁忌句会」

童句の創始者（故）土家由岐雄を偲び、6月に童句を募集しています。狭山童句研究会と狭山台公民館の共催です。令和元年は189句の投句があり、特選2句、佳作8句を選びました。狭山童句研究会は、平成23年、埼玉県より「文化ともしび賞」を受賞しました。

知ってる？

埼玉県文化ともしび賞：文化ともしび賞は、昭和53年（1978）に創設されました。埼玉県内の各地で地道に文化活動を行い、地域文化の向上に貢献している団体や個人を対象に顕彰しています。

狭山市内に広がる童句の世界

狭山市内では童句の文化が広がりを見せています。智光山公園こども動物園の入口には土家由岐雄の作品を刻んだ童句碑があり、狭山市中央通り商店街の街灯には全国から募集した童句作品が掲示されています。

広沢謙一（童句号：広沢一岐、著書：童句集『少年期』教育報道社、2002）は各地の公民館で開催する童句勉強会の講師として、童句ファンの育成に努めてきました。（p48参照）

狭山市立博物館は「童句コンクール」を開催して全国から作品を募集し、令和元年度は1,207句（470名）が集まりました。

高齢者が学ぶ「元気カレッジ／狭山台寿大学」

「元気カレッジ」は地域包括センターと共催し、高齢者を対象に、健康を維持するための筋力トレーニングや栄養を考えた食事、運動を意識した生活環境について勉強しています。平成30年度は7回開催し、延べ約210名が参加しました。

「狭山台寿大学」は、おおむね月1回高齢者に知的関心の高い歴史や文化、環境講座、人権講座、交通防犯教室など幅広く学び、バスハイクなど参加者の交流を図っています。自由に参加できるオープンな講座です。平成30年度は8回開催し、延べ278名以上が参加しました。

狭山台地区の小・中学校・教育センター

狭山市立狭山台小学校（狭山台 4-25）

狭山台小学校は、平成22年（2010）狭山台南小学校と狭山台北小学校を統合して開校しました。教育目標は「かしこい子 やさしい子 たくましい子」です。マラソンやモリモリタイムによる体力向上の推進、「もくもくぴかぴか」を合言葉にした清掃に取り組みます。毎週水曜日の「ロング昼休み時間」や学年の枠を越えた異年齢集団による「なかよしタイム」など特色ある友達づくりに取り組んでいます。令和元年度の児童数は451人、16学級です。



狭山台小学校

狭山市立狭山台中学校（狭山台 4-26）

狭山台中学校は、昭和50年（1975）に開校しました。平成28年（2016）入間川地区中学校の統廃合により東中学校が閉校し、一部の学区が変更されました。目標は「学び合う生徒 考えて行動できる生徒 高め合う生徒」です。本校の特色は、小中連携教育の推進、学習支援ボランティアを活用しての授業、地域に根差した地域清掃活動などを実施していることです。令和元年度の児童数は517人、17学級です。



狭山台中学校

先生方の研修・教育相談を担う「教育センター」（狭山台 2-7-4）

狭山市立教育センターは、教育の充実と振興を図るために、先生方の資質・能力の向上や相談等を行っています。

幼児や児童・生徒および保護者・先生の教育上の諸問題についても相談に応じて、関係機関と連絡を取って解決に向けた支援を行います。

4つの研修講座

- ・教職員研修：カウンセリング、コンピュータ、道徳・人権など
- ・児童生徒体験教室：英語体験、算数体験、社会科学体験、キャリア教育体験、救助法講習など
- ・社会教育関係研修：社会教育関係職員研修、社会教育団体指導研修
- ・公開講座：英会話日常会話、英会話旅行会話

狭山市立狭山台南小学校（閉校、狭山台 4-25）

狭山台南小学校は昭和 50 年（1975）に開校しましたが、平成 22 年（2010）閉校、35 年間の歴史を閉じました。教育目標は、「かしこくやさしく たくましく」でした。最終年度の児童数は 257 人です。

狭山市立狭山台北小学校（閉校、狭山台 1-21）

狭山台北小学校は昭和 50 年（1975）に開校しましたが、平成 22 年（2010）に閉校し、35 年間の歴史を閉じました。教育目標は、「仲よく 考え きたえる子」でした。市内の小学校で唯一、通信指導教室を設置していました。最終年度の児童数は、257 人でした。

旧狭山台北小学校の跡地は狭山元気プラザとして整備され、さやま市民大学、シルバー人材センター、狭山准看護学校、狭山市学校支援ボランティアセンター、工房夢来夢来、狭山台地区センター別室として利用されています。（p203 参照）

狭山元気プラザに「台北台南思い出の部屋」

狭山元気プラザ（旧狭山台北小学校）の一角に「台北台南思い出の部屋」が設けられています。狭山台北小学校と南小学校の両校が閉校になる以前に子どもたちが元気に勉強していた記録が保存展示されています。建物の壁面や体育館には、児童が製作した作品が随所に飾られています。



台北台南思い出の部屋

10. 特集 オリンピック 2020

「第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）」と「第 16 回パラリンピック競技大会」の開催都市は東京都ですが、東京都以外の地域を会場とする競技もあります。令和 2 年 3 月、開催日程の延期が決まりました。今後、競技日程と会場は調整されることになります。

東京大会の基本コンセプト

- ① アスリート全員が自己ベストを記録できる大会であること
- ② あらゆる面で違いを受け入れ、互いに認め合うこと
- ③ 未来に向けて世界にポジティブな変革をもたらすこと

第 32 回オリンピック競技大会（2021 年 7 月 23 日～8 月 8 日）

競技数：33 競技、339 種目

水泳、アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボクシング、カヌー、自転車競技、馬術、フェンシング、サッカー、ゴルフ、体操、ハンドボール、ホッケー、柔道、近代五種、ボート、ラグビー、セーリング、射撃、卓球、テコンドー、テニス、トライアスロン、バレーボール、ウエイトリフティング、レスリング

・東京大会で追加される競技：野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン

第 16 回パラリンピック競技大会（2021 年 8 月 24 日～9 月 5 日）

競技数：22 競技、537 種目

アーチェリー、ボッチャ、カヌー、自転車競技、馬術、5 人制サッカー、ゴールボール、柔道、陸上競技、パワーリフティング、水泳、ボート、射撃、シットイングバレーボール、卓球、トライアスロン、車いすバスケットボール、車いすフェンシング、ウィルチェアーラグビー、車いすテニス

・東京大会で追加される競技：バドミントン、テコンドー

狭山市と第 32 回オリンピック競技（2020/東京）

狭山市と川越市が開催会場となるゴルフ競技は、市境にある霞ヶ関カンツリー倶楽部で行われます。競技する東ゴルフコース区域はほとんどが狭山市域です。選手は 4 日間 72 ホールのストロークプレーでメダルを争い、1 位タイが 2 名以上の場合にはプレーオフとなります。

男女別競技なので、8 日間はゴルフ場へのアクセス道路や公共交通機関が混乱すると予想されます。選手が快適な環境でプレーできるように支援することはもちろんですが、狭山市を PR するチャンスです。

行政と市民が知恵を出し合い、選手など訪問者を迎えましょう。

参考文献・参考資料リスト（順不同）

- ・ 狭山市、『市制施行 60 周年狭山市勢要覧』、2014
- ・ 狭山市、『狭山市史 通史編 1』、1996. 3
- ・ 狭山市、『狭山市史 通史編 2』、1996. 3
- ・ 狭山市、『狭山市史 地誌編』、1989. 3
- ・ 狭山市、『狭山市史 民俗編』、1985. 3
- ・ 狭山市、『狭山市公共施設白書』、2016. 2
- ・ 狭山市、『第 4 次狭山市総合計画』、2016. 3
- ・ 狭山市、『防災ガイドブック』、2016
- ・ 狭山市、『入間川洪水ハザードマップ狭山市』、2015. 5
- ・ 狭山市、『本物づくりのまち 狭山市』、2017. 1
- ・ 狭山市、『広報さやま』、毎月 10 日
- ・ 狭山市すこやか推進委員会『健康づくりウォーキングマップ』、2014. 4
- ・ 狭山市、『狭山市オリジナル すこやか体操』
- ・ 狭山市すこやか推進委員会『健康づくりウォーキングマップ』、2014. 4
- ・ 狭山市『狭山市オリジナル すこやか体操』
- ・ 狭山市教育委員会、『さやまの文化財地図』
- ・ 狭山市教育委員会、『狭山市文化財調査報告書 18（柏原の獅子舞・柏原の祇園囃子）』、1990. 3
- ・ 狭山市教育委員会、『狭山の旗本 小笠原家の調査報告』、狭山市文化財調査報告書第 27 号、2007
- ・ 狭山市立博物館、『狭山の指定文化財』、1992. 10
- ・ 埼玉県、『荒川水系入間川洪水想定区域図』、2009
- ・ 埼玉県、『埼玉 S 級グルメ』、2015. 1
- ・ 朝日航洋、『いるま川洪水ものがたり』、2015
- ・ 狭山観光協会、『さやま観光マップ』、2015. 5
- ・ さやま市民大学、『狭山地域ふるさと学講座 語り継ぎたい狭山の魅力 1』、NPO 法人さやま協働ネット、2015. 12
- ・ さやま市民大学、『狭山地域ふるさと学講座 語り継ぎたい狭山の魅力 2』、さやま協働ネット、2016. 3
- ・ さやま市民大学、『狭山地域ふるさと学講座 語り継ぎたい狭山の魅力 3』、さやま協働ネット、2016. 10
- ・ さやま市民大学、『狭山地域ふるさと学講座 語り継ぎたい狭山の魅力 4』、さやま協働ネット、2017. 3
- ・ さやま市民大学、『狭山地域ふるさと学講座 語り継ぎたい狭山の魅力 5』、さやま協働ネット、2017. 10
- ・ さやま市民大学、『狭山地域ふるさと学講座 語り継ぎたい狭山の魅力 6』、さやま協働ネット、2018・3
- ・ さやま市民大学、『市制 60 周年記念事業・さやま市民大学特別講座 さやまの生活文化伝承講座 “記憶を記録に” 聴き書き調査報告書』、さやま協働ネット、2017. 9
- ・ さやま市民大学、『狭山の歴史講座テキスト』、2015
- ・ 狭山ふるさと会、『狭山ふるさと ミニガイドブック 1』、2015
- ・ 狭山ふるさと会、『狭山ふるさと ミニガイドブック 2』、2016. 7. 31
- ・ 狭山ふるさと会、『狭山ふるさと ミニガイドブック 3』、2017. 7. 15
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(1) 柏原地区』、2016. 3
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(2) 入曽地区』、2017. 1
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(3) 峰・田中地区』、2016. 3
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(4) 入間川地区』、2017. 1
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(5) 堀兼地区』、2017. 10
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(6) 奥富地区』、2016. 5
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(7) 笹井・根岸地区』、2016. 7
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(8) 広瀬地区』、2016. 7
- ・ 狭山歴史ガイドの会、『狭山市の史跡・文化財を訪ねる(9) 東三ツ木から青柳地区』、2016. 7
- ・ 狭山商工会議所、『さやま散歩 地形と歴史で見る眺め』
- ・ 狭山市観光協会、『狭山 散歩する旅、新発見』、2016
- ・ ㈱交通新聞社、『散歩の達人 No. 251 大特集散歩の達人 西北西のワンダーランド 所沢・飯能・狭山・入間』、2017. 2
- ・ 本気であそぶ子応援団、『狭山ぼうけんあそび場 ほんきっこ 2016 夏 活動報告書』、2016. 10
- ・ 埼玉県西部地域振興センター、『埼玉県公式ガイドブック 西方見聞録』、2016. 9
- ・ 広沢謙一、『狭山市の散歩道』、1975. 3
- ・ 狭山楽史会、『狭山市域の富士塚と富士講』、2016. 10
- ・ 狭山楽史会、『水野の歴史その 1 水野村と牛久保家』、2008
- ・ 『新編武蔵風土記稿』全 266 巻、1810～1830
- ・ 不老川をきれいにする会、『不老川浄化活動 25 年の歩み 夢をつなぐ不老川』、2010. 3
- ・ 権田恒夫、『入曽公民館人権講座 水野の新田開発について』、2016
- ・ 橋本邦男、『狭山茶の茶摘み話』、さやま市民文庫第 9 集、1987
- ・ 志村清・志村よ志江、『狭山昔ことば辞典 -のらみちのハンドブック-』、狭山市市民文庫第 4 集、1985
- ・ 大野七三、『新説 武蔵国の国道 入間路』、批評社、2003. 11
- ・ 中英夫、『武州の力士』しらこぼと選書 5、1976. 10
- ・ 渡辺三貴、『さやまをもっと知る』、2007. 08
- ・ 渡辺三貴、『狭山をもっと知る(2)』、2009. 11
- ・ 入間川の植物図鑑づくり実行委員会、『狭山市内を流れる入間川の草木 改訂版』、2015. 03
- ・ 不老川流域づくり市民の会、『不老川 お宝マップ 2017』、2017. 3
- ・ 花形直平、『中世の謎 青石塔婆物語』、2012
- ・ 雄山閣、『新編武蔵風土記稿』、1996. 6
- ・ 角川書店、『角川日本地名大辞典 11 埼玉県』、1980. 7
- ・ ㈱平凡社、『日本歴史地名大系第 11 巻（埼玉県の地名）』、1993. 11
- ・ 狭山ステキ発見の会、『狭山すてき発見 観光マップ』、2019. 3
- ・ 狭山ステキ発見の会、『狭山ステキ発見 歴史 観光マップ』、2019. 3

狭山に伝わる民話や昔ばなしについては要旨を記載しました。

詳しくは以下の書籍などを参考にしてください。

- ・ 狭山市ホームページ
- ・ 池原昭治、『狭山の絵本民話集（1）』、さやま市民文庫（2）、1984. 11
- ・ 池原昭治、『狭山の絵本 狭山のお祭り』、さやま市民文庫（5）1986. 9
- ・ 池原昭治、『不老川の絵本』、花伝社、1991. 11
- ・ 今坂柳二、『わらやねの下の昔ばなし』、さやま市民文庫（1）、1984. 11
- ・ 今坂柳二、『さやまの民話 いろりばたの昔ばなし』、狭山市農業協同組合、1986
- ・ 今坂柳二、『あぜみちの昔はなし』、ふるさと伝承研究会、2006. 12
- ・ 今坂柳二、『茶の花村の昔はなし』、ふるさと伝承研究会、2007. 10
- ・ 今坂柳二、『いどばたの昔はなし』、ふるさと伝承研究会、2007. 11
- ・ 今坂柳二、『ランプの下の昔はなし』、ふるさと伝承研究会、2008. 2
- ・ 今坂柳二、『星ふる里の昔はなし』、ふるさと伝承研究会、2009. 1
- ・ 今坂柳二、『龍じいの昔はなし』、狭山市市民文庫（13）、2012. 12
- ・ 桜井万造、『万造じいさんの馬車鉄夜ばなし』、馬車鉄を記録する会、2002. 12

各地区のお宝やイベント・公民館活動についてはそれぞれの情報を確認ください。

- ・ 『狭山市の公民館の取り組み 平成 28 年度事業報告／平成 29 年度事業計画』、狭山市公民館連絡協議会、2017. 5
- ・ 各地区公民館、公民館だより、毎月 10 日
- ・ 入間川マップづくり実行委員会、『入間川地区 くらしマップ』
- ・ 入間川マップづくり実行委員会、『入間川に行こう』
- ・ 入曽地区まちづくり推進会議、『入曽地区いりそ みどりふるさと マップ』、2010. 3
- ・ 堀兼地区ふるさとマップづくり実行委員会、『堀兼のふるさとマップ 堀兼』、2009. 12
- ・ 堀兼ほりおこし事業実行委員会、『ほりかね物語』、2015. 1
- ・ 奥富地区ふるさとづくり実行委員会、『奥富のさんぼ道』、2008. 2
- ・ ふるさと柏原歴史会、『柏原を訪ねて 柏原に伝わる文化財』、2010. 3
- ・ 水富地域マップ作成事業実行委員会、『水富の散歩道』、2011. 3

参考にしたネット情報

- ・ 狭山市役所ホームページ
- ・ 狭山市公式キッズページ 「さやまっ子クラブ」
- ・ 狭山市商工会議所ホームページ
- ・ 狭山市観光協会ホームページ
- ・ 埼玉県ホームページ
- ・ 日本野鳥の会ホームページ
- ・ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ホームページ
- ・ 国土地理院ホームページ

狭山ふるさと会（URL: <http://www.13.plala.or.jp/sayamafurusato/>）

狭山ふるさと会は、平成 26 年度さやま市民大学まちづくり担い手養成学科の修了生により発足した市民団体です。

活動の目的は、狭山の子ども達およびその親世代に、狭山市の魅力を知る機会を提供し、郷土愛を育み、イベントへの参加を促して、仲間づくりを支援し、将来ともに狭山を生活拠点とする思いを醸成する事業を展開することです。

2015～2017 年度さやま市民大学狭山地域ふるさと学講座の運営を担当し、講義録「語り継ぎたい狭山の魅力」全 6 巻にまとめました。

また、2015～2017 年度狭山市民提案型協働事業として「狭山ふるさと醸成事業」（主に、①狭山ふるさと〇×クイズの実施、②狭山ふるさとミニガイドブックの作成、③狭山ふるさとガイドブックの作成）を実施しました。



狭山ふるさと〇×クイズ
（市民交流センター、2017. 8. 5）



ミニガイドブック 3

狭山ふるさと会の活動「狭山ふるさと醸成事業」に興味のある市民の方々の入会をお待ちしています。

さやま市民大学（URL: sayama-portal.jp/shimindaigaku/）

さやま市民大学は狭山市が設立し、NPO 法人さやま協働ネットが運営を受託、「元気な狭山を支える人づくりと人を活かす仕組みづくり」を理念として活動しています。

飯能信用金庫「はんしん地域活性化助成金」

飯能信用金庫では地域金融機関として「地域を元気にする。」ことが大切であると考え、その一環として、「はんしん地域活性化助成金」を平成 23 年 7 月に創設しました。

この助成金は、地域を構成する自然・歴史・風土・文化・知恵を活かし、またはスポーツ等を通して地域の活性化に資する事業を対象としています。

「狭山ふるさとガイドブック」第 2 版は、平成 30 年度「はんしん地域活性化助成金事業」の認定を受けて出版しました。

狭山ふるさとガイドブック研究会（順不同）

狭山ふるさとガイドブック研究会は、さやま市民大学狭山地域ふるさと学講座のスタッフ（狭山ふるさと会）と受講生の有志で組織した研究会です。

青山泰夫、井上祥子、上原一博、遠藤祐司、川口彰久、権田恒夫、山崎茂

協力者一覧（順不同、写真の提供など）

木下修、滝沢義信、花形直平、福田朝男



狭山ふるさとガイドブック 2021

2018年 2月 20日 第1版第1刷

2018年 10月 20日 第2版第1刷

2020年 5月 6日 第3版（さやマルシェ掲載）

2021年 5月 25日 第4版（博物館HP掲載）

編集 狭山ふるさとガイドブック研究会（代表 川口彰久）

発行 狭山ふるさと会（代表 島田公江）

協働 狭山市民部協働自治推進課、環境経済部商業観光課

連絡先 狭山ふるさと会（副代表 川口彰久）

〒350-1317 狭山市水野 266-21 Tel : 090-3107-0026

E-mail : sayamafurusatokai@car.ocn.ne.jp

禁無断複製・禁無断転載 ©2018 狭山ふるさとガイドブック研究会

（第1版・第2版：印刷・製本：中央企画 Printed by Japan）